

高須クリニック院長

高須克弥



西原理恵子

画

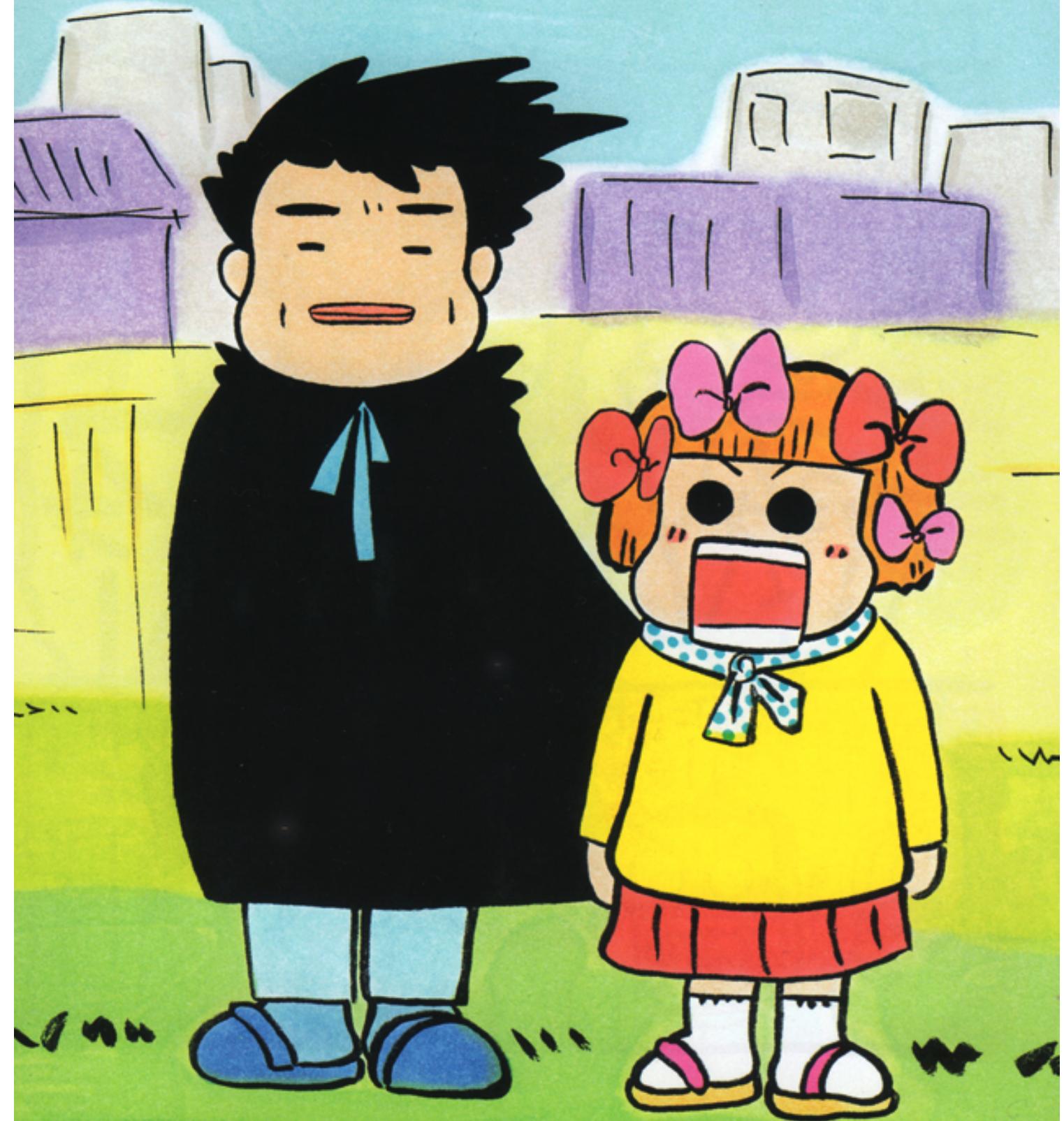
Katsuya Takasu  
Illustration by Rieko Saibara  
Bu-Su no Ka-Be

# ブスの壁

巻頭スペシャル漫画

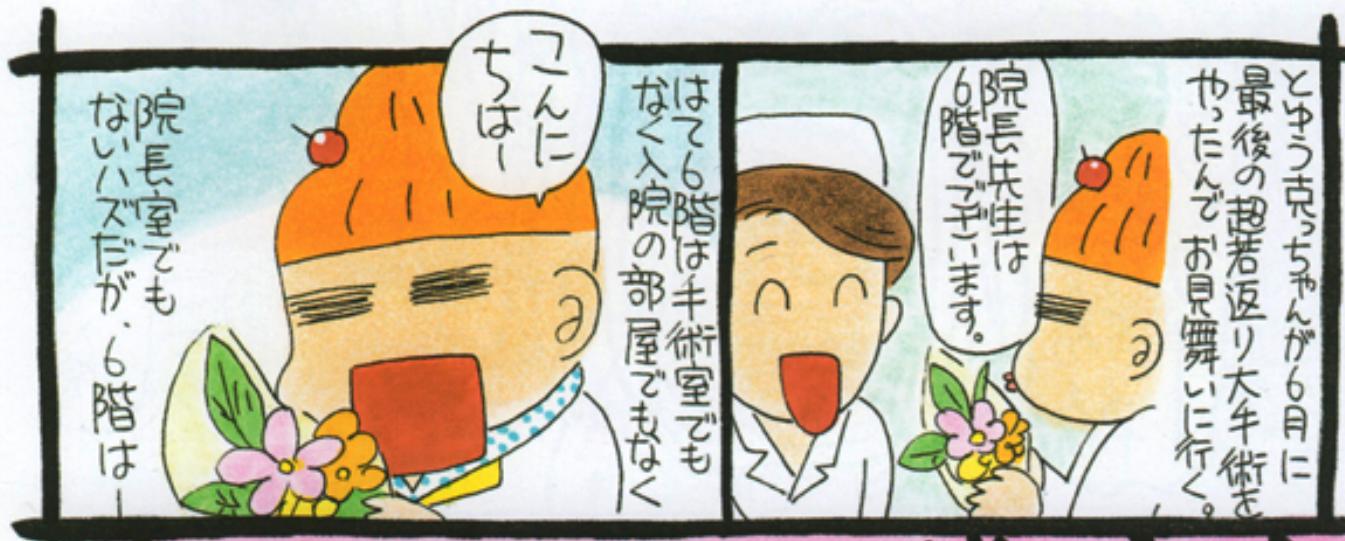
# 鳥頭クリニック

西原理恵子



# 自分実験マニアの巻

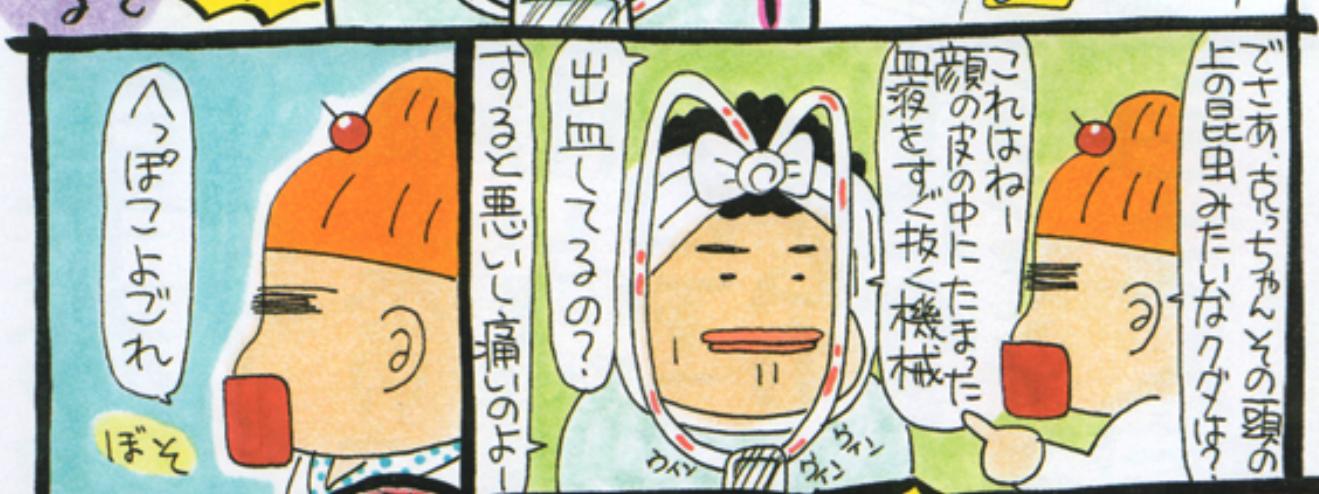




# 事務室

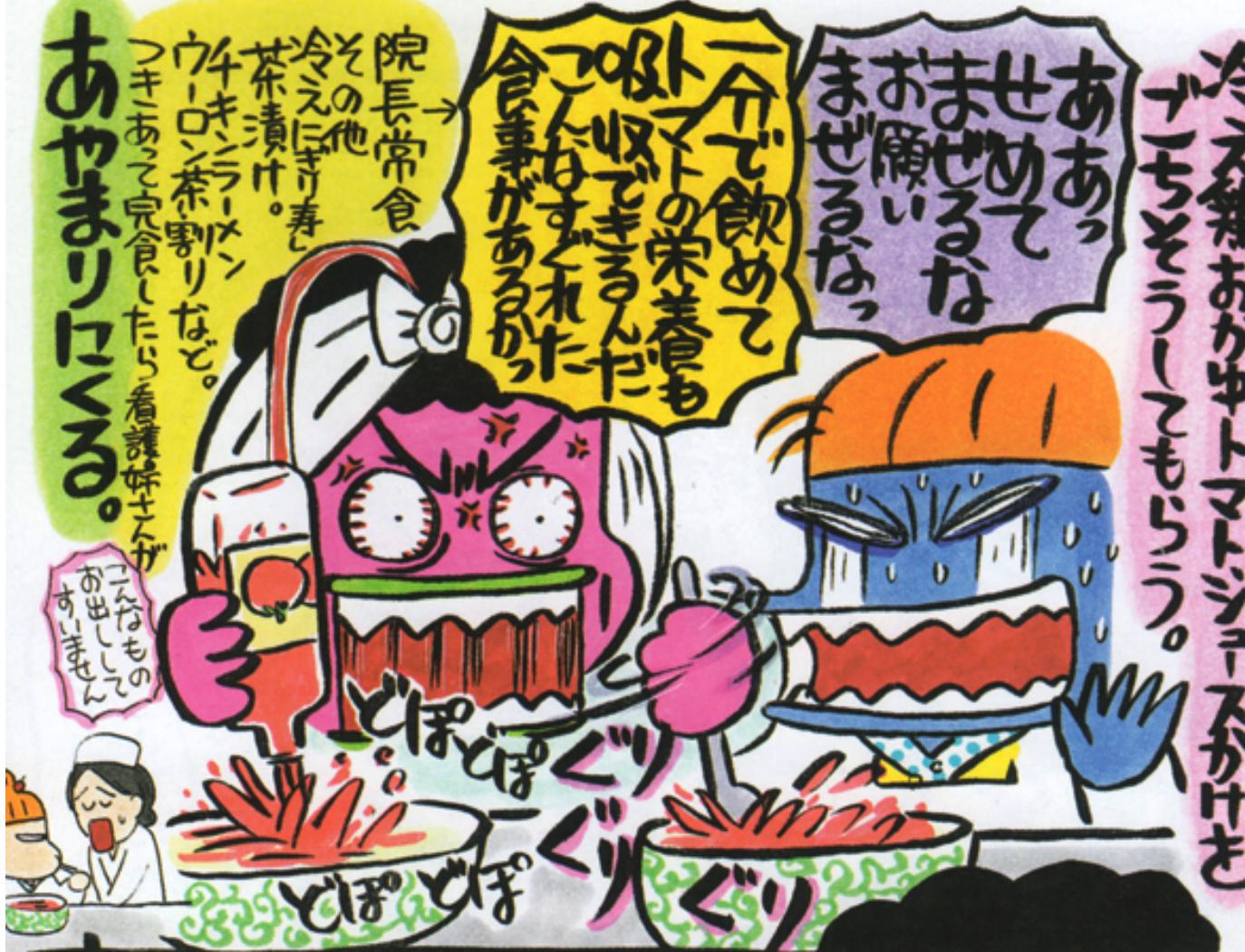
## すべての従業員たちが、 働いている アマゾンの クロロスマートドリーム に下タフに主に入院してきただの





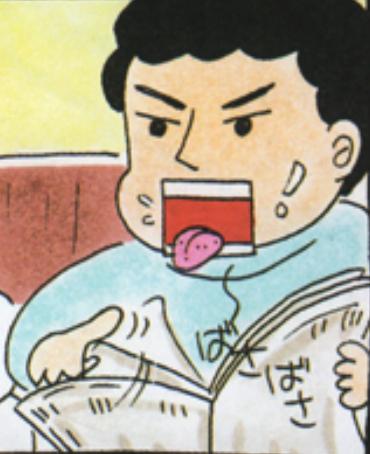
いやがらせでなく親切で  
冷え鶏おかゆトマトジユスかけを  
一ちとうしてもらう。

院長常食  
その他の  
冷えにきり妻  
茶漬け。  
ウーロン茶割りなど。  
つまみあつ完食したら看護婦さん  
がお出しありません



そして手術は大成功し  
克ちゃんがため3代。

好青年。



何だと  
仕草  
三十六の若者はハシカ4で  
鼻水かんで。ボクに入れない  
新聞紙めくろ時指をベ3ベ3  
なあまわかなないよ。

「シはそんのこと  
やつたらゴホゴホ  
ませて



ちーん



# やつかノ井ワシ めうらのまコと



かつかはよりいふと  
ブコのひだに舌を

ホホホホ

キヤーインサー



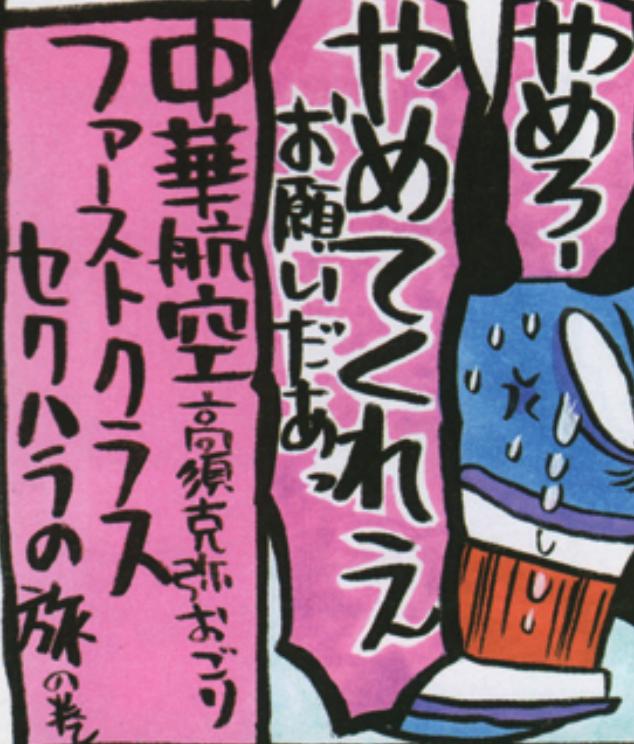
よしやあ、それ次の新潮「かじ  
読みきり掲載」や

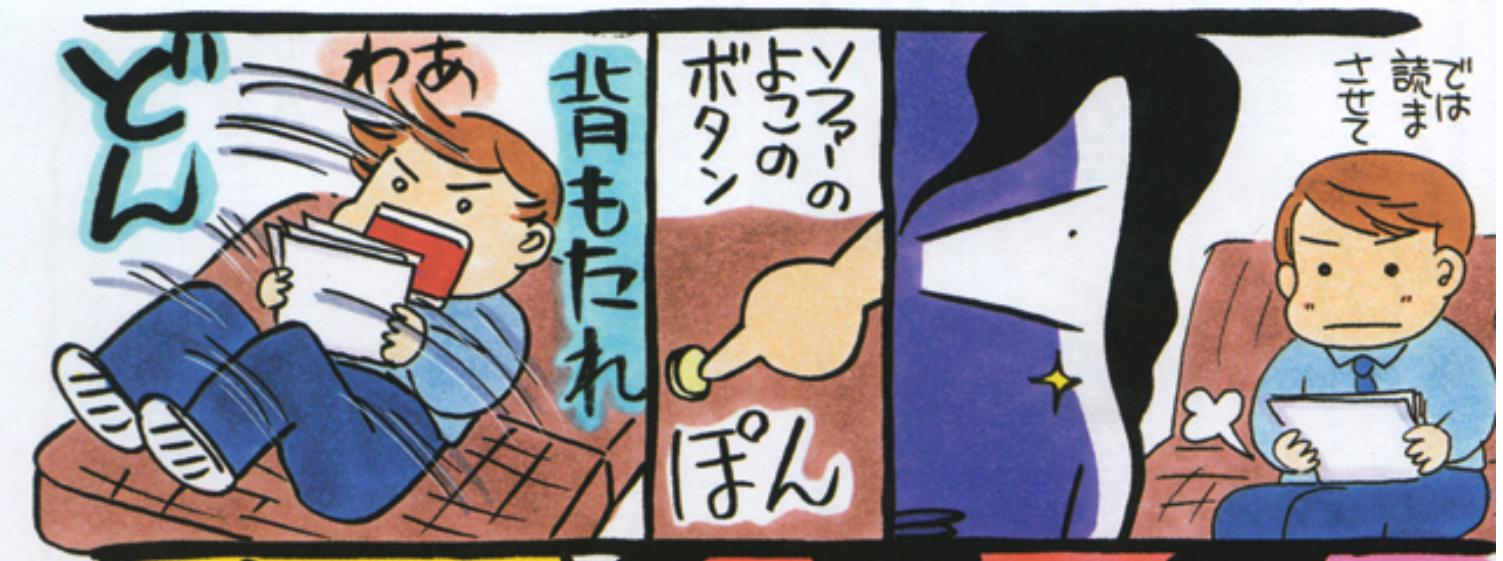
### 編集長 即決

台割り  
がこうた

木木木

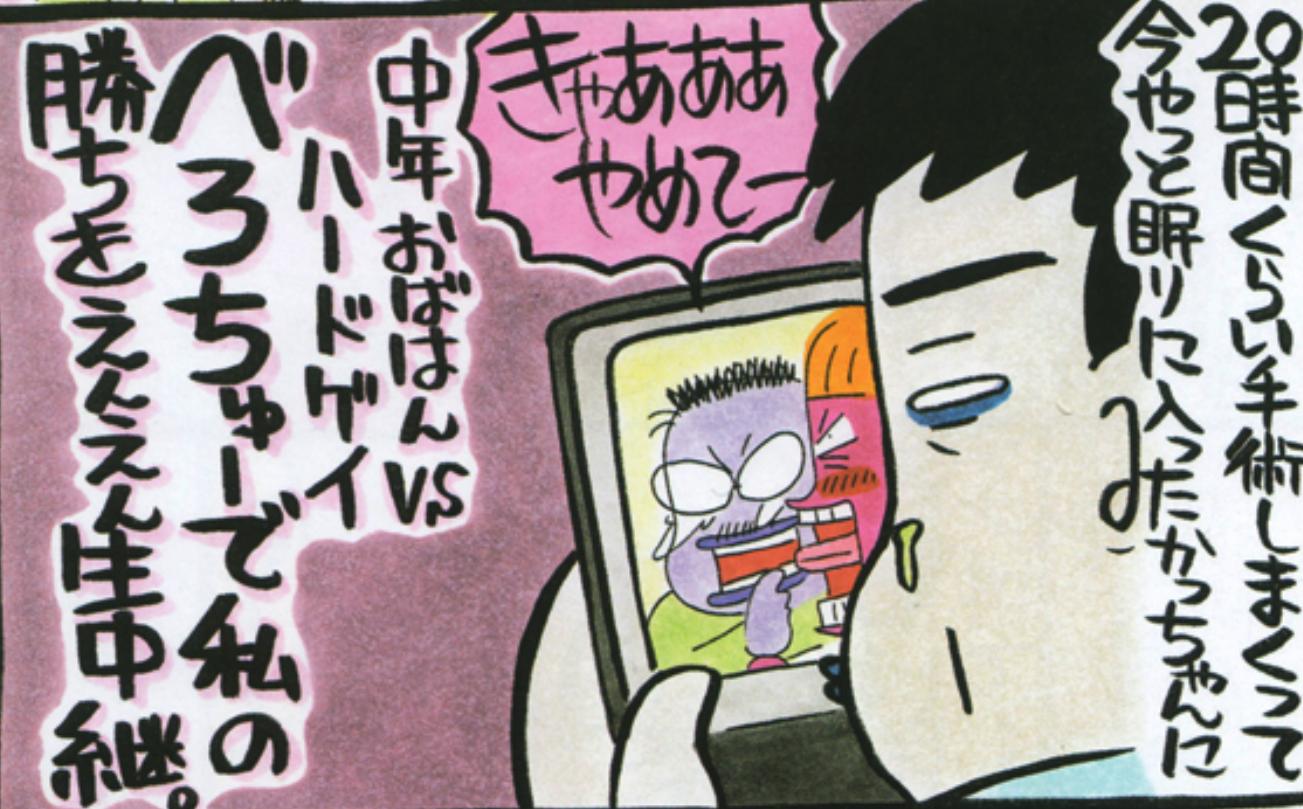
「あ、私は  
さしあげ  
すれば、  
うごしち  
かくを







# 生きてさえいれば大丈夫の巻



おぬまつむかひいへん  
ナシナシナシナシ深夜



朝九時の  
ひとり  
寝室で

ヒツリヒツリ



生きていえ  
りれば大丈夫。  
必ずどうにか  
なります。

生きていれば

いいですか  
西原さん。  
前科あるが  
破産であるが  
リコニアが  
うーが

もう。さすがわ医者。  
言つてることにいちいち  
重みがあるし。

外へじやつたら  
できません

「のせ」であつたのは  
「のせ」ですべて解説  
できるのです。

あひたいよー。  
はーい

愛犬やねん  
御飯をかうこー

今、私に  
一番必要なのは  
二日酔い薬

おやまリの電話入れない  
とおひがいもんもだい

あドたのトー  
そんせんでいいの  
20%でも30%でも

え  
私は  
あんがどね  
あちやえうと  
あんがどね  
はやく書け

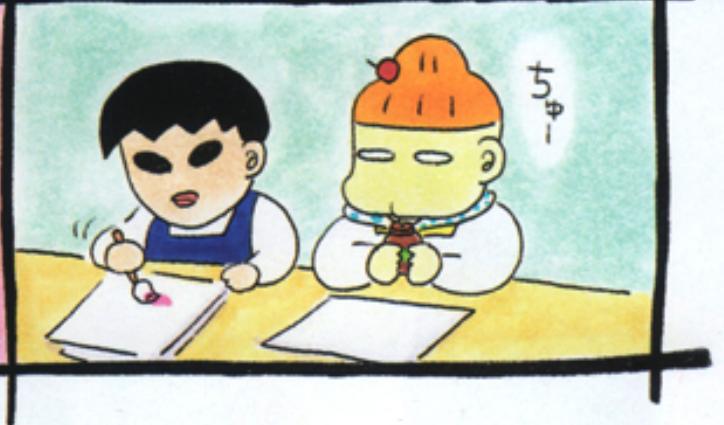
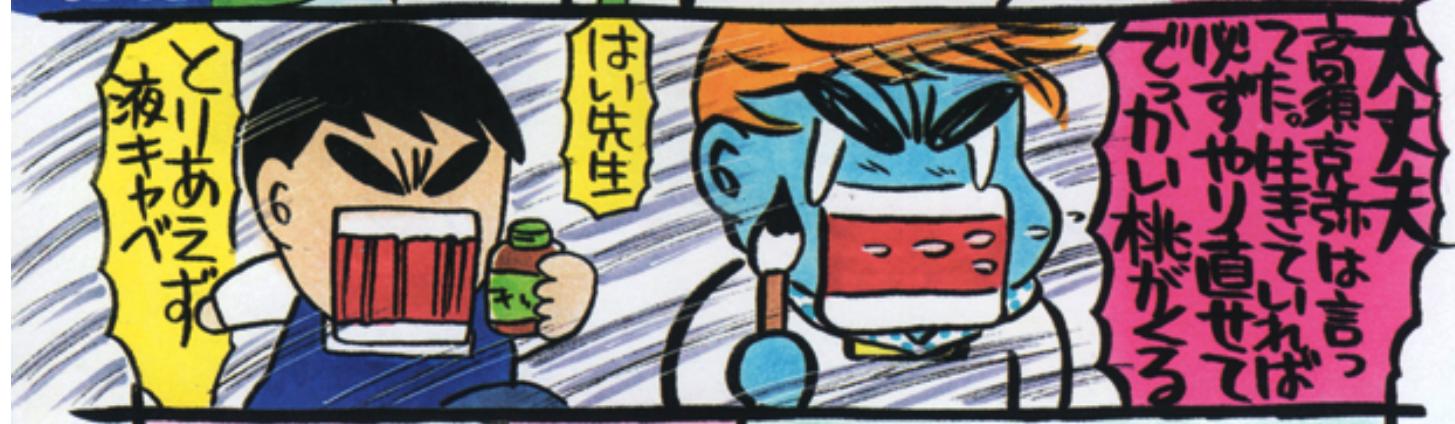
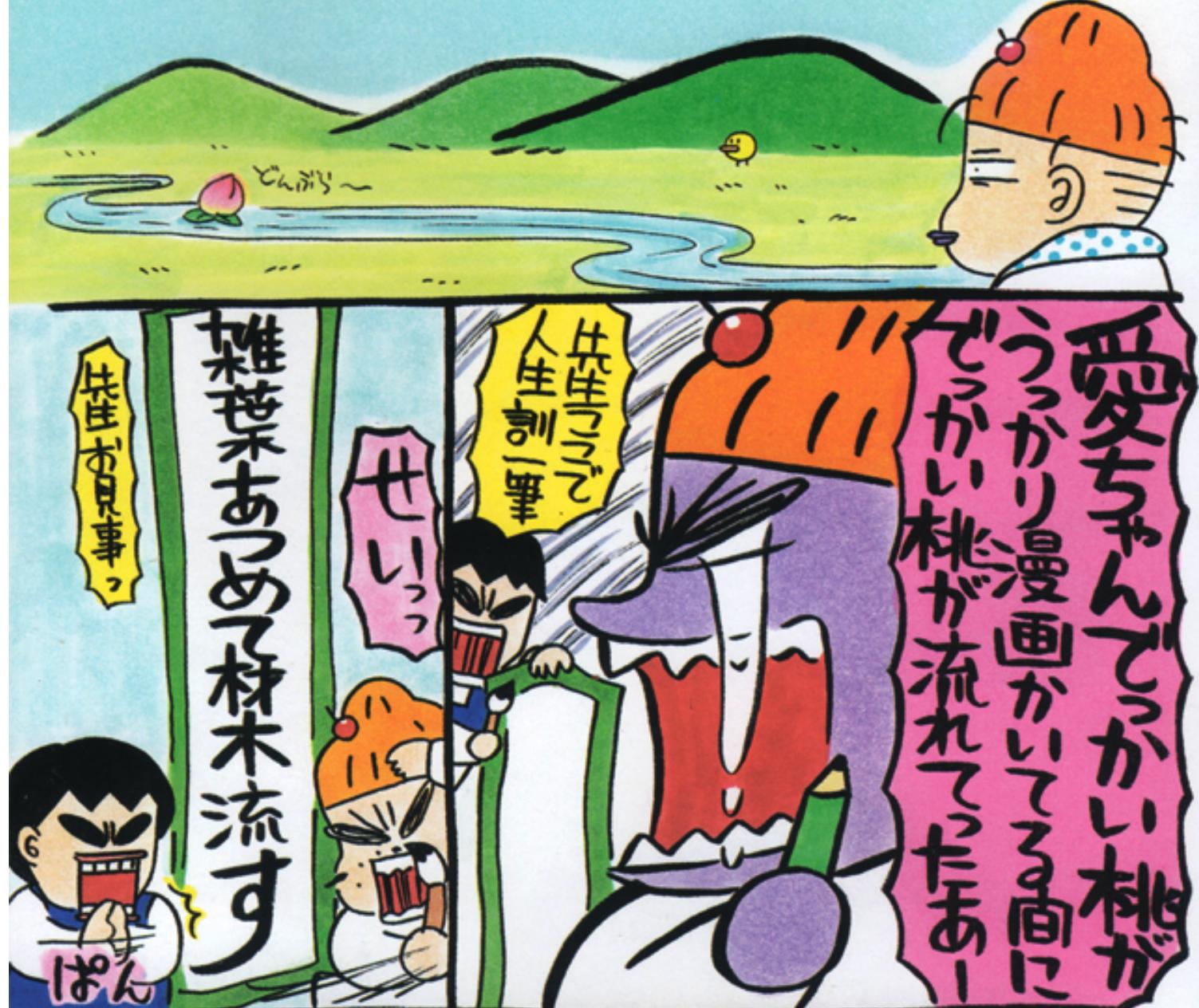
かいてるので印税を  
くれるんだって。  
本が出てるんだ

2億円  
用意してました

だして本、全部買つ  
ホクたもん  
じきは自分で作  
かせきや

おけがる  
ぼやき本が  
ぼやきて今さら  
おけがる





おわり



かっちゃんの  
**劇的**  
ビフォー・  
アフター！

最後の  
超若返り手術を経て、  
見ため三十代に！  
ほとんど息子と同じ顔。  
これぞ究極の  
アンチ・エイジングだっ！

**After**

# ブスの壁

目次

プロlogue

## ブスよ喜べ

7

壁攻略

STAGE 1

ブスは管理社会に縛られない自由人である

● ブスは支配者の都合で捏造された被害者だ！ 16

● 美人の貧乳よりブスの豊乳 24

● ハゲの壁へ特効薬発見!? 32

● 体臭の壁へワキガはフェロモン 40

● デブの壁へあなたのおなかは美しい 50

● サッチャー、若返りに挑むへ焼き畑農業篇 58

● サッチャー、若返りに挑むへロシアンリフト篇

● ブラックジャックによりしゃべ美容外科医版！

## ためしに美人になつてみるか

83

- シュバイツァーはやぶ医者? 84

- ソウルの「整形通り」 92

- 「えくぼが美人の条件」ベトナム整形

- 美容整形三国志 108

- 続・美容整形三国志 118

- 中国・人造美女コンテスト 126

- 続・中国・人造美女コンテスト 134

100

## ブスは進化した人類である

143

- 一重まぶた手術が流行る!?

- ある僕の一日

152

144

● 美容医学における文明の衝突 160

● 進化し続けるロシアンリフト 168

● 若返り手術・華岡青洲プロジェクト!

● 高須クリニック、株式上場計画!?

● 台湾でブーム「開運整形」 194

● 高度成長を続ける中国美容整形 202

● 医療ビジネス最前線!

210

176

## あとがき

218

コラム◎高須克弥と七人の友人

野村沙知代<sup>48</sup> / 武藏<sup>49</sup> / 林葉直子<sup>116</sup> / 野坂昭如<sup>117</sup> /

内館牧子<sup>142</sup> / 岡田真澄<sup>184</sup> / 岩井志麻子<sup>185</sup>

かつちやんの思い出アルバム 業績篇<sup>82</sup>・人脈篇<sup>220</sup>

# ブスの壁

Katsuya Takasu  
Illustration by Rieko Saibara  
Bu-Su no Ka-Be

# かつちゃんの、 バスに捧げる 十の格言

- 一、実際にモテているのはバスなんです
- 二、バスは出世します
- 三、バスは生活力があります
- 四、バスとは個性派美人のことです
- 五、バスは長もちします
- 六、バスは頭がいいんです
- 七、バスは金持ちになれます
- 八、バスは喧嘩に強いんです
- 九、バスを十人平均化すると、絶世の美人になります
- 十、クレオパトラもバスだったのは定説です



## プロローグ ブスよ喜べ

AACS（アメリカ美容外科学会）は五十年以上前にハリウッドスターたちの美容整形を一手に引き受けて財を成した、アメリカの天才美容外科医、リチャード・ウェブスター教授が設立した、歴史ある学会です。美容外科医のマスターズであるAACSの正会員になるには、オーガステガルフクラブの正会員になる程度の審査が必要です。幸運にもコネに恵まれ、僕は二十年ほど前にこの学会の正会員になりました。

毎年ロサンゼルスの高級ホテルで、現在活躍中の脂ののりきつた美容外科医たちが自慢のテクノロジーを披露しあうコンペである総会が開かれています。二〇〇二年の総会は一月三十一日から二月三日までマイアミのフォートローダーデールで開かれました。このとき、学会の開催スタイルは従来の方式とは違っていました。アメリカ同時多発テロの影響で、参加申込者が激減しているのに鑑み、ゴルフコースやフィットネスクラブを併設したリゾート施設を会場にしたのです。ユダヤ人の多いアメリカ美容外科学会はイスラム系テロリストの標的になりやすい団体とみなされています。高級ホテルやビジネスセンターのある高層ビルで学会なんか開いたら何が起こるかわかりません。見晴らしの良いリゾート地ではありますが、空港並みの警備が行われた上で開

催となりました。

しかも今回は、学会活動の停滞から美容外科業界の不況につながることを危ぶんだ美容医療関連会社からの莫大な資金協力があるので、贅沢な内容になると宣伝されており、アメリカ企業の将来のビジネス展開に役立ちそうな三十ヶ国の美容外科医が招待されました。

おかげで、この学会は空前の成功を収め、このとき発表された革命的な美容医療のテクノロジーはアメリカのみならずヨーロッパやアジアの美容医療業界に活況をもたらしました。僕が披露したテクノロジーは、美容外科患者の欠点を見つけ出し、バスから美人へナビゲーションをするコンピューターソフト。なんでもアメリカンスタンダードにしたがり、マニュアル化したがるお馬鹿さんのアメリカ人にはいいだろうと思つて発表したら案の定、大受けだつたので、日本での大当たりを確信し、帰国後製品化し、発売しました。この原稿が出るころにはベストセラーになつてゐるのではないか。なつていなかつたら、あなたが頼りです。買つてください。題名は「私、美人化計画」です。

このソフトは初めに、日本特有文化である偏差値が表示されます。美人度の偏差値です。「新潮45」の中瀬ゆかり編集長と、このエッセイにイラストを描いてくださる西原理恵子画伯の美人度を測つたところ、御二人とも九十点台でした。センター試験なら東大の理IIIを楽々クリアできるくらいの美人度だと言つた方がわかりやすいかもしません。夏目雅子さんとどつこいどこいでしょうか。喜んじやいません。不吉なことです。そのわけをこれから追々お教えします。今、ヨーロッパでは注入材料による若返りがブームで、イタリア、ドイツ、スウェーデンの医

師たちの発表がうけていました。僕が、「深いしわを注射で埋められるのなら、日本人の低い鼻に注射して高くできるんじやないか?」と質問したら学会場は爆笑の渦に包まれました。

半分ジョークだった僕のアイデアを自分の鼻で翌日実験してみました。注入材料は一九九八年、ロンドンでの公開ワークショップでしわとり目的で顔中に注射したのと同じ物質でしたので恐怖はありません。僕はこんなふうにいつでも自分の体で試してみます。まさにひとり華岡青洲。自分のアイデアが実体化するのを見るのはとても楽しいのです。一瞬でアメリカ人に負けない高い鼻になりました。日本でのプチ整形のブームはこのときのテクノロジーを僕が日本で広めたことにより火がつきました。

まもなく、このニュースを聞きつけて、TIME誌が取材にやって来て、特集記事を組んでくれました。写真誌の広告力には目を見張るものがあります。波及効果でプチ整形ブームは今やアジア全域に広がりつつあります。

話を元に戻しましょう。アメリカ美容外科学会は軍産複合体の主催する国際武器見本市みたいなものなんです。開催には莫大な費用が必要なはずです。会長のロバート・ジャクソン博士に学会開催資金をどのように調達したか質問してみました。会長は悪戯っぽい顔でウインクしながら言いました。「UPAの資金援助のおかげだよ」。

アメリカには多くの秘密結社があります。KKKとかフリーメーソンとかブラックパンサーとか有名になつたものは、もはや秘密結社ではありません。UPAも僕がここでその存在を公表したとたん秘密結社でなくなるのです。秘密結社のトラの尾を踏んだらひどい目にあうようです。

なんと言つても秘密結社の中心はユダヤ系の大金持ちですから。この原稿が出ると、「新潮45」の運命は、文春の「マルコポーロ」みたいになるかも。いや、イスラムのテロの標的になるかもな。知つたことか。読者が面白がればいいんだ。なんでもしゃべっちゃうぞ。UPAの正式名称は「アグリー・ピープル オブ アメリカ」です。「米国バス協会」といつたところでしようか。

UPAはバスであるがゆえに差別され、虐げられた人々が連帯して世界を制覇しようとしている秘密結社なのです。もしかしたら既に目的は達成されているかもしれません。アメリカのリーダーの顔を見るにつけ、どいつもこいつもUPAのメンバーに見えます。僕はアメリカ美容外科学会の会員の大多数はすでにUPAのメンバーになつてゐるのではないかと疑っています。

一流美容外科医はもちろん若いわけはありません。長年の技術の修練で、人間国宝を作るみたいに磨かれて一流になるのです。若返り手術や、美人になる手術の達人でも、自分自身に手術して若くてハンサムになろうとはしません。功成り名を遂げた人には美容整形は不必要なでしょうか。

ヨーロッパの貴族は美貌を必要としませんでした。ハプスブルク家の女性は例外なくアントニオ猪木みたいなしゃくれ顎をしていましたが、マリー・アントワネットのことをバスだとは誰もいませんでした。金と家柄と権力があればバスを直す必要はないからです。美の基準を自分に合わせて好きに変えられるのですから。現にトンガ王国ではデブが美人であり、アメリカインディアンでは垂れ乳の女性が美人です。アルタミラの洞窟に描いてある女性や土偶の女性が美人と決められていた時代もあるのでしよう。朝鮮民主主義人民共和国で一番ハンサムなのは北の将軍

# 北の美女【軍団】

整形が

甘いと  
たいとう

御立腹。

僕に言えば

技術指導  
してあげるのに。

とのまま



さらわれてしまえ。

様であることは周知の事実ではありませんか。将軍様が美容整形に興味をもたれるわけがないではありませんか。マクドナルドの社長が昼食にハンバーガーなんか食べないのと同じです。自分自身や家族に美容整形する医者はジエンナーや華岡青洲みたいな変わり者とみなされます。整形やハンバーガーは売り物なのです。

バスほど成功し、支配者階級になるパワーを秘めているのです。一般的にはバスは金と力があります。バスはタフで長生きなんです。昔の日本人は洞察力がありました。「色男カネと力は無かりけり」とか「美人薄命」とかは誰でも知ってる諺でした。

バスはトリカブトの別名です。保険金殺人にも使われた、紫色の可憐な花の咲く、観賞用の植物です。猛毒です。鎌<sup>やり</sup>に塗ればヒグマもイチコロですが、使いようによつては強心作用もあり、救命に役立つ薬でもあります。バスは味方にすれば可愛い、役に立つのですが、いつたん敵にまわせば猛毒となる恐ろしい存在だと古人はアドバイスしていたのでしょう。

しかし残念ながら日本にはまだ強力なバスの秘密結社は存在していません。バスの力を知らない日本は、UPAに操られたアメリカの植民地になっています。

読者諸氏に問いたい、「現代の美人の定義は?」。たぶんこんな答えが返ってくるのではないでしょか。「目がぱっちりしている」「肌がきれい」「鼻が高い」「小顔」……ぜんぶ間違いです。現代美人とは顔立ちが整っていることが絶対条件。浜崎あゆみの目であろうが、ベッカムの鼻であろうが、バランスが悪ければ立派なバス（ブ男）なのです。つまりプロポーションの良い顔が美人であり、いくら部品が良くとも組み立て方が整つていなければバスなのです。一点豪華主義

の美人は存在しません。むしろ全部地味なほうが美人なのです。日本の伝統的な美人は雛人形に見られるように、目も鼻も口も全て小さく、平べったい顔をしています。ヨーロッパ人の美人はミロのヴィーナスに見られるように、目も鼻も口も全て大きく、立体的な顔をしています。美人に見せるには、全部が大きいか全部が小さいかどちらでも良いから均一化し、バランスをとることが重要なのです。

日本人は突出することを嫌います。「出る杭は打たれる」などといって、平均的な小さくまとまつた美しさを好みます。異能の人を「変わり者」呼ばわりして足を引っ張ります。パチンコ業界を例に取りましょう。これがアメリカなら「パチンコ王」でしょうが、日本では「パチンコ成金」。ほんとは歩なのに金に化けているにせものだと馬鹿にしているのです。

日本人は本質的に化ける（美容整形）のが嫌いなのかもしれません。だつたらあるがままの才能を開花させてバスの力を認めてあげればいいのです。

「バスは弱者だ。どうにもならない」と考えることによって思考を遮断する「バスの壁」があります。もうひとつ「美容整形でバスを治せば全てが薔薇色になる」という「バスの壁」もあります。

日本にもUPJ（アグリー・ピー・ブルー・オブ・ジャパン）を設立しようではありませんか。入会資格はユダヤ人になるより簡単です。ユダヤ人になるにはユダヤ教の信者になることが条件ですが、UPJの会員になるにはひとつの質問に答えるだけでいいのです。

質問「あなたは美人（美男）ですか？」「いいえ」が答えなら、おめでとう。あなたには立派

なUPJの会員資格があります。どんな特典があるか、ですって？ ブスって特典だらけなんですね。目覚めなさい。きっとわかるに違いありません。これからお教えしましょう。「ブスの壁」の壊し方を。

壁  
攻略

STAGE  
1

ブスは  
管理社会に  
縛られない  
自由人である



## ブスは支配者の都合で捏造された被害者だ！

二〇〇三年十一月十九日付のニューズウイーク誌に、トンデモ記事を発見しました。メインタイトルは「The Global Makeover 時代はいまグローバルビューティー」だつて！ キヤツチコピーは「トレンド 技術の進歩とメディアの発達が伝統的な美人の基準を揺さぶっている。大衆化した美容整形手術の急増で、美のグローバルスタンダードが誕生する？」。曰く「今や世界の美容ビジネスは、年商千六百億ドルの巨大産業に成長。手術も前より安全になり、利用しやすくなつた。アメリカでは昨年、六百九十万件の美容整形手術が行われた。一九九七年に比べると三倍以上の伸びだ。ヨーロッパとアジアでも増加の一途をたどつている。美容外科手術は、史上かつてないペースで広がつていて。手術のコストが下がり、美のグローバルスタンダードを求めて体にメスを入れる女性（と男性）は増える一方だ」。ユダヤ資本のプロパガンダの走狗め。君たちの言いたいことは読む以前に理解できるぞ。アメリカ主導の価値観を押し付けるつもりだろう。ほーら出た。丸顔に小さな口が昔は美人とされたが、今のアジア女性は、あごのとがつた面長の顔が御好み、だつて？ 馬鹿言っちゃ困るよ。誰がそんなこと決めたんだい？ 「今やアジア圏ではグラマーなインドの女神や丸顔の典型的な中国美女が、面長の顔にすらりとした体をも

つ西洋型美人の攻勢に押しまくられている」。アメリカ経由のイラク情勢の報道みたい。ばつかじやないの！ 伝統的美人はもててますよ。

二〇〇一年六月、中国の大連で第一回日中合同美容外科学会が開催されました。美の基準が多数決で決められるものなら、十三億の中国人と一億二千万の日本人が手を組んでグローバルスタンダードをアジアの美しさにしちゃおうというクーデター的集まりでした。三千人以上の日本と中国の第一線の美容外科医が参加したこの学会は大成功に終わり、第二回目の学会は横浜で開かれました。このとき韓国美容外科学会が参加を表明し、アジア人がイニシアチブを握る東方美容外科学会 (Eastern Society Cosmetic Surgery) が誕生。そして二〇〇三年の十一月一日から四日間、上海で第一回東方美容外科学会が開かれました。台湾、ベトナム、シンガポールなどの美容外科学会が参加し、大東亜共栄圏の再現みたいでした。なぜか日本ではほとんど報道されませんでした。欧米人を参加させない国際学会は報道する価値が無いのかもしれません。学会の模様は僕のウェブサイトでも見ることができます。

そして、この学会において、伝統的なアジア女性の美の基準は、白い肌、ほつてりとした小さな口、つややかな黒髪、ふっくらした丸顔と決められました。奇しくも挿絵を描いてくださっている西原理恵子画伯がこの基準にぴったり一致しました。欧米とアジアの美の文明の衝突です。アジアが勝つたら、サイバラ先生あなたがクレオパトラ、楊貴妃に続く歴史的な美女になれるんですよ！

現代の戦争は宣伝戦から戦端が開かれます。中国では美的トレンドが変わつてゆくことでしょ

う。しかし日本では茶髪にブルーのコンタクトレンズをした若者たちが増殖しつつあります。植民地の民の悲しさでしょうか、良識ある大人たちでさえ「宗主国アメリカの一級誌ニューズウイークに報道されていることは本当のことだ」と信じてしまうんでしょうな。

ニューズウイークの先の記事にはもうひとつ気分が悪くなるような話が出していました。「カリ・フォルニア州の元美容整形外科医スティーブン・マークワートは『黄金分割』に基づく目や鼻の配置こそ、理想的な美だと主張する。黄金分割とは、人間が見て最も美しいと感じるバランスを生む一・六一八対一の比率のこと。たとえば、顔全体の長さと目からあごまでの長さが一・六一八対一になるのが最も美しいとされる。『どんな顔が美しいかをいろいろと考えてきたが、美のイメージは数量化できる』とマークワートは力説する。マークワートは人間の顔をスキャンして、コンピューター上で黄金分割に従って配置を変える技術を開発した。医師がこのプログラムを利

用すれば、美容整形手術のガイドラインになるという」。

前項で、僕が開発に携わったバスを美人へとナビゲートするコンピューターソフト「私、美人化計画」を紹介しました。発想はまったく同じです。危ないところでした。僕のほうが後だったアメリカのソフト会社から訴えられていたかもしれません。僕のソフトは現代美人たるもののが基本の型にはめてしまえば、誰でも一般人が納得する美人（美男）にすることができる教育ソフトでもあります。基本理念は簡単です。「解剖学的な日本人の平均値に近づける」ことです。

美容外科医にとつても基本は重要であります。基本とは習字のお手本みたいなものです。わかりやすい楷書が上手に書ければ、「上手な字だ」とほめてもらえるに違ひありません。王羲之が

書の神様になつたということは「どんな字が美しいか」という基準を決めるイニシアチブを中國人が握つたことを意味します。書の世界では中國の覇權は揺るぎません。

基準を作りそれに従わせることで統治するのは帝國主義の手法です。言い換えれば皇帝の趣味に大衆が従つてゐるのが帝國なのです。古代エジプトのファラオは中指の長さを基準とし、その十九倍の身長の女性を理想としました。たぶん自分の愛している女性のプロポーションがその数値だったのでしょう。秦の始皇帝には受け入れがたい基準です。両国が遠く離れていて幸いでした。古代ローマ帝国の基準は現代にも影響を及ぼしています。古代ローマ帝国では頭の大きさの八倍の身長、いわゆる八頭身で足の長さは身長の二分の一が理想とされていました。多分インカ帝国にもモンゴル帝国にも美の基準があつたことでしょう。しかし覇權を失つた帝國の美の基準は陳腐化してしまいました。

十九世紀から二十世紀にかけて歐米の帝國主義は大膨張しました。歐米の皇帝は常に白人です。白人の顔やプロポーションを美の基準として決めつけ、押し付けてきます。大東亜戦争に負けるまでは、日本にはバスは少なかつたんです。和服をきりりと着こなした、一重まぶたの胴長短足の女性が美人画の定番でした。蝶々夫人だつて、唐人お吉だつて歐米人のハートをつかんでるじやありませんか。

アメリカの植民地政策の成果で、敗戦後「アメリカ人のような顔になりたい」女性が急増し、伝統的な日本美人をバス呼ぱわりするようになりました。大日本帝国の教育では「鬼畜米英」だったんですよ。なんで鬼畜になりたいの？ 白人が美の頂点だなんてちやんちやらおかしい。

「もう一回バブルが来れば  
今度は絶対  
向違わない。」

「何回も違うと同じ人間が  
やる事だもの、同じ結果にならぬよ。」

「いや絶対あの携  
帯電話のわざかな休けい  
時向中に心のひとつも  
休められない人生のおまかえも  
忘れていいつた  
#ラ 60歳



胴長短足、一重まぶたの、丸顔の、ぱつたりした唇の、黒髪のあなた。目覚めなさい。あなたは美しい。八頭身、二重まぶた、あごのとがった、唇の薄い、茶髪のヤツらに負けちやだめ。僕と連帶して傲慢な白人帝国主義者に鉄槌をくだしてやりましょう。

僕の夢は、美の帝国の皇帝になり、美の基準を自分の好みにしてしまうことです。読者諸君「そんなこと夢物語。できるわけない」と思つてるんじゃない? できるんです。一般人からいつたん高い評価を受けてしまえば、後はなんでもありが美の世界の面白さであります。晩年のピカソの作品だって一流の美術品です。

「美容外科界の至宝」と呼ばれる、ブラジルのイボ・ピタンギ教授は美容外科界のピカソです。彼の手術は世界の美容外科医の御手本とされています。いまや批判する人はおらず、ピタンギ原理主義です。彼のもとで修行する、美容外科を習得したい外科医は徹底的にデッサンと解剖を叩き込まれます。その後何年も貧民施療病院で腕を磨かされます。マザー・テレサみたいな状況を経験した後、金持ち相手の美容外科医としてデビューを許されます。まるで少林寺で修行する拳士みたいです。

F1レーサーのニキ・ラウダが大事故で瀕死の大火傷を負った際、リオデジャネイロのピタンギのもとに空輸され、奇跡の復活をしたことは世界中のレースファンが知っています。画家のサルバドール・ダリがやはり同様な大火傷から復活できたのも、イボ・ピタンギの「神の手」によるものだと言われています。

モナコのグレース大公妃やエリザベス・テラーの主治医としても有名です。貧しい人からは

グレース・ケリーの主治医でもあった  
“美容外科界の至宝”イボ・ピタンギ教授と。  
僕が35歳、教授が60歳の頃。



一銭の謝礼も受け取らない一方、豊かな人々や王侯貴族からは天文学的な治療費を平然として受け取る、国際的な赤ひげです。医は仁術と言われますが、仁術には経済的な裏付けが必要です。昔の医者は金持ちから十分すぎるほどの報酬を得ていた上、税に苦しめられることも無かつたため、貧しい人々に施療する余裕があつたのでしょうか。

三十年くらい前、僕が高須クリニックを開業して間もないころ、形成外科を指導してくださった、恩師である教授がおっしゃいました。「高須君、キミは業界で、日本のピタンギと呼ばれているそうじゃないか!」嬉しかったですねー。「ありがとうございます。光栄です」と頬を上気させる僕に教授は冷たくないわれました。「勘違いしちゃいかんよ、キミ。世界の嫌われ者だってことだよ」。今(二〇〇四年一月)八十五歳のピタンギ先生も当時は五十代の働き盛り。今日ハリウッドの大スターの手術が終わったら、あすはスペインの大富豪の若返り治療に出発するといった、自家用ジェット機に乗つて世界を駆け巡る毎日。こつこつ地道に地元に名声を築く努力をしているカントリーサイドの開業医を尻目に荒稼ぎをするピタンギ先生は、地味で貧乏な医者たちの怨

僕60歳、ピタンギ教授85歳。  
僕はもうすぐあとがまになれる！

嗟の的だつたのです。

僕も全国に高須クリニツクチェーンを展開し、全国の美容外科開業医が商売敵になつてしまい、まさにピタンギ状態。親近感をいだいた僕はピタンギ先生と連帯しようと決心しました。商売敵から見れば悪の枢軸に見えるかも。

都合の良いことに、恩師に注意された年に、ブラジルで世界美容形成外科学会が開催されました。つてをたどつてピタンギ先生と面会し、以来三十年の友情を育んでいます。いまやピタンギ先生のライバルや嫌がらせをする美容外科医は世界に一人もいません。全部死んじやつたんです。税金の安いブラジルのピタンギ先生はいまや世界有数の大富豪でペレやアイルトン・セナより尊敬されています。僕はまだ尊敬される芽がでません。意地悪する人々の消滅と税制改革を夢み、ピタンギ先生の後釜をねらっている今日このごろです。なんちやつて。





## 美人の貧乳より、ブスの豊乳

パームス・プリングスで美容外科クリニックを営んでいる悪友、デビッド・モロー先生から緊急電話。ITバブルの崩壊で壊滅的損害をこうむり破産状態にあるはずなのに何の用だろう？金貸してくれって言わいたら、日本の小泉不況のことを話して断ろう。いや待てよ。彼はアメリカ元大統領のフォード氏夫人や大金持ちのアイアコッカ氏夫人の主治医なんだから、いい情報かもしれない。「ドクター・タカス、いい話がある」。そら来た。

モロー先生、前回はミューズっていう、尿道の中に突っ込むとたちどころに勃起するインポ薬を教えてくれたよね。高須クリニックで日本のインポ患者の診察をして、あなたのクリニックにデータを送ると、アメリカから患者あてにミューズが送られてくる営業システムで、瞬間的なブームを作りましたよね。でも半年後、アメリカのファイザー社で飲む勃起薬バイアグラが発売されて、ビジネスはあえなく尻つぼみになってしまいましたよね。今度はうまくやろうね。

「ドクター・タカス、FDA（アメリカ連邦食品医薬品局）がシリコンゼリーラインプランツの製造販売を許可するのは知ってるね？アメリカで巨乳ブームが始まるぜ。僕はバストの術後拘縮を予防する薬を発見した。これで僕もミリオネアに返り咲ける」。モロー先生、きみは不動産

王トランプかよ。

予備知識のない読者の皆さんのために少しばかり解説をします。一九六三年にテキサスのクローニン博士はシリコンの袋にシリコンのゼリーを詰めたシリコンゼリープラントを開発しました。これを乳腺の裏側に埋め込めば半永久的な豊胸手術ができると考えたのです。このアイデアをアメリカの大シリコンメーカーだつたダウコーン社が製品化して世界中に売りさばいたのですが、一九九二年になり、アメリカでそのシリコンインプラントによる豊胸手術を受けた患者さんが、手術が原因で膠原病になつたと、訴訟を起こしました。敏腕弁護士の作戦で患者さんをテレビに出演させ、病んだ体をアピールしたのです。アメリカ中のマスコミが反応し、当時のFDA局長は点数稼ぎのために大問題のようにとりあげました。乳がんになると言い出した学者も出現し、全米あげてのパニックが引き起こされました。シリコンインプラントで乳がんになつた、膠原病になつたと称する多くの患者さんが出現し訴訟を起こします。結果、ダウコーン社は敗訴し、莫大な補償費用をまかなければ倒産しました。アメリカ政府も動き、社会問題を起こしたシリコンインプラントの製造と使用は禁止されました。アメリカの属州みたいな日本でも、右にならえで、シリコンインプラントの製造と輸入が禁止されました。

そこで一方的に悪者あつかいされ、虐げられたメーカーと美容外科医たちは名誉回復のためのデータ収集と研究にとりかかつたわけです。はやばやと、一九九二年末に権威ある医学会誌に驚くべき論文が発表されました。はやばやと、一九九二年のマスコミの論調は豊胸シリコンインプラント悪玉説に傾いており、このニュースは黙殺されました。僕の記憶では報道したのは反骨の週刊新

潮だけ。でも悲しいくらい小さな健康ニュースとしてしか扱われませんでした。

### 「乳がん少ない？豊胸手術

シリコンを使う豊胸手術をすると乳がんにかかりやすくなるのではないかと言われているが、手術をしていない人に比べてもずっと乳がんの発生率が少ないという研究が、このほど米国でまとまつた。医学誌『ニュー・イングランド・ジャーナル・オブ・メディシン』に載った研究によると、美容のために手術を受けた一万一千六百七十六人について、このくらいは乳がんになつていてもおかしくないという期待値を計算すると八十六人と出た。ところが実際に乳がんになつた人は四十一人しかおらず期待値より五十二パーセントも少なかつた。米食品医薬品局は、美容目的の豊胸手術を禁止しているが、この研究でまた議論が再燃するかもしれない』

その後、世界中の研究者の手で追試が行われ、同様の結果が報告され、シリコン乳がん説は否定されました。さらに真実を追究することの好きなアメリカのジャーナリストの手で新たな事実が判明します。テレビに出てシリコンパニックに火をつけた患者さんは、いわゆる「あたり屋」で、豊胸手術を受ける前から膠原病であつたことが明らかになつたのです。乳がんも膠原病もイラクの大量破壊兵器と同様アメリカ人のヒステリーアが作り上げた幻想だつたのです。

シリコンパニックはアメリカとアメリカ植民地に吹き荒れた一種の魔女狩りでした。アメリカに従属するのを嫌うヨーロッパや南米ではシリコンプロテーゼがまもなく復活し、いまや世界中

がっちゃんに怒鳴られたとの  
キヤバレー取材中

女体盛の前に  
つれてつたらう

十セ仕事と  
はなれてまで  
裸で台の上に  
横たわっている  
な女をいじらにや  
うんのだあー



で使用されています。フランスから僕が個人輸入したシリコンプロテーゼで元女流棋士の林葉直子さんが巨乳になり、マスコミに登場してから、日本でも見直し始めたようです。

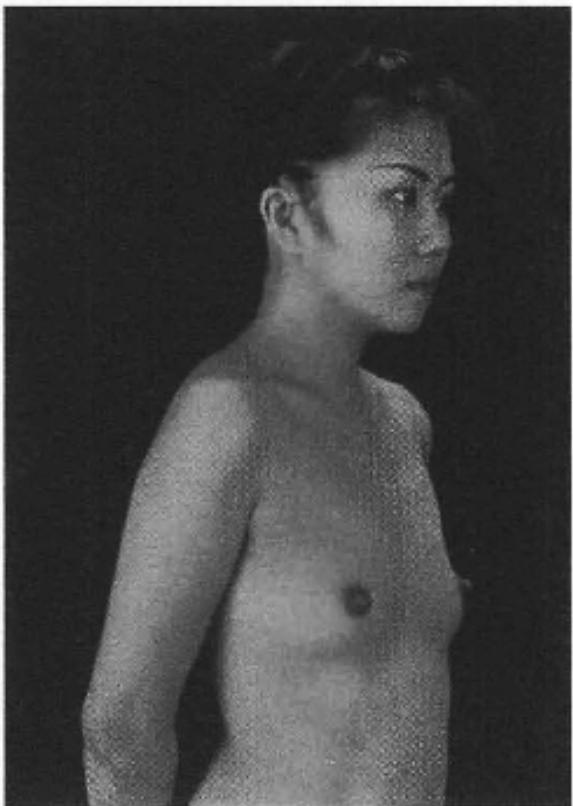
時間の経過とともにさすがのアメリカ政府とFDAも過去の誤りを少しずつ認め、アメリカではシリコンプロテーゼが復活します。シリコンプロテーゼに健康的な問題が無いとFDAが正式にお墨付きをくれたとしても、アメリカの美容外科医とシリコンメーカーにとつて大きな問題が一つ残されています。カプセル拘縮という現象です。シリコンは毒物ではありません。アレルギーを起こすこともほとんどありません。しかし生きている人体にとつては異物であります。異物を取り囲む、薄い纖維性の被膜がシリコンプロテーゼの周りに形成されます。これが時として厚く形成され、球状に縮みます。さらに縮むと硬いポール状の、美しいとはいがたい、不自然な乳房になってしまいます。これが豊胸手術の「術後拘縮」と呼ばれる現象です。被膜を切開したり取り除く手術をすることで改善はできますが、余分な手術をするアメリカの患者さんは貧乏な弁護士を使って手付金なしで成功報酬折半の訴訟をおこします。美容外科医も患者さんの攻撃に備えなくてはなりません。収入の半分以上が補償のための保険料になってしまい廃業する美容外科医もいます。Patient is enemy.（患者は敵だ）と公言する美容外科医もいるほど。ここらへんが医者と患者の信頼関係を尊ぶ日本とはえらい違いです。

被膜形成予防に術後のマッサージが有効と信じられていた時代もありましたが有効性に疑問を呈する医師が増えつつあつた時代にシリコンパニックが起きたのです。シリコンプロテーゼが全米で解禁になることは朗報ですが、被膜形成による訴訟はアメリカの美容外科医にとつて忘れて

手術後



高須クリニック式豊胸術 手術前



いた悪夢の再現でもあります。

以上、レクチャーを終わりますが、これで冒頭のモロー先生が僕に興奮してかけてきた電話の意味がおわかりになりますね？

おっと、いけない。このエッセイのタイトルは美容外科医のための鍊金術ではなく、バスの壁でしたな。本論に戻りましょう。

異性を魅了するのは顔の若さや美しさばかりではありません。乳房の若さと美しさはときに顔よりも性的魅力をひきたせます。バスの壁の講義も三回目。賢明な読者の皆さんには美しさの基準は時代と地域で異なることを理解し始めているはずです。おさらいをしましよう。旧石器時代には全身肥満した、垂れ下がった胸の女性が最高の美女だったようですね。BC一五〇〇～一三〇〇ころのエジプトでは小さなお椀状の胸が賞賛され、ギリシャ・ローマ時代はミロのヴィーナスのような手のひらですっぽり隠せるような半球状の乳房が美しいとされてきま

した。中世は乳房にとつても暗黒時代でした。キリスト教は禁欲主義的宗教です。禁欲的宗教の特徴は肉体を精神より低級なものとみなします。乳房が大きいと、肉体の欲望が大きいとみなされます。巨乳の女性は精神性が低く、知的でないことにされた。すなわち、巨乳の女＝馬鹿な可愛い女という、バスの壁が出来上がっちゃったわけです。もちろん巨乳の女性が貧乳の女性よりも知的でないという科学的根拠はありません。ちなみに僕の好きなタイプは大きなおっぱいの知的な女性ですが、見つけるのに苦労した経験はありません。しかし、僕を含め、活動的な男性たちは何故立派な乳房に弱いのでしょうか？

動物学者、デズモンド・モリスの説によれば「乳房は尻のコピーなんじや」だそうです。類人猿は人間様の親類です。かれらの生活様式から僕たちの遠い先祖のセックスライフをうかがい知ることができます。かれらは四足で歩き回ります。このとき「あたしとイッパツやらない？」といふ性的信号は、尻から発せられます。ゴリラ、チンパンジーたちの尻は排卵期に赤く腫れあがりますよね。お猿のお尻がまつかつかになると、オスは興奮しセックスしたくなるように仕掛けができているのです。ところが猿人以降の直立した状態では重要な尻がよく見えません。そこで直立歩行でもオスに見てもらえる胸の上に尻の代わりとして尻のように腫れた乳房が発達したんだそうです。

一般的な男がセックスの相手を選ぶ際、自分の子孫に少しでも優秀な遺伝子を残そうとする、あるいは生殖という目的に適しているか選別しようとする本能に左右されるものだと仮定しますと、異性獲得戦争でペチャパイの美人より美乳のバスのほうが勝つ可能性が高くなるはずです。

遠くからみて美人かブスか見分けることは困難ですが、乳房があるかどうかで男女の区別と生殖に適しているかの情報は即座に得られます。乳房は女性のシンボルであり、ニューハーフの一一番のこだわりは「大きな乳房」なんです。

モロー先生から電話をもらつて一週間後、スペインのバルセロナで開業しているガルシア先生から電話。「ドクター・タカス、いい知らせだ。私の開発した超音波発生装置をかけると豊胸手術後の被膜拘縮が完全に防げることがわかつた。すぐ送る。ためしてみてくれ」。わー！ ドクター・モローの商売敵じやん！ 二人とも僕と仲のいい友達なんだけどな。そうだ、二人のアイデアを合体させて新しい方式を開発させよう。利益は僕が独占する。僕つて天才。

あ、しまった！ 原稿に書いちまつただ。一般周知の方式はパテント取れなくなっちゃうんだよお。



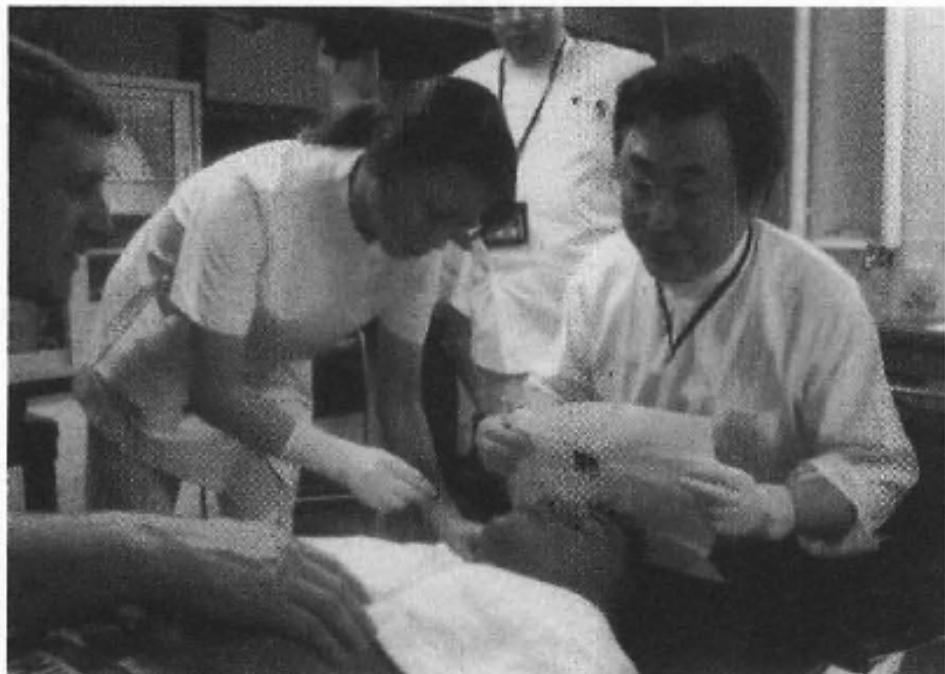
## ハゲの壁〜特効薬発見!?

二〇〇三年大晦日のK-1、曙vs.ボブ・サップ戦みました? ぶつ倒された曙の上でばたばた忙しそうに動き回っていた、頭の頂上にハゲのあるおっさんが僕です。

僕のサイドビジネスは「新潮45」に原稿書くことばかりではありません。K-1のリングドクターは格闘技大好き人間である僕の、もつとも楽しめるサイドビジネスであります。蟲原の選手はアメリカ生まれのジャンクフードの精霊、バタービーンです。彼の体型、風貌、性格の全てが大好き。彼はよきアメリカの象徴なんです。僕の好きなアメリカ人はデブでハゲで陽気なお人よしです。小細工なんかしない大振りなパンチで一発ノックアウトを狙う、ブルファイターには声援を惜しません。選手の頭部の形状を観察するにはテレビモニターが一番です。試合中、リングの上にはテレビ局の中継用クレーンがあつてそこからカメラが試合を俯瞰しているので、僕の頭頂部のハゲもよくわかります。そういえばK-1の選手にはハゲもしくは、ハゲの予備軍が大勢います。そのせいで、ハゲ産業のスポンサーがつきやすいのかもしれません。

僕の頭頂部にあるハゲは小学校の三年生のときの戦歴の証です。故郷・三河の偉人は吉良上野介と吉良の仁吉であることでもわかるように、ちょっと意地の悪い喧嘩つ早い土地柄なのです。

K-1 アルバート・クラウス選手を治療中。



このハゲはガキ大将だった漁師の息子と決闘したとき櫂で殴られた名譽の向こう傷です。

二〇〇四年は小学校のクラスメイトがそろって還暦になるというので、元旦に村の鎮守の神社で御祓いをかねて同窓会を開きました。僕と決闘したガキ大将は、立派な魚屋のおやじさんになつっていました。デブでツルッパゲ、なんと大好きなバーティビーンにそつくり！ ミラー現象つて

言うんですが、こちらが好意を持つて接していると、それが投影された相手も自分に好意を投影するようになるんです。不俱戴天の敵だった二人は、一瞬で最も親しい幼なじみに変身。その夜飲み交わした酒の美味かつたこと！

さて、ハゲがすきな僕は変態でしょうか？ いやいや、実はハゲは多くの人に愛されているんです。ハゲは陽気で精力的、男性的魅力にあふれています。

ハゲとブスは非常に似通った行動形態をとります。「僕が女性に愛されないのはハゲのせいだ！」「仕事がうまくいかないのも、出世できないのもハゲのせいだ！」違うんです、成功者にはハゲが多く、もてているのはハゲなんです。ハゲの底力はブス力に劣りません。ハゲとブスは兄弟なんです。

「ブスの壁」のとなりに万里の長城のように連なる「ハゲ

の壁」。今回は少しばかり脱線して「ハゲの壁」について語りたいと思います。

私の解剖学の恩師、中村為吉教授は鈴木貫太郎大将の親友でバリバリの右翼でいらっしゃいました。陸軍軍人のような、半分ハゲたイガグリ頭の教授の講義は、当時、数寄屋橋で街頭講義をしていました赤尾敏氏よりも迫力がありました。

中村教授はおっしゃいました。「ハゲは完全に予防することが可能だ。方法は二つもある！」。なんだと思いますか？

「まず一つ目は……去勢してしまうことじゃ」。わかりますね？ 名画「ラストエンペラー」を観たことのある読者なら、長い辯髪べんぱつの宦官たちが宣統帝に暇を出されて、自分の睾丸と陰茎を入れた箱を持って紫禁城から出てゆくシーンを憶えているでしょう。男性ホルモンの製造工場である睾丸を除去する……去勢してやればハゲないんですよ。ハゲのニューハーフなんて見たことがありますよ？

「二つ目は」。教授は厳かに申されました。「ハゲる前に死ぬことじゃ」。発展途上国、特に平均寿命の短い地域ではハゲはまれです。

「三つ目は」。教授は怖い顔をして低い声でおっしゃいました。「ハゲの血統をもった人間を繁殖させない……民族浄化じゃ」。

大日本帝国陸軍からドイツ第三帝国に研究員として派遣されていたエリート教授のお言葉は千鈞の重みがありました。中村教授の名誉のために一言。教授は理論家ではいらっしゃいましたが、性格はとても温厚な方でアイヒマンみたいな実務家ではありませんでした。理論家のドイツの共

同研究者が開発したユダヤ人淨化作戦のひとつに、こんなのがあつたそうです。登録証をつくるために役所を訪れるユダヤ人の男性の椅子の下に強力なエックス線発生装置を取り付け、知らない間に睾丸の精子製造能力を失わせようという計画でした。計画は実行に移されましたが、効果が認められず、ユダヤ人人口は増加してしまい、プロジェクトは中止されたそうです。

マッカーサーからページを喰らわなかつたら、東京帝国大学総長か軍医総監になつておられたはずの偉い先生の教えは、戦後日本の医師国家試験の模範解答とは程遠いものでした。風化しない真理はイデオロギーを進化させます。中村教授の教えは最先端治療の遺伝子操作を行う学者たちの思想と地下茎でつながっています。

「瓜のつるに茄子はならぬ」は真理であります。戦後日本では驢馬の両親が子供をサラブレッドにしようと努力するのは珍しいことではありません。白人の子供は白人に、黒人の子供は黒人になるのはあたりまえのことです。鳶が鷹を産むことなどないです。

ハゲの血統の人たちが交配を繰り返せばスタートレックに出てくる宇宙人みたいな、新人類が誕生するかもしれません。それませんなんて無責任なこと言つてすいません。誕生します。ハゲは進化した、未来を担う新人類なんです。保護すべき血統なんです。

人類の祖先、四百万年前の猿人は、類人猿と同じく全身が短い毛で覆われていました。原人が火を用いるようになり、旧人が衣服を身に着けるようになるにしたがい、体毛がだんだん無くなつてゆきました。生きるために必要な毛以外は全て消えてゆく運命にあるようです。知的レベルが高い文明国ほどハゲの人口比率が高いのです。だから「ハゲを治さなくちや！」

ボクは、メオガあるんだ  
みてくれる」と

秋田に清書院ナセた

もひかれて  
ヤガのねも

素人童謡を

一日中えんえん

私の仕事場に

何百枚

感想セリフをさせて  
もらひます。

先生と  
つきあう  
体験

お業が悪だ。帰ってくれ。



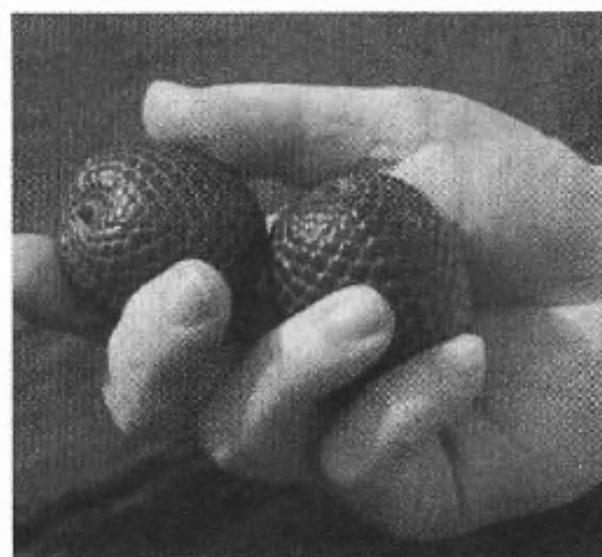
と思わせるように大衆の意識をもつてゆくハゲ産業のプロパガンダは文明国ほど洗練されていません。「新車買わなくっちゃ!」「ケータイ買い換えなくっちゃ!」と同様、購買意識を刺激することで経済は発展し資本主義社会は成熟するのです。回教徒の原理主義者が資本主義の最大の敵でしょう。ターバン巻いて、ブルカ着てればハゲでもバスでも平等なんですから、エステも美容外科もカツラ屋さんも倒産しちゃう。

資本主義社会でも不気味な地殻変動が起こる予兆が見られます。プロパガンダに使われるイメージキャラクターが企業の運命を変えることは広告業界では常識です。二〇〇三年の稼ぎレースのトップはベッカムでした。二〇〇四年のダークホースはコッリーナだそうです。わからない? 日韓ワールドカップ決勝の主審を務めたイタリア人の火星人みたいなハゲ審判。マネージメントしているイタリアの広告代理店は自信満々。「ハゲ頭に老若男女を惹きつけるカリスマパワーがあります。公平な審判というイメージは消費者に最大の安心感を与えるはずです」。

ところで僕はいま(二〇〇四年三月)、ベネズエラの首都カラカスで、この原稿を書いています。なんでこんな治安の悪いところに来ているのでしょうか。悪友にだまされて、闇プラントハンターやっちゃったんです。

二〇〇三年末、ベネズエラナンバーワンの実業家の美容外科医、エドワルド・クルーリグ先生が素敵な情報をくれたんです。「カラカスに南米一の美容外科病院を建てたんだ。南米美容外科学会のみんなが祝福しに来るんだ。パーティするから来ないか?」「いやだよ。ものすごく治安が悪いそうじゃないか」「いい話があるんだぜ。ベネズエラ奥地、ギアナ高地で、ハゲがなおる

これが、はげの特効薬「モリチャレス」だ！



植物が見つかった。ほんとかよ！ 世界中のプラントハンターが追い求めている夢の植物じゃん！ 経済的利益はマカなんかめじゃないぜ！

ギアナ高地はコナン・ドイルの小説「失われた世界」で有名になつた秘境で、プラントハンターにとつての宝の山であります。義務教育を修了した読者がご存知のように、太古の地球上にはパンゲア大陸という、ひとつの大好きな大陸しかありませんでした。二億五千万年前にこの大陸がゴンドワナ、ローラシアに分裂し、さらにはばらばらに移動し始めたのですが、ギアナ高地は分裂する大陸の中心だったため、移動しませんでした。この地は二億五千万年前のゴンドワナ大陸時代の太古の世界の形をとどめる「失われた世界」なのです。

ギアナ高地で確認されている植物は現在四千種類あるそうです。その七十五パーセントはギアナ高地でしか見られない固有種なのです。原始の姿をとどめ、進化から取り残され、他種と交わることなく生き続けてきた植物には、未知の薬効のある植物がたくさんあるに決まっています。

クルーリグ先生は熱く語ります。「植物の名前はモリチャレス」。ギアナ高地のサバンナに生えている椰子科の植物で少数の先住民がジュースにして飲んでいる程度で、文明社会では紹介されたことがないそうです。「男性のハゲがたちどころにおなる」。クルーリグ先生の情報には信憑性が高いと感じました。

そんなわけで本業のクリニックを休んでベネズエラくんだりまでやつて来てしました。

カラカスから小型飛行機で一時間半。到着したカナイマ村からセスナ機をチャーターし、ギアナ高地にあるカナイマ湖に到着、湖に浮かぶアナトリー島に着陸。この島に沢山のモリチャレスが生えているんだそうだ。

原住民のペモン族のガイドがセスナ機を出迎えてくれた。ガイドはナイキの野球帽をかぶつてる。モリチャレスのジュースを毎日飲んでいるんだって。「メ・グスター・エスト」。大好きなんだって。彼の案内で、群生するモリチャレスにたどりつく。椰子の木にそつくり。一本一本に稻荷鮓ぐらいの赤い果実が数十個、房のように生っている。手触りはアルマジロの背中のよう。いかにもハゲに効きそうだ。ガイドにチップをはずまなくっちゃ。「ムーチョス・グラシアス」。ガイドが野球帽脱いでチップのお礼を……。

アツ！ 横山ノック師匠にそつくり。ツルッパゲじyan！ いたずらクルーリグのジョークだ！ 翌晩のカラカスでの僕の歓迎パーティーで南米美容外科学会のいたずらっこの美容外科医たちが大笑いしているのが見える。



## 体臭の壁～ワキガはフェロモン

前項では、ハゲについてお話をしました。ハゲの治る植物モリチャレスを手に入れた翌晩、クルーリグ先生の大邸宅で僕の歓迎パーティーが開かれました。豪華絢爛な宫廷舞踏会みたいな排他的な雰囲気。むせ返る体臭と香水の洪水。かつての鹿鳴館もこんな風だつたんじやないかしら。国名ベネズエラの語源は「南米のベネチア」だそうです。世界一の美女の産地。支配者階層はスペイン系ヨーロッパ人。旧来の日本の支配者階層の人々から見れば風呂もろくに入らぬ、異臭を放つ「紅毛の南蛮人」。

クルーリグ先生一番のお気に入り美人秘書とダンス。彼女、ものすごいワキガなんです！　でも、チークダンスをしている僕はみんなの怨嗟の的。みんな彼女と踊りたがってる。

そう、日本では愛されていないワキガ女性が、ベネズエラでは最高級のフェロモンレディなんです。踊った男性は彼女の濃い体臭の魅力にめろめろ。昔からキツイ体臭の女性は國を傾けるほどの魅力があるんです。

唐の時代、玄宗皇帝の寵愛を一身に受けた楊貴妃は、傾國の美女の第一人者です。当時、夷狄いてきと呼ばれ、中国人から蔑まれていた辺境の異民族の出身だった楊貴妃が、時の絶対権力者の寵妃

という地位につけたのは、その美貌や知性はもちろんのことですが、彼女の体から発していた自然の芳香を、ことのほか皇帝が愛したためと記録されています。

玄宗皇帝が楊貴妃との愛に溺れているうちに唐の国は乱れ、反乱軍に追いつめられた皇帝は愛する楊貴妃を殺すという悲劇的な結末を迎えることになるのですが、皇帝は妃の香りをしのんで、その枢を竜脳の香りで満たしたと伝えられています。

皇帝を惑わし、国を滅ぼすもとになつた楊貴妃の体のにおいとは、何だつたのでしょうか。温泉に香りのよい草花を浮かべて湯浴みをしたり、香木で建てた家の中で、香をたいて楽しんだりと、人工的なにおいもふんだんに利用した楊貴妃ですが、そもそも最初に皇帝をひきつけた「自然の芳香」とは、彼女自身のワキガであつたようです。

中国人は日本人と同じく体臭が薄く、ワキガが少ない民族ですから、辺境の国から来た楊貴妃の「人間ジャコウ」のようなおいに、皇帝はエキゾチックな魅力を感じたのでしょうか。ナポレオンがジョセフィーヌに、シーザーがクレオパトラに夢中になつたのも彼女たちの体臭におぼれさせいだと僕は確信しています。

今回は体臭による差別によつて、バスと同様な迫害を受けている読者のために、体臭の壁について語ります。

まず、大ヒット映画「ラストサムライ」のシーンを思い出してください。小雪扮する「たか」がトム・クルーズ扮する主人公「オールグレン」を評して「あの獣のような臭い！」と眉をひそめる場面。欧米の女性ならクラクラするはずのフェロモンが嫌悪の対象。オールグレンがたかに

嫌われたのは、「清潔好き」という、日本人の民族性のせいです。その証拠に、愛に目覚めたたかは、戦いに出て行く、ばつちいオールグレンの裸をおしほりで丁寧に拭いてやり、きれいな下着に替えさせます。バイキングやマサイの戦士には不要の行為ですが、大和撫子には重要な儀式なのです。

日本人は「身奇麗にしてにおわないこと」が美德とされている民族です。幕末に黒船で来航したアメリカの提督ペリーは、日本人の清潔さに驚き、「未開の国につきものの汚さがなく、貧民でさえこざっぱりしている」ことに感心したと記録されています。日本人は全体として体臭が薄い民族ですが、それゆえに、汗や汚れによる軽い体臭にまで敏感で、積極的に自分の体のにおいを隠そうと努力してきたのです。ヨーロッパ人は強い体臭があることを認めたうえで、より強い香りで覆い隠すという方向から香水が使われてきました。日本ではまず体臭を消し、そのうえで匂い袋や香を身につけて、ほのかな香りだけにするのが身だしなみとされてきました。日本人の清潔好きで強いにおいを極端に嫌う傾向は現代では病的にすらなりつつあります。日本の都市では悪臭や異臭を放つものが昔に比べてぐんと少なくなりました。水洗トイレや車の中や玄関先によく置いてある脱臭剤や芳香剤は外国ではめったに見かけないものです。若者たちの間に、自分の体を清潔・無臭にすることに必要以上にこだわる傾向がみられます。

僕はこの風潮には大反対です。一種の社会的病気だと考えています。社会の病気を治す医師は最高のグレードの医師です。今はしがない美容外科医に落ちぶれてしましましたが社会の病気を治す医師に僕はなりたかったんです。強い体臭を持つ日本人に「たまたま生まれてきた国と時代

脂肪吸引が古川と本間でトントンかした。  
泣くほど怒ったわ。泣くほどどの事なんだよ。

吸ってくれよかつちやん。

どうしてもダメ  
つてやうなら  
神奈川クリニック  
行くからね、

リバ

あんた日本最初の脂肪吸引で  
最初のひどい会長で

脂肪吸引



が悪かつたね」と慰めても、なんの助けにもなりません。

体臭の感じ方はそもそもかなり主観的なものであります。嗅覚の能力には個人差がありますし、好き嫌いもあります。バラの香りが大好きな人がいる一方、あの甘ったるい香りが大嫌いな人もいるのです。僕は少年時代、チューインガムやキャンディーをばらまく進駐軍のジープのあとを追いかけて排気ガスの臭いをクンクンかいで喜んでいました。今でも、多くの人にとつて吐き気を催す不快な臭いであるガソリンや排気ガスの臭いが大好きです。

一昔前、僕はヒンズー教の修行の目的で、しばらくインドのベナレスに滞在していたことがあります。圧倒されたのは街中に漂う強烈な臭氣でした。当地では、し尿処理をはじめとする衛生設備が整っておらず、ガンジス川では沐浴する人々の傍らを、排泄物やときには死体までもがブカブカと流れていきます。牛が聖なる動物としてあがめられている御国柄ですから、大通りにポートボト落し物をしていつても誰も気にしません。だから僕がインドを嫌いになつたかというと決してそんなことはなく、慣れるにしたがつて、インド的な不潔さを愛するようになつてきたのです。

このような状況下では、上、中流階級以上の人々は別として、満足な家を持たず、時には路上で生活しているような貧しい人々の体は衛生的とは言いがたい状態です。体からすごい臭気を放っていますが、誰も気にする人はいません。圧倒的な社会的臭氣の中にまじつてしまふのは当然と言えば当然です。慣れれば悪臭でも快いにおいになるのです。言い換えましょう。悪臭を放つものを薄めてやる

と快い香りになります。逆に快い香りが濃くなると悪臭に変わるので。においとなる成分が化学的にみると同じものでも、濃度が違うと嗅覚がまったく別の刺激としてキャッチしてしまうのです。

いくつか例を紹介しましょう。ジャコウはジャコウジカから精子嚢ごと取り出します。このときは、ちょうど糞のような不快なおいでですが、薄めていくにしたがつて、古来から人間に珍重されてきた芳香に変わつていきます。やはり動物性の香料として有名な龍涎香りゆうせんこうはマッコウクジラの腸内にできる結石ですが、これも原料の段階では、強烈な糞のにおいがするのです。

さらに人間の糞そのものも、アルコールで一万倍に薄めると、ジャスミンやくちなしなどの花の香りがしますし、磯海苔や佃煮のくせのあるにおいも、十倍に薄めるとイチゴジャムやコンデンスミルクのにおいに変身してしまうのです。逆にオレンジの香りの成分の濃度を百倍ぐらいになると、脂くさいきつい悪臭になってしまいます。

香水文化の先進国であるヨーロッパには、客の好みに応じてオーダーメイドの香水を調合してくれる店があります。持ち主の体臭になじみ、個性を引き立たせてくれる香水を作る秘訣は、その人の尿をごく微量混入させることだそうです。ふつうは尿のにおいはれつきとした悪臭。とても鼻先にもつてきて嗅ぐ気になれるものではないのですが、そのにおいをごく薄くしてやれば、立派な香水の原料になってしまうのです。今では下火になつたブルセラショップのお客のおっさんとヨーロッパ貴族の趣味は根っ子が同じだつたんです。

異性にもてる人はインパクトのあるチャームポイントがあるに決まっています。あなたの近く

インドにて、ヒンズー教の修行中。



に「どこが良いのかさっぱりわからない」けど、やたらもてる人がいるでしょう。

こんな人は体臭で異性を魅了している可能性が大です。犬を飼っている読者は、発情期になつた犬を散歩に連れ出したときに、異性の犬の残した尿のにおいを熱心にかいでのなかなかその場を動こうとしなくて困ることがあるでしょう。これは尿に生殖行動を促す物質が分泌されているためです。においを放つて、異性に性的反応を取らせる分泌物を性フェロモン（性誘導物質）といいます。人間以外の動物は生殖できる期間が限られていますので、チャンスを逃すと子孫が残せません。そこで「さあ、準備が整いましたよ」と、はつきりと異性に知らせるための信号として、においを放つているわけです。動物の性フェロモンで最も有名なのは、やはり古くから香水の原料としても使われているジャコウジカの精子嚢でつくられるこの分泌物は、一立方メートルあたりに僅か二億分の一グラムを分泌するだけで、はつきりと雌を反応させることができるのでそうです。

僕が高校生のとき、尊敬する柔道部の先輩が「女性にもてるには男くさくするのが一番だ」と教えてくれました。先輩の言うことは本当でした。日本経済が発展しつつあった時代は、精力あ

ふれるパンカラ学生はけつこうもてたのです。僕たちはジャコウジカだつたのです。学生運動のさなか、何日も風呂に入らない状況で、バリケードの中で恋に落ちた先輩たち。右翼も左翼も動物的でした。よき時代を経験できて僕は幸せ者です。

最近おやじジャコウジカたちは目に見えて、もてなくなつてきました。「おじんくさい」とかいつて、嫌われています。魅力ある濃い体臭のよさが若者たちには分からなくなつてしまつたのでしょうか。言葉が理解できない人にラブレターを送るのはナンセンスです。無臭を追求している若者たちには体臭の魅力が理解できないに相違ありません。ベン・ケーシー やショーン・コネリータイプのタフガイに熱狂した、においに目覚めた魅力的な女性たちは何処に行つてしまつたの？

# 技術は世界一だけど。

野村沙知代

いつどうして、あの人（高須先生）に会ったのか記憶が定かじゃないのよ。「振り向いたらいた」って感じで、もう二十九三十年になるかしら。以前は、これが医者かなって、うさんくさい顔してた。こんな人に治してもらつてもキレイになるわけないと思えるような。それが最近は、天庭（おでこ）がカンカ

ンに光っちゃって、目はパチーツと開いちやつて、すごいじやない？　ずいぶんこつてりと治してんのよね。ああいう顔の医者になら、ちょっと私もやつてもらおうかなという気になつて。つい最近、七十代になつてから初めてお願ひしたの。本当は、四十代くらいからやるべきだつたんでしょうね。あの人があつと早く今の顔になつてくれていたら良かつたのに。

確かに、あの人技術は世界一だつて賞賛しますよ！　だけど、病院には不満があるの。もうちょっとインテリアをデラックスにすればいいのに。アメリカのクリニックなんかを真似してよ。だって、顔があれだけ綺麗豪華になつたんだから、病院

ももつと豪華絢爛にすればいいのよ。「この登竜門をくぐればキレイになれるんだ」っていう場所なんですもの。美容外科もひとつ芸術ですからね、ケチらず華やかなサロン作つて！！

美しさつて心の問題だとよく言われるけど、あれは嘘つばちだと思う。環境が人を育てる。その人の歩いてきた道のり次第だと思うの。私なんか外国生活が長かつたから、いわゆる日本人とは違う生き方をしてきたわけ。それで現在の私のスタイルがあるのかなア。決して美人でなく、ちょっとアカが抜けているというのかなア。そうね、当時はブロードウェイなんか歩いていると、男が帯で掃くほどついてきたもんよ。

（談）

# 大丈夫！ 壊されても

武藏 (K-1ファイター)

によらないとつくづく思いました。高須先生はおんみずからご自分の顔に整形手術されるとも聞きました。整形前のお顔のほうがガツツがあり、僕は好感が持てます。いまの顔もいいです。

高須先生がついていればいくら壊されても大丈夫。むさしは安心してファイトできます。

がんばるぜい。

高須克弥先生はリングドクターハンテナンスとして僕たちK-1ファイターをメンテナンスしてくれる、ありがとうございます。破壊された顔をなおす名人で、前よりいい男になっちゃった奴もいます。

「学生時代空手部に所属し、けんかっぱやかった」と石井館長から聞かされて、ひとは見掛け





## デブの壁〜あなたのおなかは美しい

二〇〇四年四月、西原理恵子画伯とマニラで開かれた、アジア太平洋国際美容外科学会（A.P.A.C.S）に参加。会長はフィリピンの政治・経済を支配しておるお金持ちの主治医として有名な、コラソン・コランテス・ホセ博士。フィリピン美容外科学会の大ボス。ぼっちやりした顔にパツチリおめめの容貌と超グラマーな体軀の持ち主。

あ、コラソン博士は女性です。フィリピンの美容外科医だつたら誰一人として逆らうことの出来ない偉大なオバはん。彼女が白いといえばカラスだつて白いんです。彼女の説に逆らう若い医学者の芽を丹念に摘み続けて、平和裏に一糸乱れぬ独裁体制を確立させたんです。いうなれば美容外科界のブレジネフ。

僕が頻繁に発展途上国の学会に出席するのは学会からワークショップの依頼があるからなんです。二十一世紀になつて急激に成長してきた美容医療の市場に多くの医師たちが参入しようとしています。ノウハウをもつた技術者を雇い入れ、技術を手に入れるのは発展途上国の常套手段です。日本だつて御雇い外国人がいなければ近代化は不可能だつたでしょう。

僕が日本で経済活動を休んでまでフィリピンの未来の商売敵のために教育しに行くのは、フィ

リビンのクラーク博士になりたいからなんです。「青年よ大志をいだけ」なんて教える必要はありません。僕のワークショップに参加するフィリピンの青年医師は全員大志をいだいています。大志なんでものじやありません。野望ですな。

若い医師たちの目が貪欲に輝いています。高須クリニックの技術を習得されたら、かれらを日本に上陸させちゃいけません。日本の美容医療は新宿の風俗みたいに占領されてしまうでしょう。この点では僕は石原都知事の味方です。

とはいって、国民が貧しいうちは美容医療は発展しません。国民が衣食住に困らなくなり、治療医学、予防医学がいきわたり、幸せを求めるようになると、若さと美しさを求めるようになります。國民を幸せにすることに失敗した政府は情報統制をして國民をだめします。僕は人が若く美しくなりたいと願い求めるのは基本的人権じゃないかと思っています。

自慢させていただけば、僕のライブワークショップはハワイのダウントウンのものよりはるかに人気が高く参加料も高額ですので、学会の経済をも潤します。エッヘン。

今回の学会プログラムの表紙も僕の手術中のスナップ写真。僕の得意手術は脂肪吸引。脂肪吸引手術を考案した、パリのピエール・フルニエ博士の直弟子で、日本ではじめて脂肪吸引手術をおこない、関連のパテントをいくつも持っている僕は、日本脂肪吸引学会会長でもあるんです。

ライブワークショップは公開手術に協力できる条件で志願した患者さんの中から、執刀医が教材を選び出して手術します。技術を公開し参加者の質問にも答えますので急速な技術の習得が可能です。リストアップされた志願患者は五人。え？ 全部若返り希望の患者ばかりなんかい？

肥満患者はいないんかい！

ダイナミックな脂肪吸引手術をして喝采のフィナーレを西原先生に見せてあげようと思つていたのに、予定と違うじゃないか。フィリピン人はスリムになりたくないんかい！

欧米では肥満した人は就職、結婚……あらゆる場面で差別を受けています。今回はデブの壁について語ろうと思います。

食糧事情が悪くて、ほとんどの人がガリガリに瘦せていた頃、美人といえば、ふくよかな女性のことでした。豊かな胸と腰、しもぶくれの顔。それは慈母觀音のようなイメージとでもいいましょうか。

経済的に豊かな人は幸せです。幸せな人はおいしいものをたくさん食べられます。苛酷な労働とも無縁です。そんな人は太っているに決まっています。幸せの遺伝子をもっている人はもてて子沢山。そんなわけでポリネシア、ミクロネシアではデブが美人。ヤセが不美人。結納として花嫁の実家に差し上げるブタだって、デブの花嫁の対価だもん。ヤセじゃ説得力に欠けるじゃないか。

現代の欧米人では逆。失業者はジャンクフードしか食べられないうえに、働かないでの肥満してしまいます。エグゼクティブはゴルフにヨット、フィットネスクラブで汗を流します。スロー フードが大好きだつたら、完璧です。文明の衝突ですわな。

インドのマハラジャとアメリカの失業者、インドの下層階級の労働者とブッシュ大統領は体型が同じに見えると思いませんか？

寿司茶漬け

とゆいのと

御在所だうが。

上にギリを全部  
どぐりにたたみ込ま

上から茶をかけ  
かまわし

一分で飲む。

マスクの中に入れたまま  
食べながら手術もOK

年術時の食事だう。  
寿れは高須御用達  
マスク、白カニ。



アメリカ政府は傀儡の日本政府に「内需拡大」を常に要求しています。

内需拡大って、しなくてもいいことをして経済を活性化することなんですよ？ アメリカの真似して、デブを作ることからはじめなさいってことでしょ。これで日本は救われますか？ 僕は救われちやうんじやないかと危ぶんでいます。

一般のアメリカ人のジャンクフード好きは半端じゃありません。ホットドッグやハンバーガーの巨大なこと。アイスクリームのトップピングも豪華絢爛。いつもポテトチップスかポップコーンを頬張りながらコーラをゴクゴク。莫大な摂取カロリーのもたらすものは肥満です。そこでダイエット食品、痩せ薬、痩せる器具、フィットネスクラブ、エステティックサロン、美容外科クリニック……莫大な内需がデブを作ることで喚起されるのです。マッチをすつて火をつけ、ポンプ車を出動させる、マッチポンプはアメリカのお家芸。

日本政府は構造改革をスローガンにしていますが、アメリカは構造改革が完成しています。その証拠に米下院は二〇〇四年三月十日、「チーズバーガー法案」を可決しました。肥満になつたのはファストフード店の責任だとして訴訟を起こすことを禁ずる法律です。不況が進行するにつれ肥満した人が増加したのは、アメリカ型のライフスタイルのおかげではないかと僕は疑っています。アメリカ一極支配に反対するヨーロッパの動きはまったく逆です。ジュネーブに本部があるWHO（世界保健機関）はジャンクフードに「肥満税」を課すことを提案しています。学校内の自動販売機への規制やジャンクフードの子供向けコマーシャルの規制も検討されています。アメリカ型ライフスタイルへの変化は子供の将来にも暗い影を投げかけています。お金持ちのお嬢

様、奥様はダイエットが大好き。セレブの御家庭で問題がおこっています。肥満児の問題です。

スリムな奥様に似ていな、太った坊っちゃん娘ちゃん。「子供のわがままを放置して、甘いものや高カロリーのものばかり食べさせるからだ」と叱責する教育者もいるようですが、実は肥満児の問題は、単に母親のしつけだけではなく、もつと深い根を持つています。

確かに生まれつき太りやすい家系は存在します。しかし、何代にもわたって調べてみると、肥満児を持つ家庭の大部分は、ごく普通の体格の人で占められていることがわかります。最近よくみられる肥満児は突然変異によるものではないことはあきらかです。

次の記事は、二十年以上前に僕がサンケイ出版から出しベストセラーになつた『危ない美容法』のなかで紹介したアメリカ医学者の研究です。

△子供の肥満の原因是妊娠初期の栄養不良、米の学者夫妻が研究発表

『妊娠初期の六ヶ月間、栄養をあまりとらなかつた母親から生まれた子供は、肥満体型になり、逆に妊娠終期の三ヶ月間食事を十分に取らなかつた母親の子供はやせ体型になる』

ニューヨークのコロンビア大学公衆衛生学部のおしどり学者、マービン・サマー、ジーナ・スタイルン両博士は、このほどこのような研究調査結果を発表した。

サマー博士は、インタビューに答え「最も重要な点は、出産前に『飢餓状態』におかれると、生まれた後に影響が出るということだ」と述べるとともに、妊娠初期の栄養不良は、食欲をコントロールする脳の視床下部の発達に影響を及ぼすという理論が、この調査で確認されたと語つた

手術後に、いきなりミートソース食べてます。  
2004年4月、マニラで開かれた  
国際美容外科学会にて、サイバラ画伯とともに。



この調査は、一九四四年十月から四五年五月まで、オランダで栄養不良の母親から生まれた九万四千人を対象に行われたもの。

つまり、生まれた後のしつけが肥満児を作るのではなく、妊娠時の栄養状態の良し悪しによって、すでに胎内にいるうちに肥満児の素質が与えられてしまうのだと言っているのです。ここにひとつ推論を提出することができます。「やせる努力をしている女性からは肥満児が生まれる」。女性が妊娠に気づくのは二、三ヶ月目です。だから、初期の一、二ヶ月間というものは妊娠に気づかないまま、やせるための努力をしつづけています。よしんば、妊娠がわかつた時に、すぐ普通の食事に戻したとしても、それまで続いた栄養失調は、それほど簡単におるものではありません。また、六ヶ月ぐらいまでは、それほどお腹が目立たない為、少しでもスタイルを良く見せようとする虚栄心から、今までと同様のダイエットを続ける場合も多いようです。『胎教によい』と美容に気を遣っている場合など、なおさらです。ところが、六ヶ月を過ぎるあたりから、妊婦のお腹は隠しようもないほどせり出します。この時期に達すると、もはや、スタイルに執着してもどうしようもないことをやつと悟り、「生まれてくる赤ちゃんのために、うんと栄養をつけなくちゃ」とばかりに、モリモリ食

べ始めます。つわりもおさまり、実際、この時期の母親はひどくお腹がすくものです。その結果、肥満児の素質をたっぷり持った子供が生まれてきます。まさに、『親の因果が子に報い』です。肥満児予防はふだんからどんどん食べることなんです。少しくらい太っていいんです。

「ガリガリにやせた人が魅力的だ」と洗脳された、肥満した子供たちはアメリカ資本主義の陰謀の犠牲者です。気の毒な植民地の子供たち。君たちには花形力士の錦絵やレンブラントの絵画の美しさがわからないんですか？　まぐろの赤身より大トロのほうが美味しいんですよ。あーイライラする。キレそうじや！

そりなんだよ！　おなかのでたおっさんは、もつともてて当然なんだ！　お父さん目覚めなさい。僕と連帯しましょう。あなたのおなかは美しいんだよ。



## サツチー、若返りに挑む！焼き畑農業篇

今日は久しぶりの休日。貧しい肉体労働者の僕は、月に一、二度しか休日がありません。僕の生活は三人の秘書と婦長たちにコントロールされているんです。朝十時から夜八時までは診察と手術がびっしり予約されており、昼食は抜きです。明白な労働基準法違反です。

僕は書類上では雇用者に分類されてるんだそうです。雇用者は死ぬほど働かされても誰も守つてくれない。でも責任だけはいっぱい取らされます。バブルが崩壊する十年以上前に僕の納税地、名古屋のマルサ（国税局検査部）が僕を捕まえにきました。当時高須クリニックは世界中で経済活動をしていましたので、利益はうなぎのぼりでした。

僕の居住地、三河の一色町では常に納税額ナンバーワンでした。当然住民税もナンバーワンで歴代町長さんは僕を大事してくれ、紺綬褒章つていう勲章までくれました。叙勲の数日後にマルサのみなさんが高須邸においてになつたんです。「また何か下さるんですか？」と聞く僕に「国税はいたただけなんですよ」と答えた隊長の検査官氏、なかなかユーモアがありましたな。悪徳のかぎりをつくす越後屋を御国を代表して成敗しにきたつもりだつたんでしようね。情熱にあふれていました。基本的には彼らも肉体労働者。

でも僕ほど過酷な労働条件で働いているわけではなかつたようです。「国税局の仕事は夜明けから始まり日没には終わること」と決められているんだそうです。日常勤務をさぼつて残業して稼ごうなんていうセコイ検察官はないみたいです。立派な人たちです。僕のために働いてくれたらどんなにいいでしょう（ちなみに現在高須クリニックの経済ブレーンはマルサのO.Bで占められています）。

で、僕はどんな罪になつたと思いますか？笑っちゃいけませんぜ。「経理事務の監督不行き届き」の罰金刑なんです。「納税申告書にサインしない」のも悪かつたみたいです。税務のことは専門家にまかせて医者稼業に精を出していたのが罪に問われるつて納得いきません。西武鉄道やトヨタ自動車なら途中で追及が止まるはずなのに、高須クリニックは中小企業だから、ばかにしてるんだな！僕みたいな肉体労働者が経理ばかりやつてどうして利益が出ますか？美空ひばりに経理・納税の教育してどうする！国家的な損失とちやいますか？

僕は十年以上の期間、国家と戦い、結局負けてしました。

それで今もなお馬鹿馬のように働く日々は続いているわけですが、診療活動した残りの時間は日本中にある高須クリニックをまわる移動時間と睡眠時間です。これはけずれません。苦労して捻出した自由時間はダイヤモンドより貴重です。

秘書たちはその点よく心得ており、反権力派の彼女たちは、首相のご招待でも、園遊会でも勝手に断つてしまします。

さて、久しぶりの休日。マージャンしようか映画みようか。ばら色の休日を計画していた僕は、

口元のしわをなくして若返った野村沙知代さんは、今や若者にも大人気。2004年4月、トークショー「老けてたまるか！」にて。



スケジュール表を再確認しました。

ゲッ！ いつのまにか空欄にスケジュールが書き加えられている。何だつたつけ？

「かつやとサツチーのトークショー『老けてたまるか！』？」あ、思い出した。三ヶ月ほど前、野村沙知代さんと約束したイベントだ！ 穴あけたらえらい事になるところだつた。

午後一時にテレビ神奈川のスタジオでサツチーと合流。このスタジオは横浜メディア・ビジネスセンタービル内にあり、今日はこのビルのオープニングイベントとして、このトークショーが企画されていたのです。

サツチーこと野村沙知代さんは、もとミス赤坂だつたんだそうです。

ご主人の野村克也監督の著書『女房はドーベルマン』によれば、監督にはとても可愛いひとのようです。ドーベルマンは他人には獰猛ですが家族には忠実な犬種だそうです。

克也氏のドーベルマンであるサツチーは、知らない人には獰猛な女性だと誤解されています。雨模様の平日にもかかわらず、トークショーには三百人以上の聴衆がつめかけていました。怖いもの見たさで来た観客たちから「可愛いじゃない！」「若いね！」という賛辞のささやきが聞

こえます。賛辞は僕に向けたものではないみたいで。あきらかにサッチャーに向けられたものです。若者達にも愛され始めました。ディスコのマハラジャで若者むけのライブやつてるんだつて！ 七十二歳（二〇〇四年六月）のアイドル!!

何故サッチャーは以前にも増して愛されてるんでしょう？ 実は僕のおかげなんです。医者は守秘義務があつて患者の秘密をペラペラ話しちゃいけないんだけど、サッチャーはすでにこのトーキーショーで一般公開が済んでいるんだから秘密じやないし、新潮社がサッチャーに訴えられることはないと信じて、ばらしてしまいましょう。

漫画に登場する意地悪ばあさんを見ると、判で押したように、口元にたくさんのかてじわが描かれています。そのしわがあると、いかにもとげとげしいことを言いそうな雰囲気になり、意地悪なおばあさんの設定として、うつてつけの顔つきになりますよね。また、ゴッドファーザーはなぜ凄みがあるんでしょう？ ほつぺたがブルドックみたいに垂れ下がっているからですね。

サッチャーの怖がられるポイントはこの二つだと直感した僕は、サッチャーの脱税裁判中にこの二つを治してしまつたんです。おかげで裁判官にも好印象を持たれたようで、軽い刑ですんだようです。

ちなみに当の僕はといえば、若いときから人に尊敬されるように努めて汚い顔をしていたものですから、サッチャーより罰金が多かつたです。罰金払ってから若づくりの可愛い顔に作り変えましたが、あのまつりです。

今更説明することもありませんが、若くて可愛いと得するんです。若さは武器なんです。能力

「買物に行こう」

とやうの"ごついて"たら

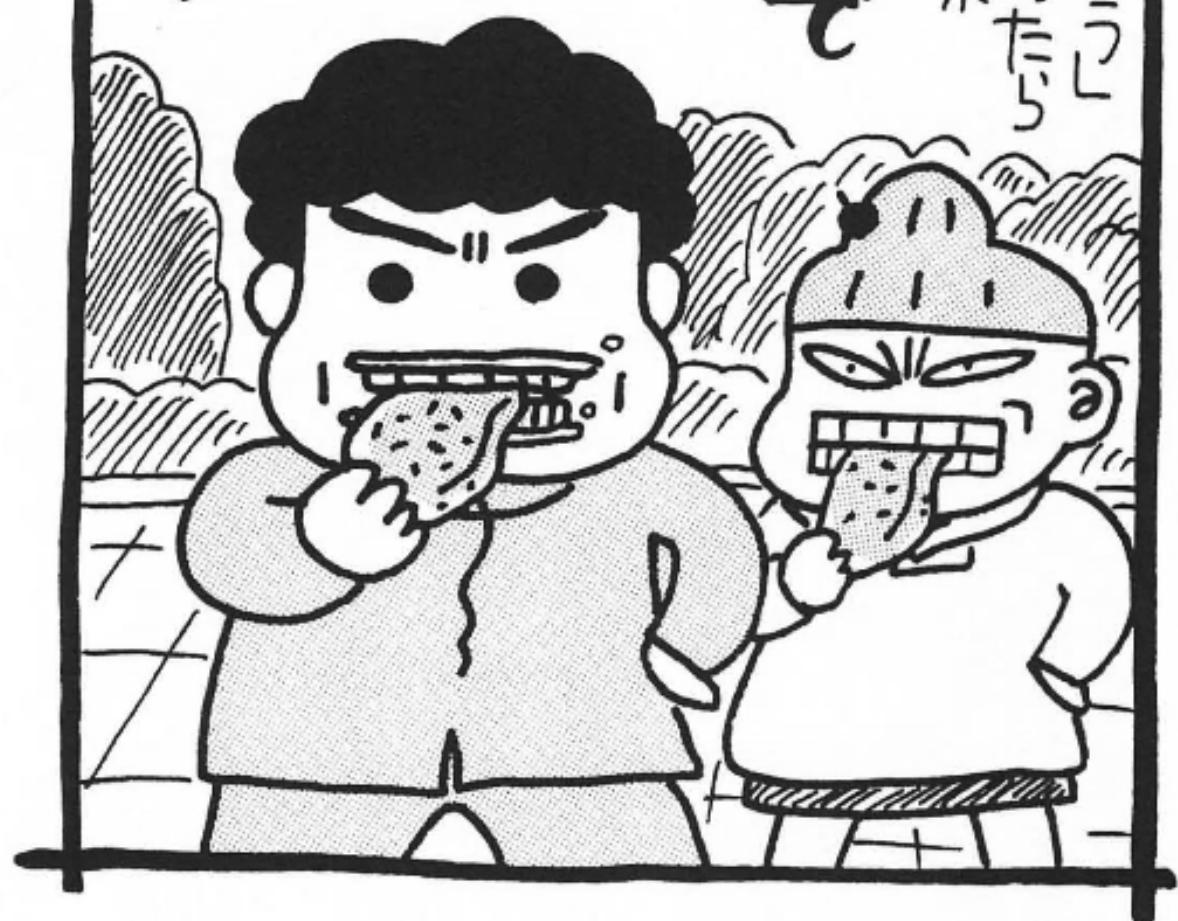
スーパーのお総菜

だつた。

公園で二

人で

ケシソカカ素人と手つかずがじろじろで見る。



みたいなものです。若くて可愛いバスと高齢者の意地悪そうな美人が銀座のクラブで客の奪い合ひを演じることがあります。若いバスが勝利をおさめるケースが多いようです。就職、結婚、リストラ……あらゆる場面で若さの武器は威力を發揮します。

今回はサッチャーが着々と成功をおさめつつある若さと可愛らしさの壁攻略法をご紹介します。

若さは万人に平等に与えられた新品のスーツみたいなものです。ながく着ていれば、どんな仕立ての良いスーツでも古着になつてぼろぼろになります。しかし過酷な条件で酷使された場合と大事にされた場合では傷み方が違います。サッチャーの顔は過酷な戦場を駆け巡った仕立ての良い戦闘服です。唇の周りに刻まれた、漫画の意地悪ばあさん風のたてじわは、何度も口を尖らせて相手を威嚇した名残です。眉間のたてじわは眉をひそめて気難しそうな表情をつくるのが癖につたためにできたものです。笑顔になるとこの皺は消失します。変わつて目じりと口角に笑いじわが出現します。

表情筋の動きによつて出現する皺はボトックス（ボツリヌス菌毒素から抽出した筋弛緩剤）を、皺をつくる表情筋内に選択的に注射することによつて消すことが可能です。ボトックスは三ヶ月から半年で効果が消失しますが、注射を繰り返すことによつて表情筋の力が弱まり若返るのです。手術のできない皮膚科医たちが大好きな注射ですが、僕は好きではありません。

実は日本で一番最初にボトックスを注射した患者は僕なんです。十年前、ロンドンで開かれたE E C S（ヨーロッパ美容外科学会）でボトックスによるしわ取りワークショップが行われました。ボツリヌス菌毒素と聞いてしりごみするドクターが多かつたのを記憶しています。美容

医療界の華岡青洲を自認する僕は、眉間にできた氣難しそうに見えるしわに注射してもらいました。

五日後、眉間のしわは見事に消失したのですが、同時にどこか顔の縮まりがなくなつたことに気がつきました。市長選挙に出馬した愛想の良いクリント・イーストウッドみたいです。渋さが失われています。高須クリニックの従業員たちも僕を怖がりません。一大事です。毎日顔をしかめて半年かけて眉間にしわを再現。田村正和みたいに眉をひそめる表情を楽しむことができるようになりました。

しわを作ることのできない能面のようなサッチャーなんて怖いと思いません？

それで、表情筋の動きを制御するボトックス注射はパス。

表皮に刻み込まれたしわを消す古典的な方法は、回転やすりで皮膚を削る「ダーマアブレージョン」が有名です。昔は「ダーマアブレージョンの名人」と呼ばれる医師が何人もいましたが、今はいません。コンピューター制御のもと、レーザーで皮膚を正確に削る、レーザーアブレージョン全盛の時代になつたからです。

レーザーアブレーションは、エルビウムやレーザーやCO<sub>2</sub>レーザーのパワーをコンピュータで制御し、目的の皺だけ分解・除去する方法です。顕微鏡的な細かい作業をすることも可能で、出血しません。ただし、レーザーアブレーションをした直後は、軽いやけどに似た状態になります。ふつうのやけどと違うのは、傷痕が残らないように、精密に制御したレーザー光線を当てるため、回復がきわめて早いことです。レーザーで自動的に滅菌されるので、化膿する危険性もま

つたくありません。

レーザーを照射してから数日の間は、少しづつ表皮が剥がれて、そのたびに新しい皮膚が再生するというプロセスを繰り返します。十日もすればしわが浅くなり、きれいな肌に生まれ変わることです。浅いしわなら一回のレーザー照射で、かなり綺麗に取ることができます。サバンナの火事の後、新芽が出てきて、青々とした草原になるみたい。ジャングルで行なう焼き畑農業といったほうが分りやすいか。

サッチャーの口元のたてじわの場合は、一回レーザーをかけただけで、見違えるほど若々しい、やさしい口元になりました。おつと誌面が尽きようとしている。サッチャーの若返りへの挑戦続編は次項で。



## サッチャー、若返りに挑む～ロシアンリフト篇

えーと、どこまで話したっけ。そーだ、サッチャーの若返りへの挑戦だったね。口の回りの「意地悪ばあさんじわ」が改善したあと、ほつペの垂れ下がりを改善するプロジェクトを開始しました。その説明の前に、突然ですが、クレオパトラの話をしようと思います。

クレオパトラは大哲学者パスカルをして、「クレオパトラの鼻がもつと低かつたら、この世界は違つたものになつていただろう」と言わしめたほどの折り紙つきの美女です。クレオパトラは美女は世界の定説だったのです。ところが急に風向きが変わつてきました。二〇〇一年に大英博物館でクレオパトラ展が開かれ、大英博物館の考古学者たちが彼女のものと推定した像十一点が展示されたのですが、それらを総合すると、クレオパトラの実像はデブで背が低く大きな鼻をした女性だったことがわかります。

これをもつて「クレオパトラは美人じゃなかつた！ 女性としての魅力に欠ける陰謀家だつた」と鬼の首をとつたように発表するバカ学者もいるようですが、高須博士の説は違います。クレオパトラはやっぱり絶世の美女なんです。時代と地域によつて美の基準は違うんです。同じ時代に書かれたプルタルコスの『アントニウス伝』では教養と機知を併せもつた美しい彼女の魅力

を伝えていきます。シーザーやアントニウスをめろめろにした彼女がその時代の美女だつた事は疑いようがありません。クレオパトラ——正式には「クレオパトラ七世」はトレマイオス十二世のアウレテスの次女です。マケドニアの血を血族結婚で守っていた一族ですのでフィーリングはギリシャ人ぽかったんではないかと思います。

バカ学者に百歩譲つてクレオパトラがブスだつた事にしてあげましようか？ どつちみち僕の勝ちです。BC四七年にシーザーの子カエサリオンをもうけ、BC四一年にアントニウスと結婚し、三子をもうけてるじやありませんか。男ならわかるでしょ？ 隠謀ばかり企む、魅力のない女とセックスする苦痛が！ 苦痛な事は何度もしたくないのよ！

受胎率から換算したつて一回や二回のセックスで都合よく時のローマの権力者の遺伝子を手に入れる事ができるわけ無いじやありませんか。シーザーもアントニウスも一発必中の種馬じやないんですよ。いっぱいやりたくなるような女は魅力的なんだい！

クレオパトラ・ブス説は「ブスは美しい。ブスこそ魅力的だ。美人は時の権力者によつて作られる」という高須説に塩を送ることになるんじやないかしら。話に戻しましょう。クレオパトラの美しさとサッチャーの若返りの間には深くて暗い河がある……じやなかつた、深い相関関係があるんです。

野村沙知代さんの希望は「裁判官にばれないよう、自然に若い感じのよい顔にしてよ！」でしたので、当時ロシア共和国で流行しつつあった、「ロシアンリフト」をしてあげることにしまし

た。この手術はモスクワで開業しているグルジア人の外科医スマニーチエ先生が開発した画期的な若返り手術です。心臓・血管の手術で多用されている、ポリプロピレンという素材でつくりれた特殊な糸を皮下に埋入し、糸の周りにできるコラーゲン線維の収縮力で顔のたるみを永続的に改善しようとするものです。局所麻酔で手術でき、翌日からだれにもばれずに社会復帰できる、夢のような手術です。

手術してから三ヶ月ほどの期間は強く顔を揉むようなマッサージをしないように注意が必要です。コラーゲン線維の収縮を邪魔されたくないからです。六ヶ月を経過したらなにをしてもかまいません。スマニーチエ先生に言わせれば「鉄筋を入れたコンクリートみたいに強固にサポートされているんだから、ちょっとやそつとでは顔はたるまないよ」なんです。サッчи大満足。講演会で秘密をしゃべって下さるおかげで、このロシアンリフトはセレブの夢の手術に昇格。

異物を皮下に埋め込んでその刺激でコラーゲン線維の増殖を促進させて若返らせようとするのはスマニーチエ先生の独創ではありません。ロシアンリフトは最初はポリプロピレンではなく、金の糸を用いていたのです。ご存知のようにロシア人はゴールドが大好き。ロシア正教会もロマノフ王朝の宮殿も金ぴか趣味。

金の糸を使ったロシアンリフトを流行させる為にロシア人の美容外科医たちがでつちあげたトンデモ学説を紹介しましょう。宣伝パンフレットにこのように記載されていました。

「クレオパトラが亡くなつた時、その素肌が十五歳のままの肌年齢であつたといわれ、カエサル

特殊な糸を埋め込んで切らずにたるみをなくす、  
夢の美容整形「ロシアンリフト」。



やアントニウスもその素肌の美しさが原因で、母国ローマとの戦いを起こしたと言われています。この絶世の美女クレオパトラの神秘なる美しさは、二千の間、未知なる謎に包まれていました。しかし考古学者たちによるエジプトの発掘により、王家の墓に数多くの金の糸が発見されました。この金の糸こそが、クレオパトラの若々しい美肌の謎を解明する手がかりとなりました。科学者たちが考古学者と共に数々の発掘状況と現場を克明に検証し、この金の利用方法を解明いたしました。優れた古代エジプトの美容術が、ついに二千の時を経て蘇ったのです』

かんべんしてよ。そんな話、初めて聞いたよ……。といいつつ、実はこの金の糸を埋没させる美容外科手術を受けたアジア人の一号患者は僕なんです。一九九九年十月三十一日、アルゼンチン・ペイノスアイレスで開かれた南米美容外科学会で注目を浴びたのは、スペインのアンドレ・フランコ・ベラスコ博士の『ゴールデンスレッド・インプランツによる若返り手術』の発表でした。そもそもゴールデンスレッド・インプランツ——埋入物としての金の糸を用いる手術は皮膚のたるみと乾燥を改善する治療法として、フランスのジーン・コーグス教授によつて開発された術式です。エッセンスは金の糸を皮下に埋め込むことにより皮膚の若返りを促進する事になります。ベラスコ先

生はコーケス教授の直弟子で、この手術のナンバーワンです。

ベラスコ先生が施術した千八百症例の若返り手術の実績を見て感動した僕は、アジア人初の金の糸若返り手術患者になることを決心しました。一九九九年十一月一日ベイノスアイレスの美容外科病院で、延べ二メートルの金の糸を僕の顔に埋め込みました。手術は局所麻酔で行ないました。手術してから一時間後には南米美容外科学会主催の晩餐会があつたからです。皮膚に軽い浮腫が発生しましたが、晩餐会の参会者は僕が少し太ったぐらいにしか感じていなかつたと思いました。

ロシアの美容外科医のことをでっち上げ学説でビジネスしてゐるみたいに悪口言つてしまいましが、正直言つて、クレオパトラが本当に金の糸を体内に埋め込んでいたかどうかは永遠の謎です。はつきりしているのは皮膚に刺激を与えるとコラーゲンが生産される事、異物を皮下に埋め込むと永続的な刺激を与え続けることができるところくらいです。

アレルギーの起ころ可能性や、変質する可能性が低く、古代人や発展途上国の人々に幸せなイメージを与える物質としては、ゴールドに勝るものはありません。

日本は発展途上国ではありませんので、クレオパトラ伝説で金の糸美容整形ブームがおこる可能性は低いと僕はふんでいます。日本における金の糸の輸入代理店になつてほしいというベラスコ先生の申し出は丁重にお断わりしました。

ブームの可能性の一番高い、ベラスコ先生に推薦する未開拓の沃野はインドだと思います。印度は現在十億以上の人口を抱え、IT産業を牽引車に、急激な近代化が進んでいます。迷信深

年寄のクセに  
ましぐダグダ  
いたら大アシカにな  
おどれが30年  
院長やたら  
こっちも20年  
先生じゃあ  
云なとこば  
何ぞじと  
院長に入食してスープで  
朝食海中華鮮屋に入食してスープで  
まだ生ハラ  
まご生ハラ  
だ、た。疲れた。



く、貧富の差が激しく、社会環境がロシアと似ています。ロシア帝国は農奴からの搾取、ムガール帝国は奴隸階級の労働に支えられていました。インド人のゴールドに対する信仰はロシア以上です。貧しい人たちでさえ、ゴールドの装身具を買うのにマネーを使うのを躊躇しません。

大昔から権力者はシステムを使って民衆支配をします。IT産業部門で世界の最先端を走っているのにインドの近代化が遅れているのは身分制度（カースト制度）のせいだといわれています。紀元前一五〇〇年ごろ、白人であるアーリア人がインドに侵攻してきて、土着の黒人ドラヴィダ人を支配するためにつくった体制です。カースト制度の根幹をなすものは人種差別です。バラモン（<sup>ねぎ</sup>祿宜）、クシヤトリア（士）、バイシャ（商）、スードラ（農奴、工奴）の四つの身分はヴァルナと呼ばれています。肌のことです。

一番身分の低いスードラのうち、洗濯、掃除など排泄物や汚れ物に触る者、動物を殺す者、殺した動物を加工する者はアメリカ人にはアンタッチャブルと呼ばれています。FBIと間違うじやないか。僕が三十年前はじめてインドを訪れたとき、アメリカ帰りのバラモンファミリーの美容外科医に教えてもらいました。

僕？立派なアンタッチャブルです。血にまみれた美容外科医です。漫画『ブラックジャック』によろしく』では外科医が昔から尊敬されていた職業のごとく描かれていますが間違っています。そもそも日本の医療は穢れを祓い怨霊を退散させる陰陽師系の医師と護摩を焚いて加持祈禱をして邪気を消滅させる密教系の医師、漢方薬を調合する内科医が牛耳っていました。『傷寒論』、『本草綱目』などの古典を読んじることができれば超一流の医者。刃物を使って体を切り刻むの

は当時の日本のアンタッチャブルの仕事。

穢れた治療をしない内科医の対極として、いかがわしい治療をする医師を外道の医師——外科医が誕生したのを知っている人は今では少なくなつてしまつたようです。

高須家にも長崎に蘭学を勉強しに行つて、三河の内科医仲間から白い目で見られた先祖がいるそうです。白い目で見られなかつた蘭学者で有名な人に杉田玄白がいます。業績といえば、オランダの解剖学の教科書を翻訳しただけですが、彼が歴史に残れたのは、斬首、磔になつた罪人を解剖して教科書と一致しているのを実証したから。本当に解剖したのは普段は処刑された罪人の肝臓や胆嚢をとりだす仕事をしていた人間です。杉田玄白がヒラリ一卿なら彼らはシェルパのティンジンじやありませんか。自分は手を汚さないで名誉と業績だけ横取りする日本の外科医の白い巨塔の萌芽が見られます。えーい、ことのついでだ、医学界のカースト制度をみんなばらしちゃおう。『ブラックジャックによろしく美容外科医版』、乞うご期待！



## ブラックジャックによろしく美容外科医版！

この項のテーマは予告通り『ブラックジャックによろしく美容外科医版』。漫画のブラックジャックは腕一本で、白い巨塔に巣くう偉そうなヤブ医者たちのプライドを粉碎する、金儲けの好きな無免許医者です。手術のセンスは抜群。ひねくれ者だが照れながらボランティアをするヒューマニズムの持ち主。あれ？……ブラックジャックのモデルって僕のこと？

んなわけないね。そもそもブラックジャックと僕には大きな違いがあります。

白い巨塔に反逆する医者は昔から大学の出世レースから外れた、ひねくれ者に決まっています。僕は違います。

僕が医大を卒業したのは昭和四十四年。過激派学生が留年しているのをしりめに、ノンポリ学 生として大学のおぼえめでたく、大学院に入学。教授にごまをすつて、生ぬるい医局制度にどつぶりつかつて青春をエンジョイ。ミスさえしなければこんなやつが大学で出世するんです。僕は嫌なやつでした。思い出すたび赤面しています。

反逆する医者の卵たちの大学紛争の成果で、僕の医学部卒業の年からインターんが廃止されました。おかげで一年早く大学院修了。最年少で医学博士に。立派な体制派予備軍です。

この時代は反逆することがファッショングでした。白い巨塔を支える医局とインターイーン制度を粉砕することが、僕を除く目覚めた医学生たちの望みでした。彼らは東大の安田講堂にたてこもつて勝てない戦いをします。

この白い巨塔は何時ごろ成立したのでしょうか？　たいしたものではないんです。たかだか百年くらいの歴史しかない小さな権威です。

僕の実家高須家は徳川家康の時代から医者を家業としています。昔の医者は医学部を卒業し、医師国家試験に合格していたわけではありません。医者は勝手に自称してよかつたし、腕のいい医者のもとで修行をして技術を盗み取つたものです。包丁人や刀鍛冶、武者修行の武芸者みたいなものだつたのではないでしょうか？

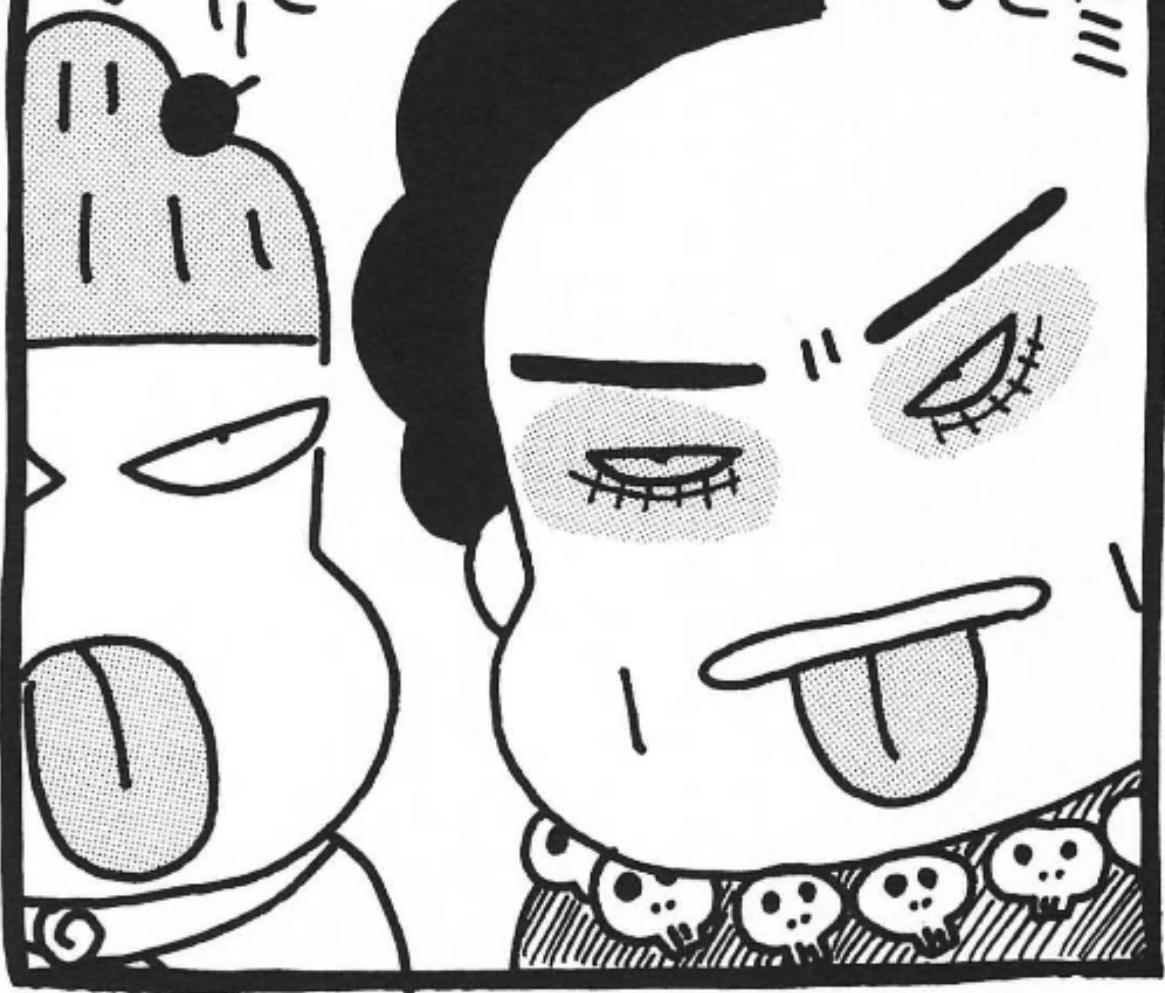
幕藩体制を転覆させ、近代国家に脱皮させようともがいていた明治政府にとつての最重要事項は権威の確立でした。権威に逆らうものには容赦しない厳しさが必要とされたのです。帝國大学医学部を卒業したエリート医師と、司法試験みたいな医術開業試験に合格したノンキヤリ以外は医師ではなくなつたのです。まるで裏千家の家元が「帝國大学茶道部を卒業するか茶道の国家試験に合格したもの以外は茶人と名乗つてはならない」って法律で決めたみたいなものです。

皮肉な現象もおきました。僕のおばあちゃんは上京して十八歳で開業試験に合格してしまい、故郷に帰つてから患者に権威が示せず苦労したそうです。学生みたいな若い女医では田舎の患者にばかにされますもんね。おばあちゃんはよくこぼしてました。

「近くで開業している××病院の初代の院長やつてたじいさんは、私と一緒に試験受けるために

目の下のタルミ  
とリキ術を  
また自分ごそ  
やめしてや。

ウだかべはまつ目術後  
ケとリロ、赤黒  
ていて人トソシ  
いた。でく



上京したんじやが、ものおほえが悪くて、合格までに二十年もかかっての。開業したのは四十五歳じや。偉そうにひげなんか生やしくさつて『東京で二十年も修行した偉い医者じや』とぬかして。それが開業したらえらい人気での。わたしの開業したときはえらい違いじやつた』

僕のおじいちゃんは婿養子です。帝國大学医学部を卒業して医学士になつたひとです。大学でえらそうにしてれば良かつたのに、田舎の資産家の婿養子になり、樂して暮らす甘い甘い夢を見ているうちに、高須医院の勤務医をするために。田舎の患者を馬鹿にして、えらそうに診察するものだから人気がなく、診療収入はおばあちゃんの十分の一。しかし、プライドだけは高く「わしの偉さがわからん患者なんか診てやらん」。

……と、ここまで書いたところで、秘書から電話。「新聞社の取材申し込みがありますが?」。

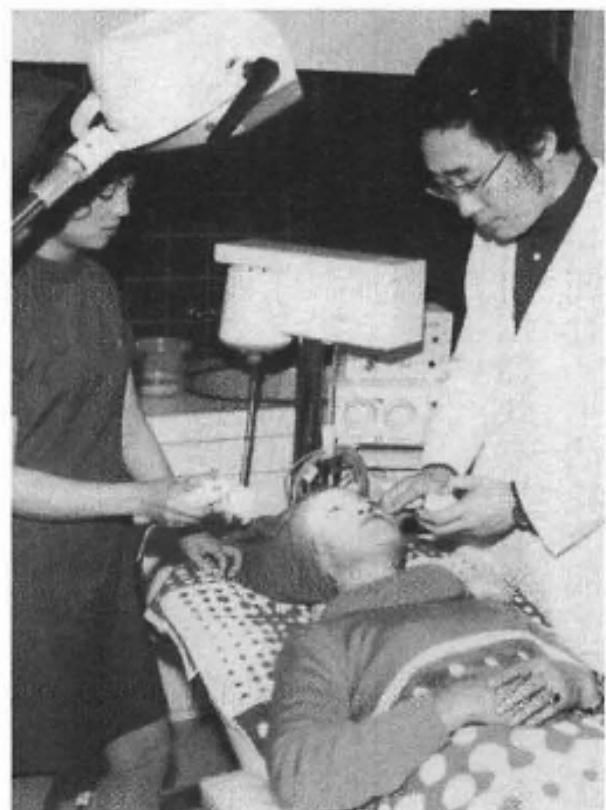
### 「美容外科業界、異変の背景と今後の展望」

医療業界で長らく異端視されてきた美容医療に、大学病院が本格的に参入している。その背景に何があるのか、大学病院の動きが美容医療界にもたらす影響はどのようなものか、消費者への影響はどうなものか、などを検討する。

送られてきた依頼状を見ると、こんな企画主旨が書かれていて、質問が並んでいる。

日本経済新聞社 生活経済部? いいよ。取材に応じましょ。まずはここにわかりやすく説明

1976年11月。



しておくから、記者さんも、「新潮45」を買ってね。

医学界にはカースト制度があるんだよ。内科が一番伝統があり、権威のある科だつて前回講義したよね。外科は長い間本道から外れたアウトサイダーの科だつたんだけど患者と医者の意識の変化で本道化してしまいました。人間のアイデンティティって他人を差別することで成り立つてるんじやないかな。もともとアウトサイダーだった外科医のなかに、新たなアウトサイダーがどんどん出来てきました。皮膚科とか眼科とか耳鼻科とか泌尿器科とか肛門科みたいな体の隅っこを診る外科系の医者を見下す傾向があります。

僕は大学院で整形外科を専攻したんだけど、折れた骨をのみやかなづち・のこぎり・釘を使つて固定する僕たちは一般外科の友達に「大工さん」と呼ばれていました。親しみをこめていつてただけじゃないと思うのは僕の偏みじやないと思う。この整形外科に格下に見られていたのが形成外科。

交通事故で重傷を負ったVIPの患者さんが担ぎこまれたと仮定しましょう。一流病院であれば、大勢の優秀な医者たちが駆けつけ治療に全力をつくします。無秩序に患者さんに群がつて勝手に治療するではありません。序列があるんです。生命維持に差し支えのある損傷が第一の治

療の対象。それをする科が一番偉い。大工さんは比較的偉いんです。最後に見てくれをよくするのが形成外科医。僕が勉強していたころは整形外科に形成外科部門があり、そこに所属する医師たちはダイナミックな大工事手術をうらやましそうに見ながら、傷跡をきれいに縫い直す作業をしていたものです。

やがて形成外科は整形外科から独立して新しい科になりました。伝統のない科は軽く見られるんです。この形成外科医に格下に見られているのが美容外科医なんですね。

もうひとつのかーストがあります。大学の医局です。教授と研修医はおなじ医者ではあります。その差はバラモンとスードラよりも大きいのは最近はやりの若い熱血医者が活躍する医学漫画を読んでる読者なら知りますね。医局は小さな帝国です。馬鹿な帝国臣民は自分の身分が低いにもかかわらず、帝国の権威をかざして威張るんです。ヤクザ社会と同じです。

形成外科は小さな帝国ですが最近小さな発展途上国を見つけて植民地にしようとしています。肥沃な領土をもっているけど、どこの国とも国交のない小さな発展途上国、美容外科。

日本の医療は国家主導で発展してきました。国家統制の枠からはみだして、民間主導で独自の発展をした美容医療、美容外科手術はいかがわしい医療とみなされてきました。だから形成外科の名称が法制化されたとき、「美容は含まない」と定義されました。

ブスや老いは病気ではありません。病気でない人にメスを入れるのは治療ではないという理屈から、診療科として認められていなかつた。だから昔の美容外科医は看板に「●●整形外科・眼科・耳鼻科・泌尿器科」といった感じに記載し、患者にシグナルを送つて治療内容を察してもら

つたのです。

「美容整形」と呼ばれていましたが、もちろん正式名称ではありません。ほんとの整形外科医には忌み嫌われていました。お金持ちの美容外科医の政治献金の力で、議員立法で「美容外科」の名称が決められた際も、整形外科学会の頑強な抵抗があつて、「美容整形外科」の名称案はつぶされたそうです。

ところが最近になつて流れが変わつてきました。若い医師たちはきつい肉体労働や医療事故の危険をともなつた、高いカーストの科への入局を嫌う傾向があります。美容外科みたいな、一見らくそうで収入の多そうな科の人気はうなぎのぼりです。

新入医局員の確保と患者数の増加は大学医局の生命線です。形成外科の医局はひとつ伝説をつくりました。「美容外科は形成外科から分かれたものだ。形成外科に入局すれば立派な美容外科医になれる」。ペテンです。民間から起こつた美容外科を教える大学講座は日本にまだひとつもありません。形成外科の医者が試行錯誤で美容外科の診療をしているのが実態です。

そもそも形成外科は先天奇形や外傷による醜形を修理する科です。美容外科は若さや美しさを求める贅沢医療です。リハビリテーションセンターとアスレチッククラブくらいコンセプトが違います。

形成外科学会から専門医に認定してもらつてる僕がこんなに形成外科の悪口書いていいんだろか？ 調子に乗りすぎて、虎の尾を踏んじやつたかも。取り繕わなくつちや！

大学病院の形成外科は切つたり縫つたりする基礎技術を徹底的に修行させます。ベテランの形

成外科医が縫合したら、どの科の外科医よりもきれいだと保証します！

さて、本題に戻りましょう。誇り高かつた大学病院が美容医療に本格的に参入している最大の理由は経済問題でしょう。国家の財政状態が悪くなり、国からの経済援助が先細りになる大学病院はなりふりかまわず美容医療に参入しようとしているのだと思います。

ながらく日陰者だった美容医療が発展するためには大変ありがたい時代の変化です。生まれながらの名美容外科医は存在しません。ピギナーの若い医師たちが大学病院で腕を磨く努力は、いずれ社会に還元されることでしょう。予防医学、治療医学の次にくるものは幸せを求める美容医学です。日本の美容医学の発展は停滞した日本経済の起爆剤になるかもしれません。



右・ハードケミカルピーリングで剥けた、かっちゃんの顔の皮。

左上・局所麻酔でほっぺの脂肪吸引。

やったぜ！ ガツツポーズ。フルニエ先生と。

左下・中国で、おばちゃん若返り手術のデモンストレーション。

下・手術直後の患者のおばちゃん（中央）。サイバラ画伯と似ちゃった！

かっちゃんの  
思い出アルバム I  
業績篇



壁攻略

STAGE

2

ためしに  
美人に  
なつてみるか



## シユバイツァーはやぶ医者？

最近、他人の視線がやけに気になる。対人恐怖症かしら？ 僕はそんなに纖細な神経の持ち主だつたかしら？ いや、違うな。ミラー現象に違いない。ミラー現象知つてますよね。え、知らない？ しようがない、では、基礎的臨床心理学の講義を少しします。

まず質問。人気のある美容外科医と人気のない美容外科医との差つて何だと思います？ 技術、若さ、容貌……いくつもありますが、決定打は「患者さんとのラボールを作る能力」なんです。ラボール（心のつながり）は医術の究極の極意です。ヒプノセラピー（催眠療法）は医師と患者さんとの間に強固な心のつながりをつくることにより、患者さんの心をコントロールする治療法です。いかがわしい治療法のように思えるでしょうが、医学の歴史をひもとくと、こちらが正統派で、切つた張ったの外科治療が外道の医術であつたのは前回の講義で理解していますね？ 加持祈禱で皇族や貴族の病を平癒させた安倍晴明や弓削道鏡は名医だつたはずです。

世界的な屈指の名医といえばヒポクラテスですよね。実態はギリシャの神様のご託宣に忠実な神がかり内科医。近代の名医といえばアルベルト・シユバイツァー博士。ん？ 彼は年取つてから医大に入学し、卒業してすぐにアフリカにわたつて、余生を黒人の施療に捧げたんでしょ？

医学博士になる時間なんかなかつたんじゃないのかな？

彼は哲学博士か音楽博士なんじゃないかしら。偉大な学者でパイプオルガン奏者として既に有名な存在だつたからね。偉い人は尊敬されちゃうからね。自動的にオーラができちゃつて治療成績が上がっちゃうんですよ。

シュバイツァー博士といえども、医者のレベルで言えば僕の父と同程度だつたと確信できます。高須家の養子である父は隣村の貧乏な開業医の息子です。五人兄弟の末っ子。当時の医学校の学費負担は今より安かつたとはいえ、五人分はおじいちゃんには重かつたはずです。そこでおじいちゃんは一計を案じました。とりあえず全員歯学校に入学させてしまおう。歯科医になつたら、自分で学費を稼いで、医学校を卒業させればいいじゃないか。その頃の歯学校は入学しやすく学費も安かつたのです。この目論見は成功し、伯父達は医師と歯科医師の二つの免許証をもつていました。

当時は歯科医師や医師の権限が強く、医師免許があれば診療所を開設でき、無免許の助手に仕事をさせて経営するのが可能だつたんです。最近まで無医村や離島の医者は、看護師や薬剤師の資格のない奥さんを助手に使つて診療していました。医療法違反で夫婦を逮捕するなんて野暮な事はしない時代だつたんです。シュバイツァー博士だつて似たようなもの。地元民を助手に使つていたに違ひありません。

だから歯学校を卒業したばかりの歯科医師でも医学部の学資と生活費が稼げたんです。末っ子である父が医学校に入学した時にはすでに大東亜戦争がはじまつていきました。戦況が悪くなり、

軍医が不足するようになると医学生を繰り上げ卒業させ、軍医に仕立てるのが普通になりました。医学を一年ほど学んだだけの父は陸軍軍医に仕立てられて前線へ。「そんなんによく軍医が務まつたね」と驚嘆する僕。

「どうつてことないやな。物資が極端に不足してるんだから、なまじつか医学知識があるほうが役に立たないんだよ。軍医殿は兵士の精神的な支えとして必要とされてるんだ。正露丸と赤チンとモルヒネがあれば事足りたんだ。歯磨き粉でも仁丹でも実によく効いた。うまくいかなかつたときでも、兵は感謝して死んでいったよ」

医師を信頼し、「この医師の手にかかるんなら死んでも本望だ」と思わせるのが名医なんじやないだろうか？

名医と患者との間には擬似恋愛みたいなものが発生してると僕は思う。僕に美容外科開業成功の極意を教えてくれた大先生はこう言わされました。

「自分の前に座っているのは、患者なんかじゃない。心から愛している恋人だ。このひとの幸せのためなら何でもしてやりたい」と自己暗示をかけてから診察しなさい」

この教えを守つて三十有余年。僕はお金持ちの気風のよいおばさまみると心が動くように条件付けられてしまいました。まるでパブロフの犬です。

いけない、ミラー現象の講義が脱線してる！

最近他人の視線が気になるようになった理由は、僕が自分のボディイメージを気にしているのを他人が察知しているんじゃないかという不安が他人に伝わり、それが自己に投影して不安が増

幅されてるんじゃないかな？ これがミラー現象。

「週刊新潮」のグラビアページに僕の醜いおなかが掲載されているのを見て、僕の纖細な精神がミラー現象をおこしてゐるに違ひありません。以下は、その記事。

美容整形の高須クリニック院長・高須克弥さんは、あと半年で六十歳というのにとても元気なオジ様だ。なぜって、自分の身体を人体実験に使つてしまふのだから。体験したのはイタリアで開発された最新式の脂肪除去手術「脂肪蒸散術」なるシロモノ。レーザーを脂肪細胞に浴びせ、破壊。脂を自然に外に排出させるというものだ。学会で発表されておらず、日本でもまだ導入されていないけれど、高須先生は開発医の論文を読み症例も見て、自らの出腹返上にチャレンジ。「自分で試すのは前々から。オデコに植毛、頬つぶたを引っ張り上げ、目の下のたるみを取つて、顔は一皮剥きました。プチ整形もいろいろしたし、豊胸以外はみんなやつた」と言う院長。「効くかどうかわからないのに、効くって、患者さんに言えないじゃない」。

さて写真は術前と術後1ヶ月の現在の高須先生。「今のところ害はない。でも患者さんにお薦めするには、効き目が完全に現れる、あと2ヶ月間待つてから」。

術前は不機嫌顔、術後はニカツ、という美容整形広告の鉄則にのつとつたお姿。アンタはエライ。

愛に満ちたお言葉、ありがとうございます。

そう、若さと美貌を求める人たちのために美容外科は存在します。顔面の若さと美貌の追求に飽きると、次はボディラインに興味が移行します。

僕は個人的にはレンブラントの描くような肉感的なボディラインに美しさを感じてしまうんですが、最近の人気モデルは下腹部やウエストの脂肪を削ぎ落としたようなスタイルです。一流美容外科医師は一流美容師と同じです。時代の流れを読み、流行に敏感であらねば、お客様に見放されます。

ベン・ケーシー や ショーン・コネリー の胸毛に美しさを感じて美容外科医を目指した僕は、今、流行に合わせて男性の脱毛をせつせとしています。

子供の頃、立派な医者になるために、口髭をたくわえ、太鼓腹で葉巻の似合うような体型にならなければならぬと漠然と考えていたのです。時代は変わりました。よもや立派な太鼓腹を破壊して褒められる時代が来ようとは……。

脂肪吸引の技術のおかげで比較的簡単におなかを引っ込ませることができるようになりました。技術革新がデザインを変えてしまうのはあらゆる分野で見られる現象です。

脂肪吸引の歴史的背景について少し語りましょう。

皮膚に傷をつけずに脂肪だけを吸引して美しいボディラインを造ることは、美容外科医達の夢でありました。最近まで除去したい脂肪を皮膚ごときり取ることが常識的な方法でした。外科的な発想として、「いかに縫い目を目立たなくさせるか」という点に関心が向いてしまい、脂肪の

み取り去ろうと試みる医師は極めて少なかつたのです。

器用である上に大胆な手術を行う事で定評があるブラジルのイボ・ピタンギ先生の大掛かりな皮膚脂肪切除術がすばらしい成功をおさめ、世界中で高い評価を得てしまい、主流になつてしましました。

一方、皮膚を切除しないで脂肪除去を試みたバイオニア達の成績は散々で、脂肪除去手術を行なおうとする医師を胡散臭いものとして白眼視する時代が長く続きました。

フランスのピエール・フルニエ先生から習得した方法で、一九七八年に僕が日本で初めて脂肪吸引を行い、発表したときの評価は極めて低いものでした。古典的な皮膚脂肪切除術の信奉者達から「脂肪吸引しても脂肪細胞はすぐに再生してしまう」とか、「脂肪は吸引しても取れない」とか「こんな手術はインチキだ」などの非難も受けました。

現在、世界で一般的に行なわれている脂肪吸引技術の発明者はイタリアのジョルジオ・フィッシャー先生です。一九七七年三月、パリのクリニックでピエール・フルニエ先生とともに世界初のデモンストレーションを行ないました。当時ヨーロッパの大学や学会に影響力をもつていた大先生たちから「邪道である」とか「イカサマ師だ」と決め付けられたことが記録に残っています。それにもかかわらず、この技術は美容外科患者に評判がよく、「パリ・マッチ」誌に好意的にとりあげられ、ヨーロッパ中で行われるようになりました。

四半世紀が過ぎ、いまやインチキ呼ばわりされたことなど誰も憶えていないほど、脂肪吸引は常識になりました。テクノロジーの進歩も著しく、さらに効果的な脂肪吸引をするために、脂肪

「具合よくなつた? (.;;)

じゃあ一緒に仕事がんばろうねw (^ ^)w」

「ありがとうございます  
これからもヨロピコ。(^ ^)o」

正なか何君ら  
気えれ

ボレーヤ  
ボクら 実は  
まきあつて  
ますねん



59歳高須克弥と49歳克彦とのメール。  
アダム・ザ・ドクター(甲)とのメール。

融解液や超音波式脂肪分解装置、レーザー脂肪蒸散装置などが開発されました。

ちなみに超音波式脂肪吸引装置は僕がパテントを持つています。

脂肪蒸散装置は僕の事を「尊敬している」と称している、イタリアのマイダ先生が開発したものです。「自分の発明についてのコメントが欲しい」と装置を持って名古屋の高須クリニックに表敬訪問にきました。

「僕が日本人の第一号の患者になつてやる！」と告げたとき、マイダ先生感激のあまり涙を浮かべていました。

「恐いからやつぱり止める」って言えなくなっちゃったじやない！



## ソウルの「整形通り」

アジア人を美の基準にするべく設立された東方美容外科学会、二〇〇三年は上海で開かれましたが、二〇〇四年はソウルで開かれることになりました。日本から学んだ美容外科技術を改良し発展させた韓国は、いまや世界一の整形大国です。整形人間生産量はソウル市だけで日本全国量を凌駕しているはずです。ソウル市内には「整形通り」と呼ばれる地区が二つあります。銀座や北新地のクラブのように狭い地区に野心的な美容外科医が軒を連ねてヨン様やチエ・ジウ様風の美男美女をせつせと生産しています。

開業している美容外科クリニックの数はソウルだけでなんと千軒！ 日韓のパワーの差は歴然としています。日本美容外科医師会に登録している美容外科医は全国で七百人ほどなんですよ。

韓国の美容外科医は増殖しすぎています。医者が増殖しすぎることは、患者にとつても医者にとつても不幸なことです。医者は患者がないと食べていけません。日本では嘗てベビーブームで隆盛を誇った産婦人科や小児科の医者はいまや経営難です。

経営難は医師の良心が招いてしまったとも言えます。産めよ増やせよの時代にお金持ちになつた産婦人科医たちは、衣食足りて礼節を求め、出産と墮胎の増加に警鐘を鳴らしました。人口増

加が貧困を招いていると信じた偉い人達も「予防はまずは性教育から」と、避妊知識の啓蒙に努めました。日本はインドやアフリカではありません。完全な読み違いでした。結果として少子化が進み、小児科医まで不況の波をかぶつてしましました。総量規制をしてバブルを崩壊させた日銀の偉い人みたいです。

僕たち賢い美容外科医はこんな馬鹿なことはしません。ブスを予防してどうなりますか？ 美貌の多様化があつたほうが人生楽しいし経済も活性化するんです。

結核が国民病だつたころ規模を膨らませたサナトリュームや結核病院は予防医学の発展が災いして、ほとんどぶれてしました。このように患者が増えないのに医者が増えたら悲惨です。トドも象も適当な数まで間引いてやれば全滅を防ぐことができるのですが、医者は野獸じやないのですから、ヘリコプターで追いまわしてライフル銃で射殺するわけには行きません。

すでに投資してしまった高い教育資金と設備投資の回収をしなければ生活基盤が脅かされる医者たちは、伝統的な方法で生き残りを図ります。つまりお客様（患者様）を生産するのです。僕の少年時代は外科医がたくさんいましたので、僕の生まれた村では虫垂炎になる患者が多く生産されました。お腹の痛い患者はみんな虫垂炎の疑いをかけられて切られてしまいました。中学を卒業する段階で、クラス中で虫垂を持っていたのは僕だけじゃなかつたかと思います。隣村には扁桃切除手術の上手な耳鼻科医がいて村中の扁桃を切りまくつてました。最近の産科医は帝王切開が流行です。

韓国では増殖した美容外科医たちが大衆を啓蒙しています。美と若さの重要性に目覚めさせ、

立派な患者になつてほしいからです。医者が増えればバスの診断をされる患者が増え、患者数が増えれば医療技術は向上します。

文明の発達とはこんなものではないでしょうか？容貌コンプレックスを解消することで患者は幸せになります。美容医療が「幸せ医療」とよばれる所以です。その結果、幸せな人は特別な欠点のない容貌になります。自由経済の申し子のような美容医療が全体主義的な社会をつくる……歴史は繰り返すのですね。

製品ムラのない工業製品をつくる会社は優良企業です。発展途上国の会社は画一化した高品質の製品を安く大量生産する優良企業になるのが夢です。生産する前に大衆を画一化した製品を欲しがる消費者に仕立て上げなければなりません。「画一化した美人にならなければ幸せになれないんじゃないか」といった強迫観念が消費を促し、美容医療発展の原動力になつていています。

日本で美容外科医療が黎明期だった時代、僕は「包茎を治さなければ一人前の男とはいえない」と青年たちを啓蒙しました。僕が作ったビジネスモデルのおかげで男性の整形患者を扱うクリニックは経済的な繁栄を謳歌しました。その後「ワキガをおせ」「ハゲをおせ」「デブをおせ」と次々とブームが企画されました。僕は「アジア美容外科発展の父」と呼ばれてるんだそうです。

韓国版メロドラマの出演者は美男美女ばかりですよね。不気味なくらい歯並びの良いヨン様は日本のおばさまに人気があります。

なぜ韓国人は美容整形が大好きなんでしょう？

それは韓国人の精神的なバックボーンである儒教のイデオロギーが後押ししてゐるんじやないかと僕は読んでいます。

親孝行は韓国人の美德です。親孝行は本能ではありません。子供を守るのは本能ですが、親孝行な動物は存在しません。親孝行は教育によつて後天的に付け加えられた教養です。アジアにおいて教養の根幹をなすものは儒教でした。教養ある子供なら老いた父母を幸せにしてあげようとするものなのです。

働き者の韓國のお母さんはシワがいっぱい。子供をたくさん育てた母さんは例外なく垂ら<sup>た</sup>乳ねの母。変わり果てた母を若く美しくよみがえらせるのは子供の義務。子供たちで資金を出し合い母の「若返りプロジェクトX」をはかります。

若返ったお母さんは親孝行な子供たちが誇らしい。近所に触れ回り見せびらかす。口コミのコミュニケーションの発達した韓国では噂の広まるのはとても早い。「隣村のばあさんが息子たちに整形手術してもらつてきれいになつたそくな」「うらやましいのう。うちの息子たちにも見習うよう言い聞かせてやるべ」。

母を若返らせてパーティーを開いて御披露目するのが韓国の伝統になるのも時間の問題でし



ロンドンで世界初のプチ整形敢行！ 1998年5月、  
第2回ヨーロッパ美容外科学会にて。

よう。子供たちからの最高のプレゼントだもんね。日本みたいに、還暦祝いに赤いチャンチャンコもらつて喜ぶなんておかしいもんね。

日本の儒教は美容医療発展を妨げていました。「身体髮膚、受之父母、不敢毀傷、孝之始也」、親からもらつた体を改造しちゃいけないぞって孔子さまがいってるもんね。息子や娘が二重まぶたにしたり鼻を高くしたりしたら「親不孝もの！ 勘当じやー」の親は、まだ日本に少数民族として存在します。日本人つて外国の思想を自分に都合よく曲解して運用するのがうまいみたい。徳川幕府のシステム補強の理論武装のために輸入した儒教の一派である朱子学を倒幕のための勤皇理論にすり替えちゃつて、倒幕しちゃつたもんね。

儒教は貧乏だったころの日本人の不満をおさえる良いアイテムとして支配者に利用されてきたようです。「遊ぶ暇があつたら勉強しろ！」「恋愛する暇があつたら勉強しろ」「整形する暇があつたら勉強しろ！」勉強するつて論語を読むことだけだつたりして。勉強つて思考停止にする呪文だつたんでしょうね。

日本で美容整形が一般的になってきたのは経済的に豊かになつたのと、貧しかつたころ国民に蓄積されてきた儒教的な教養が消失してきたからだと思います。

韓国の美容外科は日本を反面教師にして発展してきました。二〇〇一年に韓国美容外科学会が設立されたのですが、創立にかかわったメンバーの半は日本美容外科学会にいつも参加しているおなじみの先生方。ソウルで開かれた第一回韓国美容外科学会に僕を招待してくれ、そこの第一号名誉会員してくれました。学会開催中、新進気鋭の若い開業医を何人も紹介されました。

銀座のたうかい

「トロ井」

寿司屋

トロ

それから

熱いお茶

はずかしさーに

トロ茶づけ食つた。

老いたな克弥。

以前のあんたなら

力

ウーラー

ぎり茶づけ

特上

やうやわよ。



それ一円  
茶づけだ



当時一番注目されていたのがウーマンズ・シークレット・クリニックの金淑慶院長。処女膜修復専門クリニック。儒教の国、韓国では姦通罪があります。貞操観念も強固なはずです。「美容整形が嫁入り道具として売っているんなら、処女膜は最高の嫁入り道具」と読んだ金淑慶先生の着眼は大当たり。

二十年位前に愛染恭子さんの処女膜修復手術をして映画に出演してしまった僕は金淑慶先生の尊敬の対象。日本式の処女膜修復手術の秘法を伝授し、とても喜ばれました。日本でほとんど需要のない手術ですので、いくら商売敵が増えても僕は平気です。この手術のできる美容外科医は日本では希少価値があります。もう少し長生きすれば僕も人間国宝になるかも。

第二回東方美容外科学会の会場で三年ぶりに韓国の美容外科医たちに再会。みなりツチになつており、羽振りのよさは嘗ての日本のバブル紳士なみ。その夜は接待攻め。不思議なことに、処女膜修復でリッチになつてているはずの金淑慶先生の姿が見当たらない。胸騒ぎがする。働きすぎて病気になつたのかな？ 翌朝ウーマンズ・シーキュレット・クリニックを訪問してみました。

すると、びっくり仰天！ 処女膜専門クリニックはなんと倒産してしまつており、まったく違うクリニックが同じ場所で開業していました。新クリニックの院長は不感症治療の専門医。名前も洪性才（本名です）先生。Gスポット（なつかしいですな）をつくる手術の専門医。

「韓国人の性モラルは急激に日本化している。処女にこだわる人はアナクロニズムです」「韓国には多くの不感症の患者が存在する。この人たちを救うのは私の使命です」  
ううむ。あなたは偉い。僕が考えつかなかつた新しいジャンルだ。

ブラジルでは美しい女性器をつくる手術が流行しているそうだけど、韓国では性能まで踏み込んでいる。美容医学は幸福医学だつて言われてるけど、女性があまりセックスの快感に目覚めるのも考え方のだよね。毎晩もとめられたら疲れるじゃん。男性は幸せになつたと言えるんかい。文明つて爛熟すると衰退し、また振り出しにもどつて発達するつて説があつたけど、美容医学もそうかもしね。

アフリカでは嫁入り前の女の子はクリトリスを割礼するんだよ。割礼手術するとセックスの快感に目覚めることができなくなるんだ。疲れた夫に毎晩襲いかかるなんてことは起こりっこないし、絶対浮気はしないし、もくもくと子育てをしてよく働くんだつて。嫉妬による争いも皆無だつて。これって男性の幸せなのかな？

違うよね？ 違うにきまつてる。僕は女性の味方だかんね。割礼断固反対！



## 「えくぼが美人の条件」ベトナム整形

バブル経済華やかなりしころ隆盛を誇り、アジアの発展途上国に「日本に学べ」と羨望の目で見られていたマンモス企業がたくさんありました。

「二十一世紀は日本の時代だ」と驕り昂ぶっていた企業の多くは今や急激な時代の波にのりおくれ、瀕死の状態です。死んだらハゲタカファンドに食い荒らされるのは弱肉強食の世の習いです。バブル崩壊は現代の平家物語ですな。

「全盛の産業はまもなく衰退する」「次の時代の覇者は現在怪しげなもの、いかがわしいものとみなされているものだ」と僕は信じています。

先見の明があつた小学生の高須克弥少年は学校が嫌いで漫画が大好きでした。漫画が将来の日本を代表する文化になると確信していたのです。先覚者は常に迫害を受けます。授業中も隠れて漫画を読み、鉄腕アトムのデッサンをしている僕のノートには授業と関係のない漫画しか記載されていませんでした。怒った教師に廊下で立たされました。それはいいとして、克弥少年の一番悲しかったのは、尊敬する祖母の理解が最後まで得られなかつた事です。「どんな書物でも必ず得るものがあるから……」とエロ本を読む事にまで理解を示してくれた祖母も「ポンチ絵は何に

も得るものがない……馬鹿になるだけ！」と全面禁止。僕は心を入れ替えるよう土蔵に入れられ、隠し持っていた漫画の本はすべて燃やされました。まさに焚書坑儒。最近になつて、燃やされた漫画本を古本のオークションで買い集めています。当時百円程度で買った漫画本が今では数十万円に高騰しています。祖母は切手と古銭の収集家でした。コレクションの貴重さは希少価値あります。優秀なコレクターは将来値打ちのものを洞察する目をもつています。今なら祖母は僕の先見の明を評価してくれるに違ひありません。

漫画本の焚書のあと、「野口英世伝」を読んでいる僕を見て、祖母は目を細めて喜びました。医者がこんなに斜陽産業化するとは思つていなかつたんでしょうね。祖母をもつと喜ばせようと読み出したのが「豊田佐吉伝」。

時代の波に乗れない産業は衰退しますが、衰退する紡績産業から自動車産業に波を乗り換えたトヨタグループは更なる躍進。ラッキー。よかつたですね。

今や、波に乗り損ねた嘗ての一流企業は経済戦争に敗北し侵略され放題なのに、アニメやゲームソフト、若者向けのミュージックは日本が大攻勢。連戦連勝。ピカチューやドラえもんは野口英世や豊田佐吉より有名ではないでしょうか？

昔の偉人は化石です。偉人伝読むより鉄腕アトム読むべきでした。「温故知新」は老人が若者の尊敬を繋ぎとめる為につくった上手なコピーだと思いますが、歴史は老人が作るものではありません。斬新な発想の若者たちが作るべきです。世界の歴史は国家の歴史です。国家も個人と同じくブスと美人、若者と老人、善良なと邪悪な奴、勤勉と怠け者に分類できます。マケドニア

いつもいつも廻かれまる。

「もう〆切りあわたの?」

「描いたの?」

私の運載の事かと思つたら「めうのこのコニラムの小せえカットで

や人の。先日も若い医者達に

「いつも先生の文章(機関紙)見ます」

「新潮45だよね。」

「す

肝に銘じる。ここは誰も読んでない!そして私も存在を忘れてゐる。



やモンゴルのような貧しい勤勉な若者たちが大帝国を作つて世界の歴史を変えました。いまやスペイン、ポルトガルが年金生活のよぼよぼじいさん。アメリカが独りよがりで金持ちの中年男なら、中国は金持ちになりたい力持の青年でしょう。ベトナムは貧乏だけど眞面目で勤勉な少年（少女）といったところでしようか。誰でも若い可愛いほうに味方するもんね。ベトナム戦争で世界に支持されないアメリカが負けたのは当然の事です。日清・日露戦争当時の日本も若くて美人で勤勉で眞面目だったんだろうな。愛されなくなつて、醜く老いて、ひねくれた国を若く美しく整形してあげたいと思います。

医者に等級があるのは知つてますよね？ 一番高級な医者は国の病を治せる医者。二番目が人間の病気を治せる医者。最低なのは自然に治るはずの患者を治療して悪化させる医者。国を治すことに一生懸命になると人間の病気には関心がなくなるみたい。僕は年老いてしまい、人間にしか関心が示せない医者に堕落してしまいました。もはや国家の整形をすることはできません。還暦過ぎてから革命を志す老人つて聞いた事ないし……てなわけで僕にとつて清国・ロシアに勝つた昔の若い日本と、フランス・アメリカに勝つた若いベトナムは憧れの国なんです。

そのベトナム美容外科学会から招待状がきました。ベトナムでは整形ブームが起きているんだそうです。世界の著名な美容外科医たちを招待して公開手術を行なつてもらい、ベトナムの美容外科技術発展を促そうとする計画だそうです。フランス、アメリカ、中国に戦争で勝利したベトナムですが、貧乏な共産主義の北ベトナムがアメリカ化した豊かな南ベトナムを併呑した結果、国全体が南ベトナム化してきたんだそうです。いまやベトナム人はアメリカが大好きです。ベト

ナム戦争で敗北したのはアメリカだつたはずです。しかしアメリカは文化によるベトナム侵略を完成させつづります。大東亜戦争後の日本の風俗の変化を体験している僕には、ベトナム人の好みが手にとるようにわかります。女性ならイングリッド・バーグマン。男性ならクヒオ大佐。クヒオ大佐って知つてますか？ 西原理恵子先生の辞書を借りれば、

「アジア顔丸出しで、ハワイ王族の末裔にして米空軍の大佐と称して女性を騙しまくったじい結婚詐欺師。プリンス・ジョナ・クヒオ大佐と名乗っていたらしい。たしか星条旗のトランクスを愛用していたという記事があつたような……。軍服を着ている人をやたらに指差してこの名をさけぶのはやめましょう」

ちよつと違いますぜサイバラ先生。たしかに胴長短足で典型的な日本人体型なんですけどね。顔はアジア人と対極です。発展途上国型美容整形の精髓。ものすごく広い、窪んだ二重まぶた。これ以上は無理なくらいでつかいシリコンブロック突っ込んだ、額と段差がない、高い鼻。あごも思いつきり前方につきだして。生きているイースター島のモアイ像ですぜ。いま日本でこんな手術やつたら、美容外科クリニックは、あつという間に倒産すること間違ひなしです。クヒオ大佐が美容外科手術を受けたのは三十年以上前に違ひありません。当時の日本女性の美的センスでは十分チャーミングな男性だつたはずです。僕が整形外科医になつたのは今から三十三年前ですが、当時は「進駐軍の兵隊みたいな顔にしてほしい」っていう男性が結構いましたよ。もと米

軍脱走兵のジエンキンスさんに再会した曾我ひとみさんが飛行機のタラップでやつた濃厚なキス見ました？あの時代の人はある手の顔が魅力的に見えるんです。曾我さんには悪いけど、クヒオ大佐とジエンキンスさんってよく似てる。

生物はより良い子孫を残すため、本能的に自分の持っていない優れた遺伝子を持った配偶者を選ぼうとします。性的魅力のある人は選ばれやすい人気アイテムの遺伝子をたくさん持った人なのです。ちいさな一重まぶたのハナペちゃの可愛い日本女性がイースター島のモアイ像みたいな不細工なインチキアメリカ人にだまされるのはあたりまえなのです。

加えて三十年以上前の日本人はアメリカ文化に憧れを抱いていました。いまのベトナムと情勢がそつくりです。現在の日本女性は進駐軍への盲目的憧れから目覚めちゃつたみたいですね。一般的ベトナム人には知的な日本女性がアジア顔のベトナム青年の性的魅力を愛でるなんてことは信じられないんでしょうね。とりあえず国民が望んでるんですからクヒオ大佐を大量生産しちゃつて一財産つくつちやつたのがベトナム美容外科学会会长のグエン・アイ先生。僕が二十年位前日本で包茎手術ブームを作ったころからのつき合い。アイ先生もベトナムでブームをつくりましたよ、テーマは『えくぼ』。「アオザイの似合う、えくぼのあるベトナム女性は世界一美しい」というキヤンペーンで、いまやベトナムで一番リッチな美容外科医。一昔前の日本美人は八重歯とえくぼが定番でした。浅丘ルリ子。小柳ルミ子。松田聖子……あれ？ チャームポイントが消える！ ベトナムで人気者になれませんよ。

美の基準は常に変わっています。昨日の美人は今日のバスです。僕が少年時代あこがれた男優

サイバラ画伯と鳥頭の焼き鳥を食らう。  
2004年8月、ベトナム美容外科学会のとき。



のスターは八重歯で不良の石原裕次郎。不気味なくらい真っ白な輝くばかりの粒ぞろいの歯で、歯並びの良い、良い子のヨン様の対極。ヨン様ブームは、ヨン様の口元を美男の基準にしようとする審美歯科医の陰謀じやないかな？ 斜陽産業化した歯科業界をなんとかしてもらおうと献金しても無駄なんですよ。政治力で患者を増やすことは不可能なんですから。

歯科産業は斜陽産業から立ち直りつつあります。地味な診療科の典型だった皮膚科も派手に変身しつつあります。キーワードは「美白」です。「色の白いは七難隠す」が復活しているせいでしょう。「小麦色した可愛い子」や「クッキーフェイス」は遠い昔の物語です。バスは嘗ての美人です。美人も時代が変わればバスと評価される運命です。栄枯盛衰、強者必滅。時代の流れで評価がかわるのです。

遠山の金さんの時代なら人気ファッショントリックの櫻吹雪のタトゥーも現代日本では反社会的な象徴。でも雄が美しく装つて雌を誘惑するのは動物の本能。いくら国家が反社会的だとキヤンペーンやつても若者の間ではタトゥーが流行。国家にとつてもベッカムさまのタトゥーはベッカクだつたりし

て……北欧や英國の皇室のタトウやボバイもオーケーでしょ？

国家の政策と民衆の経済の都合でファッションが変化し、それにつれてバスと美人の定義も変化してゆくのでしょうか。

アイ先生のクリニックは旧アメリカ大使館前の一等地に聳え立つ近代ビル。手術室設備は日本の三十年前レベル。三十三年外科医やってる僕には懐かしい環境。手術はスイスイできました。僕のライブワークショップはベトナム美容外科医療発展にとても貢献したに違いありません。ベトナムの美容外科は潜在的商売敵。十年くらい経つと強力なライバルになるんじゃないかな。

僕の手術デモの後はアイ先生のえくぼ作り手術。

言っちゃ悪いけど、日本でやつたら傷害罪で逮捕されそうな手術。でも、手術してもらつた若くて美しいベトナム女性は満足そう。大丈夫だ。二十年はライバルにならないや。



## 美容整形三国志

かつちやんは晩年に近づいてからやたらと忙しい。発展途上のペトナム美容外科学会から帰るまもなくポルトガル美容外科学会に出発。ヨーロッパ美容外科学会のバスの中では一番貧乏なポルトガル美容外科学会会长のアンジェロ・レベロ先生のご招待。なけなしのヘソクリ使つて接待してくれるつもりみたい。行かなきや悪いじやん。リスボンには、バリ島のビーチボーカイや、パリのジゴロみたいなバイタリティーのある不良少年なんか一人もいない。無防備な日本のギャルが誘惑される心配なし。そのせいか、めつちや治安の良いところなのに、日本人の女性の観光客はほとんど来ないみたい。

ポルトガル全土で美容外科は五十軒ほど。規模で言えば名古屋とどっこいどっこい。美容医療マーケットとしての活性は失われ、何処の国からも侵略されない平和な国。

日本の近世は種子島に漂着したポルトガル人からもたらされた火縄銃によつて開かれました。当時ポルトガルはスペインと地球を二分していた大帝国でした。超一流国。高級ブランド。あの時代、世界中でもてまくつていたんでしようね？ 当時のポルトガル人の子孫のアイルトン・セナみたいのがいっぱいいたんでしょうね。

セレブのお嬢さまはブランド大好き。外国人のボーイフレンド連れ歩くのも洋犬連れ歩くのもブランドにこだわる。ボーイフレンドは? 「フランス人よ」「アメリカ人よ」「ドイツ人よ」……今では「ポルトガル人よ」はなんかパツとしませんね。あの大帝国の末裔は何でこんなに落ちぶれちゃったんでしょう? ブランドは古くなれば高級になるとは限らないんですね。高級ブランドを維持し続けるには伝統ばかりじゃなく、自尊心と信念が必要なんぢやないでしようか? 経営が苦しくなつたつて安売りしない頑固さ。

国家にもブランドがあるのは知つてますね。国連の会議場をみれば一流国と三流国は一目瞭然です。

大日本帝国は第二次世界大戦でドイツ、イタリアと三国同盟を結び枢軸国として連合国(今の国連)と戦い、負けてしました。戦争に負けると帝国は崩壊するものようですが、負けっぷりがよければ民族の尊厳が残り、復活も早いようです。

僕がドイツのキール大学に遊学していたころ、ドイツの友人たち「今度やるときは、イタ公抜きで戦おうぜ!」ってビールをおごってくれました。イタリアは戦いの途中で日和つてしまい、立派に負けなかつたから、尊敬されないんでしょうね。喧嘩するとき、敵か味方かはつきりしない蝙蝠みたいなやつは、喧嘩が終わつたあと、仲間はずれにされるのが世の常です。

ポルトガルは連合国でも枢軸国でもない「中立国」。連合国、枢軸国のどちらが勝つたつて、生き残りが図れるセコイ外交。一昔前の日本の「全方位外交」とそつくりです。一方、隣国スペインはヒトラーやムツソリーニと仲良しでした。フランコ総統は自他共に認めるファシスト。

蝙蝠みたいなポルトガルは二十世紀初頭に王様が追放されて国体崩壊。戦中も途中までは親枢軸国政策をとつていたのに戦局が不利になると連合国側に接近する体たらく。日本もスペインも誇りを持つて毅然として全体主義を貫き通しました。結果的に他国の軽蔑の対象にならず、国体護持に成功。ブランド価値の下落が食い止められました。バスと言われようが「私は美しい。いまにみておれ」と頑張るあなたを高須クリニックは応援しています。信念はいざれ現実化します。美の基準はいくつもあるんです。負けちゃいけません。

サッチャーの名文句「正義はいくつも在るのよ！」は苦しまぎれの妄言ではありません。僕にとっての真言であります。

「正義」のために、誇りを持つて立派に戦い、花と散る。日本の武士も、ヨーロッパの騎士も、マサイの戦士もタリバンの兵士も考えることはみな同じ。

少年時代の僕の夢は、立派な漫画家になり、後世に残るような大作を描くことでした。今でも夢は捨てていません。構想を暖め続けています。テーマは『三国志』。「横山光輝のぱくりじゃないか」。違いますよ。僕のは『美容整形三国志』。ワクワクするでしょ？えつ？ワクワクしない？いかんな——。読者の興味は基礎教養によつて左右されちゃうもんね。義務教育で日本史や世界史で知っている範囲がテーマの小説は良く売れるよね。『バガボンド』や『蒼天航路』はテーマの勝利。日本や中国の群雄割拠の時代なら子供でも知ってるもんね。アフリカや南米の群雄割拠の時代漫画なんて、誰も読まないんじやないかしら。理解できない読み物は買わないもんですね。

2004年9月、ポルトガル美容外科学会にて、  
民族衣装に身を包むかっちゃん。



『美容整形三国志』は読者の知らない、勃興する美容医療マーケットの覇権を争う、野心あふれる美容外科医たちの暗闘を描いた大スペクタクルです。

世が乱れるときは、官の力が衰え、民の力が伸びるときです。民衆の英知と欲望が集まつて集団を形成します。はじめは盗賊や馬賊、都市では暴力団の形態をとりますが、これが新興国家になつたりするんです。衣食足りて礼節を知り、紳士づらしていますが、元をただせばろくなもんじゃないかもしれません。

その証拠に、衣食足りていらない国家はたいてい「ならず者国家」ではありませんか。ならず者が國家が覇を競う下克上の時代は、野心家にとつて、すばらしい時代です。

世が安定している時代は擬似カーストに守られた、既得権益をもつたグループが支配階層を形成しています。支配階層の女性は美人。非支配階層はバスということにされています。バスが美容整形をして美人に紛れ込むことは支配階層の人々にとつて許しがたい侮辱であります。僕がキール大学で師事したロー・デダード教授はユダヤ人でした。ナチスの時代には同僚に裏切られ、大学を追放されてゲットーに入れられ、大変な苦労をされた方です。第三帝国が敗れた後、大学にカムバック。自分を追放した教授たちを

追放して整形外科の主任教授に就任。めでたしめでたし。——この続きがあるんです。

キール市はU-ポートの基地があつたことで有名な軍港の街。市民の大半は、すらりとした鼻をした典型的なゲルマン顔。ローデナー教授はイスラエルのシャロン首相みたいなユダヤ鼻。ユダヤ人に偏見をもたない、理性的なドイツのインテリでも、本能的なユダヤ人差別は消せないみたい。どうも居心地が悪い。教授は弟子たちを指導して自分の鼻に整形手術を施行し、ゲルマン鼻に変身してしまつたんです。

教授はドイツの友人に愛されたでしようか？ 嫌われちゃつたんです。「あいつはドイツ人の顔に整形したユダヤ人だぜ！」って。おまけにユダヤ人にまで軽蔑されてしましました。

自分を迫害したキールからオサラバしてユダヤ鼻を愛してくれるテルアビブに移住すべきでした。せっかくいいところまで頑張ったのに詰めが甘かったです。

は？ なんでこんな話になつちやつたんだろ？ そうそう、官の力が衰え民の力が増す時代は野心家の美容外科医にとって素晴らしい時代だつていう話の続きだつた。

『ブラックジャックによろしく』とか『医龍』とか読んでる漫画ファンは知つてるでしよう？ 日本の医学界の病巣は医局ネットワークによる学閥支配にあるつて。

美容外科は運のいいことに、どこの大学にも医局がありません。いかなる大学の干渉も受けない聖域だったのです。聖域なんていいものじゃなかつたですな。汚らわしい、妖しげな領域だったものですから、穢れを嫌う白い巨塔に入れてもらえなかつたんでしょうな。

官の力の及ばないところには群雄が割拠します。一九七八になつて議員立法で「美容外科」

あせまして わめぐら で うごこちます。

克ちゃん先生

今年アミと

まーだ

一発当てる

氣です。

枯れ木です

花はもう

味ません。

いやいや人生

最後にもうべんはなへ

枯  
れ  
木  
ギ  
ヤ  
シ  
カ  
わ  
い  
ま  
す。



四月後の一ヶ月

という標榜科目が認められるより遙か昔から、「美容整形」という名称（勝手にこさえたんです）でパンパン整形手術が行わっていました。当時の美容整形の覇者は東京の十仁病院整形外科。院長は梅澤文雄先生。日本医師会の支配者、武見太郎会長の刎頸の友。日本医学会の熊谷洋会長も朋友。政界にも広い人脈を誇り、大帝国を築いておられました。「十仁病院の売り上げは慶應病院より多い」と信じられていました。当時、美容整形を勉強したい医者たちは梅澤先生が私物化しておられた美容整形学会に入会するのが普通でした。この学会は会費を払わなくても会員になれ、参加できました。おまけに昼飯と夜のパーティーつき。学会が開かれる日には会場に政治家の花輪がずらりと並び、権勢を誇つておられました。梅澤先生は慶應大学医学部出身。反官僚の慶應人脈が支持母体。

ライバルがいました。東京大学出身の大森清一先生。東京警察病院の院長も務められた、正義感の強い勉強家ですが、勤務医ですので大盤振る舞いはできません。派手な梅澤先生が嫌いだつたようです。東京大学人脈対慶應大学人脈は昔から仲が悪いんです。官僚と民間はお互いに軽蔑しあっています。いろんなことが重なって不俱戴天の敵になってしまったのでしょうか。

現在日本には二つの「日本美容外科学会」があります。まったく同じ名称で勢力も拮抗しています。両巨頭がこの世を去られても忠臣が二つの帝国崩壊を食い止めちゃったんです。混乱を避けるために「十仁派学会」「大森派学会」と呼んで区別しています。

僕の出身校、昭和大学は嘗て東京大学の植民地だったのですから、自動的に大森派美容外科学会の会員にされてしまいました。しかし路線が僕の主義主張と反することに気づき、きっぱり

退会し、十仁派の会員になりました。僕は蝙蝠じやないもんね。一等国になりたいから、立派に戦うからね。今では十仁派美容外科学会の企画委員長（参謀）です。僕たちのほうが現有勢力が大きいようです。殊勲殊勲。

その僕のところに大森派学会から招待状がきました。両派の代表選手を出して公開討論会を開こうという企画です。おもしれえ！ 武闘派のかっちゃんを呼んだことを後悔するなよ。「朝まで生テレビ！」か「TVタックル」みたいなバトルを見せてやろうじゃないか！

## プチ整形は 女の子を救う

林葉直子（タレント）

高須先生に初めてお会いしたのは、とあるパーティでした。「おっぱいが垂れてる」って言われたんです！ すごいショックだつたんですけど、普通の男の人は思ってても言わないでしょ。でも、先生はちゃんと言つてくれたから、かえつて信頼できるなあと思いました。豊胸手術をしたのは、先生に勇気づけられました。

男性にモテるようになつたかつていうと、さあ、どうかなあ。大変じやないかしら（笑）。

男性にモテるようになつたかつていうと、さあ、どうかなあ。私の場合、すでにバレちゃつてますからね。ただ、触り心地はいいみたいですよ（笑）。それより、女友達から「ビキニラインを脱毛したいんだけど、どうしたらいい？」なんて相談を受けて、「私も高須クリニックに行ってきたんだけど」と言つて言つこをしたり、女の子となんでも気軽に話ができるようになつたのがうれしい。

容姿に悩みがあるなら、くよくよしてないでプチ整形しちゃ

えばいいと思う。ストレスがなくなつて、内面からもきれいになりますもん。実は私も、アンジェリーナ・ジョリーみたいな、ぽつてり唇に憧れて、先生にお願いしたことがあるんです。上唇にだけボトックス打つていただいたんですけど、似合わなかつたのであきらめました。どうもしまりのない顔になっちゃつて（笑）。こうやって、まず試してみたら良いんです。男性の方々、女性にプレゼントするなら、これからは指輪よりプチ整形ですよ！



# 我ら醜男の希望の灯

野坂昭如（作家）

の。これぞ雑文の基本である。防御本能の赴くまま、ピン底近視眼鏡から色付度付サングラスに変える。至極当たり前だが、色付眼鏡の裏側から見る世の中は全て、小粒に思えた。酒に溺れ、黒眼鏡に逃げた。

以後、おこがましくも、筆と歌で、世の中の鬱憤を晴らすべく奮闘のつもり。

僕はバスが好きだ。バスは魅力的、かつ創造的である。僕の心配は、世界中高須マジックで、バスが見当たらなくなることである。

バスの対は醜男か、かなり幼少の頃から、自分の醜男振りに気付いていた。ピン底眼鏡に吃り、短足。僻み、嫉み、妬み、この三位一体はその頃からのも

身のほど知らずとの戒めか、老人力を發揮するにいたらず、病に倒れ夢はえなく半ばにして散った。

あれから三年。拝見するに、

C Mは以前と変わぬスーパースターの登場。思わずリハビリに力がこもる。

高須克弥は眞面目ゆえの異端児である。奇をてらっているわけじゃない。我ら醜男にも希望の灯を与えてくれた。そして、もの書きも、ナルシストです。今日もヨロヨロと歩行練習。





## 続・美容整形三国志

派閥が分かれている格闘技の統一チャンピオンを決める試合は多くの観客を集めます。眞の王者が誰か？ 誰でも関心がありますものね。

企業でもレストランでもランク付けは最大の関心事。星が一つ減らされただけで自殺したシェフがいましたな。テレビ番組『料理の鉄人』が高視聴率を上げていたころ、某テレビ局の偉い人に食事に招待されました。

偉い人「視聴率を上げるアイデアはありませんかのう」

僕「美容整形の鉄人やりましょうよ。高視聴率まちがいなし」

包茎とか豊胸とかテーマを決めて、整形の鉄人が技を競う番組を見てみたくはありませんか？ほんとのビューティーコロシアム。

美容外科学会のシンポジュームってまさにビューティーコロシアムなんんですけどね。自分の技の優秀さを誇り、対戦相手の弱点をつき、論破する。僕を眞の王者だと無理やり認めさせる。僕

侃々諤々の大論争となつた深夜番組のシンポジュームで、野坂昭如さんだけは僕を支持してくれました。



はシンポジューム大好き。自分で自慢するのも恥ずかしいけど、シンポジュームでは百戦百勝。口も八丁手も八丁の僕にかなうやつはまだ出てこない。残念なことに、観戦できるのは会員である美容外科医のみ。アメリカ大統領選みたいにテレビで実況放送できれば楽しいのにな。

昔、読売テレビの深夜番組で『美容外科を考える』というテーマでシンポジュームをやったことがあります。パネラーは大島渚監督、野坂昭如さん、評論家の樋口恵子さん、『美人論』の井上章一さん、大竹まことさん、デーブ・スペクターさんなど、錚々たる論客！

いくら立派な論客だつて美容外科の土俵で戦つたら、かつちやんにかなう人なんかいない。誇り高い論客が論破された時の反応はみな同じ。大竹まことさんは怒つて討論の途中で席をけつて出て行つてしましました。大島渚監督は美人を作つたり、年寄りを若返らせる美容整形に大反対。額に青筋たてて「お前みたいな医者は死刑だ！」。お返しに「これ読んでください」と僕の著書をプレゼントしたら、タイトルの『バカにかける薬』というのを見て、逆上して「バッ……バカヤロー！」。頑固な老人の血圧上げるのは熟練シンポジアストの基本的な技。ごめんなさい大島監督。あなたのこと、ほんとはすごく尊敬してゐんですけど。『愛のコリーダ』なんか十回以上観ましたよ。

この番組は二週間にわたつて放送されました。プロデューサーの話では、とても高い視聴率だつたそうです。

僕とシンポジュームやつた相手は宿敵になるか、同志になるか分かれます。野坂昭如さんは同志になりました。後日「高須国手は立派な仕事をしている。あなたの仕事に反対するやつは殴つてやりたくなる！」と言つてくれましたね。

僕が若返り手術をしたと聞いて、高須クリニックを訪れ、僕の若返りぶりに感激した野坂さんは「高須先生に全てを委ねるから、腕によりをかけて僕を若返らせてみてください。仕上がつたら、公表します」といだされました。美容医療に偏見を持つてゐる頑固な老人の目を醒ませるのに協力してくれるつて！

その後、野坂同志は病氣になられ、連絡が取れなくなりました。もし、このエッセイを読まれましたら、連絡ください。いまからでも遅くはありません。プロジェクトXを完成させましょう。ここからは前項の続き。浅間山の噴火と台風二十二号襲来で観光客もまばらな二〇〇四年十月十一日、軽井沢プリンスホテルで二つの美容外科学会の代表選手の論戦（シンポジューム）が開かれました。テーマは『チエーン展開の美容外科vs.個人開業の美容外科』。レフリーは東海大の谷野隆三郎教授と昭和大の原口和久助教授。

現代日本は官と民、武士と町人に分かれた階級社会だと僕は考えます。

官（武士）は貧乏だけど威張る事の出来る階級。民（商人）は金は持つてると官（武士）には決してたてつかないのが不文律。大森派は厚生労働省認可の公益法人「日本美容医療協会（会長は元厚生大臣）」がスポンサーで大学勤務の形成外科医が多く、清貧にあまんじても高いプライドを保っています。十仁派は文部科学省認可の財団「日本美容医学研究会」がスポンサーで、

ビジネス的な成功をおさめたリッチな美容外科医がほとんど加入している学会。お互い金と権力が欠けているため、お互いが貶し合いながら羨ましがつていてる状態。越後屋とお代官さまは、ほんとは仲良くしたいんでしようね。でも、たてまえでは「武士は食わねど高楊枝」。

大学勤務の医者の夢は教授になることです。教授になるのには学問的な業績が重要視されるのは当然のことですが、教授選の勝利を勝ち得るために財力が側面援助するのは既に常識です。ほら『白い巨塔』で開業医の財前又一が娘婿の財前五郎を外科の教授にするために執念を燃やす場面があつたでしょう。町人が金を貯めて旗本の株を買って武士に化けちやうのは日本の文化。日本の近代はこのタイプの成金武士の末裔によつて築かれたといつても過言ではないでしょう。成金武士は生え抜きの武士より武士らしくふるまいます。百姓・町人出身者の多かつた新撰組や金貸し検校の末裔の勝海舟は立派な武士として認識されています。

がんじがらめの身分制度、カーストの壁がインドの近代化を阻害していると言われていますが、日本の壁は障子か襖なみの形式的な壁。日本人は身分の壁どころか、美容整形でバスの壁を樂々と乗り越え、カルーセル麻紀さんみたいに性の壁すらも越えちゃいます。

シンポジュームは二時間の間に六人の選手が討論する形式。十仁派の代表選手は昨年度（二〇〇三年）の日本で九番目の多額納税者、神奈川クリニックの山子大助先生と一昨年度（二〇〇二年）の業界納税チャンピオン聖心美容外科の山川雅之先生。僕は？ 何でだろう？ 昨年の申告漏れチャンピオンだからかな？ どつちみち僕はヒールとして活躍する運命なんだ。

大森派の選手は札幌、那覇、神戸で昔から開業しておられる個人開業の美容外科の先生方。見

商売敵のペガシチャを手にレクチャ  
していふ。ついで

世界征服に  
なり

笑ひが止まら  
なくなつてゐる  
克ちの因

\*本日のメニューは院長  
風邪気味のため

中華風鳥すかゆ  
トマトジュー・スカケ。  
婦長「こんなものに西原先生をつくるあ  
せてすこやかへ」言葉未付。



るからに真面目で善良そう。貧しい労働者の味方、あかひげタイプ。

十仁派は、僕以外は資本家タイプ。あかひげがパレスチナなら資本家はイスラエル。あかひげがソロモンで資本家がゴリアテ。格闘技では観客は弱そうな方に味方する。会場は大森派の美容外科・形成外科の会員で超満員。盟友の二先生の顔に「しまった！ 来るんじやなかつた」という後悔の色がありあり。

大丈夫。僕にまかせなさい。討論に先立つて、テーマが示されました。

一 税金対策において、フランチャイズ方式と個人開業ではそれぞれどのようなメリットデメリットがありますか？

二 資材の一括購入によるスケールメリットと広告の効率化、その他フランチャイズ方式におけるメリットデメリットについてお話ください。

三 広告の媒体と広告費が全収入に占める比率を教えてください。

四 広告以外に患者獲得にどのような工夫をしていますか？

五 美容外科の開業で成功するために最も大切なキー・ポイントはなんですか？

えー！ へりくだつて教えを請うているんですか？ これって企業秘密じゃないの？ 資本家が本当のこと、商売敵にペラペラ喋るわけないじやん。武士が商法に興味を持ち始めたのかな。武士の商法つてうまくいったためしがないんだよ。

この手のテーマは業界団体・日本美容外科医師会でいつも話題になっています。情報交換は、業務提携した仲間同士で秘密裏にするものであります。美容医療協会を脱走して美容外科医師会会員になり、NPO法人美容外科ボランティアの会に多額の寄付をしたら、仲間になつたと認めてあげる。

六 今後、美容外科の領域に企業が進出してくる可能性についてどのようにお考えですか？

七 「美容外科がサービス業であり、必然的に競争原理が働く」ということについてどうお考えですか？

わかつてきたぞ。官に癒着して保護されてきた業界が民営化の潮流に気づいてきたんだ。大森派のクリニックって郵便局かよ。危機感を募らせているんだ。医療はサービス業に決まってるだろ。サービス業に企業が進出することは自然の流れだよ。患者さんに良いサービスが提供できるのは企業のほうが優れているに決まってるじゃないか。

……さて、この話、美容外科医師会の機関紙に毎年載せるぼくの新年の挨拶からの抜粋で締め括らせていただきますね。

「昨年は美容外科医療の大波乱の年でした。不況が慢性化し、美容外科医療のニーズは少ししか増加していないのに、美容外科医療に参入する医療機関が増加したため、ダンピングが一般化し

マーケットは縮小傾向にあります。

新規参入の医療機関はまさに玉石混交。群雄割拠。勝ち組と負け組がはつきりとしつつあるようになります。日本は和を尊ぶ農耕民族の村社会です。出る杭は打たれ、横並びが美德とされてきました。（中略）

……近い将来、医療広告が自由化され、日本国内の医療機関で海外の免許を持つ外国人医師や看護師が就労し、利益追求型のアメリカ医療株式会社が日本進出を果たし、スターバックスなみのサービスを提供する社会が出現するはずです。

医療の大変革の次に来るものは何でしょうか？ 患者の意識革命です。

『お医者様に治療していただく』から『選んでやつた医者に治療させてやる』への変化です。もはや医療従事者は聖職者ではありません。患者様に仕える僕しもべとみなされる時代になりつつあります。

患者様の求めるものを与えられる医師が最も優れた医師ならば、若さと美しさを供給し幸せな人生をあたえる私たちは患者様に最も愛される優れた医師であります。誇りを持って患者様にお仕えしようではありませんか』



## 中国・人造美女コンテスト

切らないフェースリフト「ロシアンリフト」の発明者で、モスクワで開業している美容外科医のスマニーチエ先生から新年のメッセージ。「モスクワ放送のユーロニュースであなたの演説が放送されているのを見ました。嬉しく思いました」。

ん？？？ 何のこつちや？

前年（二〇〇四年）ヨーロッパ圏で演説なんかした記憶が無い。抜けたかな？

海外担当秘書の岡田嬢の推理。「グルジア人のスマニーチエ先生はロシア語かグルジア語以外の放送は理解できないんじやないでしようか？ たぶん北京の人造美女コンテストがオンエアされたのを言ってるんでしょう」。

ああ、そうか。北京では世界中のメディアのインタビューに答えたからね。そのなかのひとつがモスクワ放送だったのかもしれません。日本では、中国人造美女コンテストはキワモノ的な娯楽ニュースとして報道されたようです。開放的なイベントだと誤解するかもしれません、公安監視下で、吟味されたメディアとスポンサー以外は完全シャットアウトの、統制されたコンテストでした。

江沢民が引退したあと、指導力を失いつつある共産党政権は砂上の楼閣と化しつつあります。何が引き金になつて体制の転覆が起きるかわからない状勢です。CCTV（中国中央電視台）で僕のインタビューがどのように報道されたかはとても関心があります。CCTVのレポーターは「このコンテストが中国の文化にどのような変革をもたらすか？」と中国語で執拗に質問してきました。僕の答えは「国際社会では人造美人と天然美人とを区別しない。若く美しくなつて皆に好かれようと望むのは人間の本能であり基本的人権だ。若く美しくなりたい人々を差別する社会は時代遅れだ。北京オリンピック開催までに人造美女が普通の人として受け入れられる社会に変革してもらいたい」。

通訳は、かつちやんの一番弟子を自称している董帆（ドン・ファンと発音してください）君。日本に留学中、高須クリニックに住み込んで美容外科を見学した経験のある中国人医師です。自分の利益になるよう仕切る名人。典型的な上海人です。彼に通訳させたら、僕の人格は董帆に乗っ取られてしまします。だから大事な会話をする際は優秀な中国語通訳を雇わねばなりません。

しかし人造美女コンテストが無事終了し、気が緩んだせいで、労をねぎらい通訳を先に帰宅させてしましました。しまった!! 通訳がいなくなつた途端、笑顔で登場した董帆。「高須先生、CCTVインタビューOK? 董帆通訳大丈夫。不用心配。……とても心配。僕の意見は董帆によつて、いいように歪められて中国人民に伝えられたはずです。だって、僕が答えた三倍くらい通訳の董帆がしゃべつてるんだから。

私腹を肥やす腹黒い宰相や宦官によつて善良な皇帝の意思が歪められ、易姓革命が繰り返され

た中国の歴史。董帆君は中国文明の権化。

一気にここまで書いてから気がついた。興味の無い読者には「人造美女」って何のことかわからぬだろうね。すまんすまん。一から語り起こそう。

ことの発端は前年の夏届いた一通の電子メールでした。

整形美女コンテストがあるんですね！【上のサイトに詳細】。先生のクリニックからも誰か出るんですか？出るんだつたら原稿に書いてくださいね。新潮45 中瀬

え、そんな話が？？早速サイトにアクセスしてみると……。

### 整形「美女」救済？「人造美女コンテスト」開催へ

九日の新華社電（電子版）によると、初の「人造（整形）美女コンテスト」が十一月に北京で開催される。中国医師会の美容整形分会などが主催、整形美女の美しさを社会に認めてもらうのが趣旨という。

整形手術を受けた中国の「美女」が五月、一般のミスコンテストに参加した際に途中で参加資格を取り消された経緯があり、主催者は、今回のコンテストにはこの女性を応援する趣旨もあると説明した。

参加者の国籍に制限はなく、日本や米国、韓国からもノミネートの意向が寄せられている。（共同）

中国医師会の美容整形分会？ 僕の朋友たちが牛耳っている会じゃないか！ ラツキー！

僕は中国美容整形学会の名誉会員だし、学会誌の編集委員なんだぜ。たいがいの無理は聞いてくれるはず。中瀬編集長にいいレポートが書ける。てなわけで、中国医師会の美容整形分会のボスに親書を送ることにした。

旭日昇天の勢いで発展しつつある日本国美容外科業界の闇の支配者高須克弥医学博士より中華人民共和国美容整形業界の眠れる獅子○○教授に祝辞を贈ります。慶祝首届（注・第一回の意味）人造美女大賽！<sup>コンテスト</sup>熱烈支持！ イベント成功のために協力してあげるから遠慮なく言つてね。

「中国人との取引するときや、まず一発ハツタリをかませて、イニシアチブを握るのが肝要」つてのは、南満州鉄道の株に全財産をつぎこんで貧乏になつてしまつた祖父の言葉。隋の皇帝にハツタリかませた聖徳太子は偉いと思う。世界に通用しない謙譲の美德つて日本人のウイークポイントじやないかしら。

ボスからまもなく返事がきました。

高須克弥医学博士

感謝您的合作！　あなたを正式に人造美女コンテストのVIP審査員に任命し、随員と取材班を同行することを認めます。

そうか。偉い人って随員と取材班を引き連れて訪中するんだ。典型的庶民の高須クリニック院長は政治家や教団のオーナーじゃないんだから……困っちゃうな……随員は誰にしよう？　慰安旅行とか言つて、有給休暇消化してない従業員でもつれてゆくか。

取材班は？　中瀬編集長とサイバラ画伯にしどこう。来てくれるかな？

でつかい判子の押してあるVIP審査員任命書とともに、大会趣意書が届けられた。要約するね。

「これは『人造美人楊媛の事件』（注・整形美女が通常の美女コンテストに出場を拒否された事件のこと）を発端に開催されることになつた特別なコンクールである。コンクールの要旨はこうである。主催者たる我々は世の中の『人造美人』達にこう告げたい。決して人造美人を差別するつもりはない。ただ本物の美人と人造美人という全く異種の美人は、別々に分けてコンクールを行ふのが公正である。それはちょうどボクシングの試合を重量級と軽量級に分けるのと同じである。絶対に『差別する』『差別しない』の問題ではない」

克<sup>つちやん</sup>にぞがい  
熊<sup>くま</sup>キをどーんとい  
買<sup>う</sup>てもらうだ。

か、なり  
ききそう？

市<sup>いち</sup>壳<sup>カキ</sup>累<sup>カキ</sup>盛<sup>カキ</sup>  
稅務署<sup>たむしょ</sup>突入<sup>つっりん</sup>  
大食<sup>おおごはん</sup>大喰<sup>おおくみ</sup>い

悪<sup>あく</sup>業<sup>ぎょう</sup>追<sup>お</sup>散<sup>さん</sup>  
血<sup>け</sup>圧<sup>あつ</sup>上<sup>じよう</sup>昇<sup>しょう</sup>巨<sup>きよ</sup>顎<sup>あご</sup>



これって差別そのものじやん！ 現代中国では美容医学の恩恵に浴した美人は本物の美人じゃないのかね。そもそも本物の美人って何？ 嘗て中国は人体改造の先進国だつたんだぜ。改造人間はエリートだつたんだぜ。纏足した女性が美人の代表で、宦官が政治の実権をにぎっていたのを忘れたのかね。

人体改造をした選手は通常の美人コンテストの参加資格がないの？ ってことは、歯列矯正したり植毛したり脱毛したり脂肪吸引したりアートメークイングしたら、本物の美人の身分を失うつてこと？ ちょっと整形したら「人造美女」と呼ばれて差別されるの？ 人造美女って隠れ切支丹かい。僕は転び伴天連？ 生まれながらの身分の上下や富の偏在を打ち壊すべく、毛沢東は中華人民共和国を建国したんじやないの？ 自分の努力でバスの壁をぶち破り、美人の身分を手に入れようと戦う女性は中国共産党のイデオロギーと矛盾しないと思うんだけどね。

伝統的に為政者を信用しない中国民衆にとって、「もはや共産主義を支持していない。資本主義経済を歓迎している」ってのが本音かもしれないね。

でもね「美人になれるんだつたら何でもあり」が資本主義なんだよ。

「人造美人」が増殖して「本物の美人」を駆逐するのを恐れているのかね？ 人造美人は外来種？ ブラックバス？ 日本では外来種によつて在来種が駆逐され、生態系が破壊されつります。

サイバラ画伯は「東京湾で上海蟹が獲れたんだつて！」と喜んでましたね。自然保護団体が日本の藻屑蟹の絶滅する可能性について警鐘を鳴らしてゐるのに、困つた人だ。本能に忠実なおっさ

んみたいですね。

ロシア人やフィリピン人ホステスが日本人ホステスを驅逐したって、おっさんの客は一向に悲しまないもんね。若くて可愛くて気立てがよければ楽しいもん。

中国政府が北京オリンピックでナーバスになつてゐるもんだから、美人コンテストまでドーピング選手を排除しようと躍起になつてゐるんだ。ばかだね。美人コンテストはアマチュアスポーツの祭典じやないんだよ。

日本じゃK-1とかPRIDEとか異種格闘技戦全盛なんだぜ。ゲイボーイも、ばあさんも少女も……すべての人たちを参加させた何でもありの真の美女コンテスト……『美女K-1』。なら世界が熱狂するぜ。中国人のビジネスセンスってイマイチじやない。それともなんかい。人造美人は重量級だから軽量級の天然美人なんか目じやないって言うんかい？ 人造美人は無敵のターミネーター？

天然は善で人造は悪のイメージが漂うよね。当初、中国政府は対外的なイメージ失墜をおそれて、人造美女コンテスト開催に反対でした。独裁者の鄧小平や江沢民だったならコンテストは開催できなかつたでしょ。幸運なことに、今の中には独裁者はいないそうです。日本の自民党みたいな談合政治だそうです。人脉の豊富な中国医師会美容整形分会のボスたちは、交渉の末、期日を変更して開催できるようにしてしました。さて、肝心のコンテスト詳細は次項で！



## 続・中国・人造美女コンテスト

さて、前項の続き。まずは、中国人造美女コンテスト事務局からのメール。

「高須先生には十二月十七日に北京入りしていただき、我々は高須先生と随員と取材クルーのために歓迎ディナーを用意します。十八日のコンテスト用にリハーサルに参加してもらい、十八日は夕食会を催します。その後数日間、北京観光をお望みでしたら、それも準備します。北京に到着される時には空港に迎えに行きます。それからNHKの北京到着は十二月十五日にして下さい。コンテスト事務局が宿舎を準備します。十六日と十七日に出場者へのインタビューがあり、十八日が決戦です」

中国人は日本にはNHKと朝日新聞しかないと思ってるんだろうな。僕だって中国には人民日報とCCTV（中国中央電視台）しかないと思ってたんだから、お相子だな。誤解を解かなくつちや。

「私が連れて行く取材班はNHKではありません。民放の取材班です。何人を連れて行くかは未定ですが、少なくとも、優秀なカメラマンとプロデューサー二人をつれて行きます。それから日本知識層に一番読まれているオピニオン誌、新潮45の編集長と日本を代表するコミックジャーナ

ナリストを連れていきます。あともう一人。アジアをテーマにしたノンフィクションノベルで人気沸騰のノーベル賞級の大作家もついてきます」。……ほんとですたら。あの岩井志麻子先生が興味を示されて、急遽参加なさることになつたんです。

人造美女コンテスト組織委員会に、資料として最新号の新潮45を送ろうかとも考えましたが止めました。組織委員会は中国公安に監視されていて、自主的に腐敗分子を排除するからです。腐敗分子とは政府に盲従するひとたちを目覚めさせてしまう可能性のある人々です。同誌で岩井先生が連載中の「ドスケベ三都ものがたり」は名作ですが、行き過ぎた開放に歯止めをかけようとしている中国政府にとつて人民を堕落させる麻薬に見えることでしょう。脳内麻薬類似物質の分泌が快楽をつくることは大脳生理学の常識です。言葉や文章を操り、脳内に麻薬を分泌させて人民に快樂を与え、新たな価値観を作ろうとしている作家が体制の敵であることは明らかです。あ、「鬼道に仕え、よく衆を惑わす」って岩井先生のことじゃない?

さて、十一月十七日夕刻、高須VIP審査員一行北京空港着。中瀬、西原、岩井の威風堂々トリオと一緒にいる僕は随員みたい。<sup>董帆</sup>董帆君と組織委員会の送迎要員たちがお出迎え。花束贈呈要員は不自然な二重の整形美女。

ホテルに向かう車中で董帆が囁く。「ホテル着いたら高須先生歓迎大宴会するね。OK?」。

宴会場の床の間には山羊の頭や髑髏が飾つてある。今から始まるのは黒魔術の儀式かい? 中國美容整形分会のボスたちが到着。

大ボスが穏やかな笑顔で歓迎のスピーチ。随員たちは緊張の面持ち。なんか騒がしいな。あれ

れ！ 日本を代表するはずの四十歳セレブ三人組が自分たちだけの世界に入つてゐる。しかもアダルト談議の花盛り。これはテレパシーで語りかけてやめさせるしかない。

おいこら！ そこのおばはんたち！ スピーチ聞きなさい。このおつさん、偉くてやばい人なんだよ。軍服着てるだろ？ 現役の軍人だぜ。公安の黒幕で中国共産党员で軍医大学の教授で美容整形病院のオーナーなんだよ。中国美容整形のゴッドファーザー。歩く法律。

……僕のテレパシー、おばはんたちには全く効果なし。歓談また歓談。僕もう眠くなつてきた。ホテルに帰つていい？

しかし、大ボス曰く「高須先生は二次宴会に参加しなければならない。今夜中に人造美女の一位から三位までをわしらで決めよう」。

え～っ！ 決勝は明日じゃないの？ 今から決めちやうの？ インターネットで世界から投票してきた票の集計はどう扱うの？ これつて談合じゃないの？

てなわけで、明日の決戦出場者十九人の非公開コンテストが始まりました。最初は学歴、教養、思想についての口頭試問。一番人気は二十二歳の医科大学二年生。二重まぶた、お腹の脂肪吸引、頬の整形、ボトックス注射をしている吉林省の馬青さん。

「何故美容整形をしたのですか？」という間に「美容整形を受ける患者の気持ちを理解したからです」。いいねー。高須クリニック院長みたい。卒業したら高須クリニックで雇つてあげる。いい美容外科医になれますよ。

一番多かった答えは「美人になつて金儲けしたい」。

中国人造美女コンテスト入賞の3人。

真ん中が優勝者、左右が2、3位。

2004年12月北京にて。



美容整形は、欧米では功成り名を遂げた大金も  
ちたちや大女優が道楽で若さと美しさに磨きをか  
ける『おしゃれのアイテム』です。中国では貧し  
い人々の『金儲けのための武器』。

二番人気は性転換した“女性”。数十ヶ所を整  
形し、「整形的変身」カテゴリーでは最高得点。  
ボスが一言。「おかまを入れさせないこと。世界  
に配信されたら国辱なのだ。党は許さないだろ  
う」。おかまが第二次天安門事件の起爆剤？

逆だよ。胡錦濤主席。性転換を合法的に行い、  
戸籍まで女性に変更できるなんて、中華人民共和  
国は超リベラルじゃないか。プロテスタント原理  
主義のブッシュのアメリカよりずっと進歩的だよ。  
ここで度量を見せれば二十一世紀は中国の世紀な  
のにね。おばかさん。

三番人気は上海最大の美容整形病院推薦のモー  
ニング娘風人造美女。ボスもお気に入り。とりあ  
えずこれを一位に決めよう。メデタシメデタシ、

しゃんしゃん。

翌十二月十八日は人造美女コンテスト決勝。午後一時から開場なのに、朝八時からリハーサル。中国人同志たちは意外にタフ。会場のレッドホール（紅館）の外観は場末の映画館みたいなしおぼい建物。でも中身は豪華絢爛。紅白歌合戦に使うみたいなクレーン式のテレビカメラつきのスタジオ。一般人の入場は不可能。五百席の観客の半数はメディア。世界中から来てる。BBC、NBC、CNN、ABC、KBS、TBS、NHK……シンガポールテレビとかインドテレビとかが発展途上国も関心を持つてるんだ。僕の好きなアルジャジーラテレビは……来てないな。残念。残りの半数は美容整形病院の経営者と大会スポンサーの升席。冠スポンサーは中国のシリコンメーカー。董經理（社長）さん、精力絶倫タイプ。真っ赤な支那服着て得意そう。IBM買収したのもこのタイプの中国人かしら。いまにもシリコンバレーを占領しそうな勢い。

しかし、オープニング間際にになり、大問題が持ち上がりました。

中国公安の公正委員会から派遣されたお役人が人造美女選考委員会の不正を発見してしまったんだそうです。公正委員会のお役人は二人。色白ぼっちやりの、西原理恵子似の若いのと中年のキツネ目の女性。性転換人造美女は戸籍まで変えてあり、全てクリアしてあつたはずなのに、何が悪かつたんでしょう。昨夜の謀議が露見したかな？

答えは初步的なミスでした。コンテスト参加資格者は満十八歳以上と規定されていました。ボス推薦の優勝予定者のモーニング娘が十七歳だとばれてしまったのです。「出場する資格がない」と指導するお役人。「一番優れているんだ。例外を認めろ！」とこり押しするボス。

トーフを  
買ってきて  
しばらく  
木でいたが  
穴をあけて  
吸った。

ショーグもハシも  
えぎもかつぶしもなく  
そこまでしてトーフを  
食べたか、たんだね。

トーフを。



多彩な人脈を持つ、老猾なボスが勝ちました。小役人をねじふせ、参加を認めさせちゃつたんです。

モーニング娘と性転換娘には特別賞を授与することで話がまとまりました。中国は日本が二十年前にたどっていた道を、いま確実に歩んでいます。ゼネコンと政治家とお役人がつるんでいたって誰も文句は言わなかつたいい時代でしたね。これからジユリアナみたいなディスコに若者が集まり、ゴルフ場がいっぱい作られ、人民元が切り上げられ、消費が美德となり、景気が良くなり、整形ブームが起ころはすです。誰でも若く美しく金持ちになれる幻想を抱いていたよき時代……それからバブル崩壊。ちくしょう！ 日銀総裁の馬鹿！ 二十一世紀は日本の世紀のはずだったのに舵取り間違えやがつて！ 僕まで間違えちゃつたじやないか！ もう一度中国に生まれ変わつて再挑戦してみたい。バブル前の日本より今の中国のほうが条件がいい。所得税なんか誰も払わないし、だいたい相続税つてのが存在しないんだから。今度はどうじらないからね。

VIP審査員席にいるものだから偉い人と間違えられ、世界中のメディアに質問攻め。「中国の整形レベルは高いですか？」「日本では整形丸出しの中国的な不自然な美容外科手術は過去のものです。一般人に溶け込んでそれを悟られないのが一流の整形です。かく言う私も數十ヶ所の美容整形を自分自身に行っています。どうだ驚いたか」。

ようやく中国人造美女コンテスト終了。二〇〇六年は上海でやるつて。あー疲れた。こんなばかなお遊びに付き合つたって、僕の技術が向上するわけじやなし、日本に帰つて真面目に仕事しなくつちや。

帰国早々、TIME誌の記者から電話。「コミックアーティスト特集で、あなたの友人西原理恵子さんを日本を代表する漫画家としてとりあげることになりました。西原さんの魅力について語つてください」。わかりました。一気にしゃべりますよ。記者さん良く聞いてね。

「毛沢東は偉いですよ。マルクスの言葉を借りて『宗教は阿片だ!』って言いましたからね。僕はサイバラ漫画にはまつて、阿片みたいな教祖様にお仕えします。サイバラ教の経典読むときは至福のとき。阿片ってこんなに楽しいの!って感じですよ。そもそも高須家は阿片と縁が深いんです。薬草園で阿片を作っていた高須家の先祖。阿片チンキとコカイン点鼻薬の処方の好きな祖母。政府公認で覚醒剤が市販されていた時代、大陸でモルヒネ使いの名軍医として名を馳せた大叔父。当時は合法だったんですね。サイバラ画伯は真っ赤に咲く芥子の花なんですよ。『私が稼いだ金は私のもの、それをもつてくやつはドロボージayan』は富裕者たちにとつての真言。

ジョン・レノンだってチエ・ゲバラだって反体制の毒を持つてたけど、サイバラの毒には負ける。誰でも倒せる、熊をも倒す猛毒といえば鳥兜<sup>ブヌ</sup>。サイバラの財産管理会社は鳥頭。バス<sup>II</sup>トリカブト<sup>II</sup>トリアタマカ! サイバラ教祖はバスの壁で世界を変えようとしているんですよ』。ん? 記者さん聞いてるの? あ! 電話切れてる! 薬物中毒の危ない医者と誤解されたな。

## 「光抱く男」

内館牧子（脚本家）

高須克弥と七人の友人  
内館牧子（脚本家）  
「光抱く男」

齢とのはざまで、心理的齟齬があるのではないかということだ。鏡を見るたびに目に入るのは、美しい若い自分。それは嬉しい。だが、生来の自分は美しくなく、実年齢も若くはない。それは常に意識下にあろう。となるとやがて、嬉しさよりも心理的にギクシャクしてくるのではなかいか。私はそこを知りたくて、対談のゲストに高須克弥先生にいらして頂いた。

彼らの施術を受けようとする人の心理にも、まったく興味がない。

ただ一点だけ、強く関心を持つていることがあった。それは施術を受けて美しくなったり、若くなったりした時、ずっとつきあってきた生来の容姿や実年

齢とのはざまで、心理的齟齬があるのではないかということだ。鏡を見るたびに目に入るのは、美しい若い自分。それは嬉しい。だが、生来の自分は美しくなく、実年齢も若くはない。それは常に意識下にあろう。となるとやがて、嬉しさよりも心理的にギクシャクしてくるのではなかいか。私はそこを知りたくて、対談のゲストに高須克弥先生にいらして頂いた。

初めてお会いする高須先生の、何に圧倒されたかといつて、考え方方に「闇」がないことである。え方に「闇」がないことである。心も眼ざしも、常に「光」の方角を向いており、どんな話題になつても絶対にブレない。そこには仕事に対する強靭な信念と、

このまばゆいばかりの光をごく自然に抱く生き方は、誰も真似できないと思った。「高須天皇」と呼ばれるほど裕福な生家によつて、静かにゆっくりと醸された気質ではなかろうか。

私の懸案の質問に、高須先生は、

「そりや齟齬はありますよ。僕は六十代なのに、見た目が三十九代でしょ。みんなゴルフを二ラウンドやろうって誘う。こういう時、本当に体がついていかないですよね」

と大まじめにおっしゃった。

微塵も陰気さのない答に、私はこの「光抱く男」をとてもすてきだと思った。とても好きだと思った。

強烈な矜持を感じる。と同時に、

壁  
攻略

STAGE  
3

ブスは  
進化した  
人類である



## 一重まぶた手術が流行る!?

忙しい仕事のさなか、西原理恵子画伯からのファックスが届く。なになに。「TIMEに私の記事が載ったんだけど、英語で書いてあるから読めないよ。かつちゃん、これ翻訳して、すぐに私の自宅に送り返すこと」

送られてきた記事、字が小さくてよく読めない。歪んでプリントされた上に活字が滲んでる。まったく、雑なんだから……。ま、いいか。ロゼッタストーンの解読だと思えばいいんだ。要約を早く作るのが論文書くときのコツだよ。

イントロ「西原のイラスト能力は、ぱっと見、六歳児のようにも見える」  
「そうだそうだ！」

「しかし彼女の作品は、写真なども盛り込んで、現実の世界へ読者を誘い込む。またコメントは酷く辛辣である。フィクションの登場人物は社会的地位のないロクデナシの人々である。ノンフィクションの登場人物は彼女の友人、家族、彼女自身であるが、その人たちも決して善良な人たちではない」

例外はないんかい！ 僕も登場しとるんだけどな。まちがつとるぜ記者さん。外見はろくでな

しでも根は善良なんだよ。西原はそこのところの描写が天才的なんだぜ。

「西原は美術学校では劣等生だつた」

そうかもしれない。高校でちゃんと英語の授業聞いていれば、大学卒業したギャグ漫画の大先生が忙しい開業医に翻訳頼むわけないもんね。僕の時代は高校入試でタイムやライフの記事が出題されたよ。ごめん……美術学校の優等生は語学なんか関係ないんだつた。

「生計を立てるために、ポルノ雑誌に投稿していた。下手な絵を埋め合わせる、西原のユーモアにあふれたコメントに大出版社が興味を示し、大学三年で漫画家としてのデビューをはたし、自分独自の領域を築いていった」

天才じやん！ ビル・ゲイツは、さっさと退学してマイクロソフト社を設立したんだぜ。ライブドアの社長だつて中退じやん。欲の深いやつは学校で勉強してる時間も惜しんでビジネスやるんだよ。でも、あなたは真面目に卒業したのね。優等生じやん！ 前言取り消し、陳謝陳謝。

「西原いわく『絵の上手な人はプライドが高すぎて何もできないのよ。多くは貧乏画家をまだやつてるわ』」

僕は西原画伯の逆。時代の波に乗り損ね大コケした漫画家くずれの開業医、尊敬の対象外に位置する美容整形の華岡青洲。僕は子供のころ、あなたより字もちゃんと書けたし、漫画も上手だつたんだぜ。でも、プライドが高すぎて、貧乏漫画家にすらなりそこねたんだ。ほんとは今から漫画家デビューしたつていいんだけどね。金持ちの売れっ子漫画家に嘲笑される屈辱に耐えるには、やっぱりプライドが邪魔だな。

還暦をすぎてやつとわかつてきた。祖母が「手本にしなさい」と僕に刷り込んだ偉人つて、みんなろくな奴じやなかつた。時代の波に要領よく乗れたサーファーの典型が野口英世。苦学し、要領よく開業医試験に合格し、ロックフェラー研究所の研究員に潜り込み、研究所の権威をバツクに世界的な『大発見』を次々と発表。一躍偉人に。現在その『発見』の大部分は間違いだつたと判明してしまい、いまや世界の医学界では忘れられた存在。今では医学部の授業で野口の業績が講義されることはないんだよ。

でも新千円札になり、偉人の仲間入り。どんな発見をしたかは知らないけれど、子供のころから野口英世が偉い人だと教えられて育った子供が財務省の偉い人になってしまったことによる間違いに違いない。「政府の偉い人がお札にしてもいいくらいの偉い人だつて決めたんだから偉い人に決まつてるでしょう」だつて？

神功皇后や藤原鎌足はどうしちゃつたの？ 聖徳太子は？ おいこら、日本の役人。ころころ変えるなよ。偉い人つて財務省が勝手に決めていいのかね。勲章もらつたから偉い人？ ノーベル賞もらつたら偉い人なの？ ニトログリセリンを珪藻土にしみこませてダイナマイトつくるアイデアで財を成したノーベル氏つて、ろくなもんじやないつて考えるのは僕だけかな？

本当の偉人つて、その人の生きている時代に成功することは稀なんじやないかしら。日本では偉い人は神様になるんだよね。偉い神様ほど時代の波に乗り損ねて派手に転覆した人々。神田明神の平将門、太宰府天満宮の菅原道真なんかその典型じやないか。日本の神様は氣の毒な方々。僕は心を込めて参拝します。「あなたの方の犠牲のおかげで僕たちは繁栄しています。ありがとうございます」

つて。

憂國の歌人、ささきみひと 笹公人君。小学六年生に和歌の講義をしてるんだって？ 子供たちに本当の偉人とは誰か教えてやつてね。

美しい和歌が詠めれば、魅力的な日本人になれるんだよ。光源氏のような公達を魅惑したのは和歌の教養だぜ。公達の逢瀬は真つ暗な帳とぼりの中。教養あるバスの天国。教養あるバスつて大好き。話は面白いし、僕と気持ちが通じるし、お金もくれるんだもん。

西原画伯にTIMEの翻訳ファックスしている僕に取材電話。

「フジテレビの“とくダネ！”っていう番組なんですけど、韓国のノムヒヨン大統領がこのたび受けた二重まぶたの美容整形手術についてコメントいただきたいんですけど……」

そんなのがトクダネかね。一番偉いはずの大統領が次の時代の政治犯にされちゃうのが伝統の韓国だけど、いま実権を握っている大統領のニュースは韓国で好意的に報道されるに決まってるじゃん。でも日本じゃ報道規制はないはずだから、僕のコメントはそのまま報道される可能性大。フジテレビの記者君。違うよ。ノムヒヨン大統領は二重まぶたの手術なんかしていないよ。自分の患者の秘密をペラペラしゃべっちゃいけないのは知ってるよね。医者の守秘義務っていうんだ。でも僕は大統領の主治医じゃないんだから何でも教えちやう。日韓の相互理解のためならひと肌もふた肌も脱いじやうからね。韓国の美容整形裏事情なら何でも知ってるんだから。

韓国の美容外科学会も日本と同様、二派に分かれて抗争をくりひろげています。僕はその片方、事業的成功をおさめた開業医が多く所属する、大韓美容外科学会の第一号の名誉会員なんです。

大韓美容外科学会の創設者、朴萬龍先生は三十年以上前から日本美容外科学会の正会員で僕の同志。朴先生が組織した『高須クリニック研修ツアー』に参加した韓国の美容外科医たちが中核になつて大韓美容外科学会が創設されたんです。韓国美容外科業界の中核にいる、僕の生徒さんたちとの交流は今も続いています。ホラじやないよ！ 二〇〇五年の大韓美容外科学会は日本で開かれる。しかも高須クリニックのある赤坂で開くんだから……あ、自慢話ばかりしてると品性が下劣になるね。もうやめよう。

ノムヒヨン大統領の手術についてだつたよね。彼は二重まぶたの手術を受けたんじゃないよ。まぶたが重くて垂れ下がる『眼瞼下垂』の治療手術をしたんだ。まぶたが下がつて重くなると額の前頭筋を使つて眉を持ち上げて目を見開こうとします。何度も繰り返しているうちに額に深いしわが刻まれるようになります。『ボトックス』は前頭筋を弛緩させてしわをとる注射です。ボトックスが良く効くと眉とまぶたが下がつたままになつて非常に不自由です。ノムヒヨン大統領はボトックス注射しすぎて下がつてしまつたまぶたを矯正する目的で持ち上げる眼瞼下垂の手術を行つた結果、まぶたの皮膚が畳み込まれて二重になつてしまつただけなんだつて。

韓国の友人たちや僕たちは人種的には黄色人種モンゴロイドに属しています。モンゴロイドは構造的に眼瞼下垂になりやすいのです。僕たちの先祖は蒙古の大地を駆け回つていたにちがいありません。証拠に、ゴビ砂漠の砂嵐でも眼球が傷つかないよう、まぶたにたっぷり脂肪を蓄積し、目頭に蒙古襞（モンゴリアンホールド）があり、防塵眼鏡のような細い目をした人々が多いのです。ジンギスカンがヨーロッパ人をさんざん懲らしめて大帝国を造つてくれたおかげでヨーロッ

克<sup>かく</sup>、ちやん口<sup>ロシヤ</sup>で  
食<sup>エ</sup>毎<sup>メイ</sup>食<sup>エ</sup>

ボルシチとピロシキ

汁<sup>ス</sup>す<sup>ッ</sup>パン一氣<sup>イチキ</sup>食<sup>エ</sup>

して五分<sup>ゴン</sup>でおしまー。

「キミも早く食え。」

金額<sup>カネ</sup>で楽<sup>ラク</sup>しんでやる。  
食事<sup>エシ</sup>を樂<sup>ラク</sup>しなが

「ベルサキヤア大<sup>オ</sup>」「  
五分<sup>ゴン</sup>で食<sup>エ</sup>た<sup>セ</sup>。」  
くん<sup>ギリ</sup>みたく  
もりもり食<sup>エ</sup>た<sup>セ</sup>。」



パ人はモンゴロイドの目を畏怖します。

近代は西欧列強による植民地支配の時代でした。白人（コーカソイド）が美の世界を牛耳つていきました。彼らのおかげで、脂肪の少ない蒙古襞のない切れ長の二重まぶたが美人の条件になってしまったのです。

モンゴロイドの美しい目は一重で脂肪のたっぷりついた、蒙古襞のある目です。日本列島の住人たちと朝鮮半島の住人たちはもともと同じ人種であり、同じ美的価値観を持つていました。縄文時代の土偶や弥生時代の埴輪、韓国の古代の絵画や彫刻に見られる美しい一重まぶた。これが僕たちの祖先が愛でた美しい目でした。

この原稿、新幹線の電気盗みながらパソコンで打つてゐるんだけど、隣に座つてゐるコーカソイドの乗客が読んでゐる英文雑誌が面白そう。ひと休みして、盗み読みしちゃおう。なになに「アメリカ大統領、ワシントン、ジェファーソン、リンカーン、ルーズベルトの巨像が山肌に刻まれているマウント・ラシュモアは元々アメリカ政府と不可侵条約を結んで保護されるはずだつたアメリカインディアンの聖地だつた」んだって。「インディアンの子孫たちが怒つてる」んだって。わかる、わかる。僕だって熊野にトルーマンの巨像彫つたら怒りますよ。「インディアンの子孫たちはアメリカ大統領より大きな、カスター将軍を破つた大酋長・クレージー・ホースの巨像をつくる運動をしてゐる」。

グラビア写真に撮られた大酋長の顔はすでに完成していました。蒙古襞のあるきれいな一重まぶた。凜々しくてハンサム。かつこいいぜ大酋長！

そうだ。アメリカインディアンもモンゴロイドだった。がんばれ少数民族。ささやかながら政  
治献金するぜ。遠慮なく僕に言いなさい。きみたちの目が美の基準になれば、二重を一重にする  
手術が欧米で流行するだろう。一重まぶたのメックの日本は美人ばかり。世界中でもてもて。一  
重まぶたにしたい患者が世界中から高須クリニックにやってくる。不況にあえぐ日本美容外科業  
界にとつても神風になるに違いない。



## ある僕の一 日

久しぶりの休日。今日は僕が高須クリニックに出勤しなくてもいい日。僕に雇われた勤務医と従業員だけが労働する日。こんな日が一ヶ月に一日ほどつくつてあります。働いてばかりじや死んじやうもんね。

今日は資本家だぜ。自分は肉体労働しないで、労働者から搾取する。これぞ資本主義経営者の醍醐味。

この古典的資本主義ビジネスモデルは高須クリニックでは成功しませんでした。高須クリニック創設の三十年前から、僕以外の勤務医（いま十人以上いるんじゃないかな？）の全員の手術件数より僕一人の手術件数のほうが多いんです。僕がみんなを食わせてるんです。僕が一番の労働者。

西原画伯がおっしゃいました、「かつちやんはアレクサンダー大王みたいね」。もちろんまともに聞いて喜んでた訳じやないよ。毒舌家の画伯が僕のことほめるわけないじやん。兵隊の先頭に立つて突撃する大王様なんて、未開部族の酋長みたいじやないかってことでしょ？ 文明的な大王様は後方から大軍団を指揮するのが普通だってことでしょ？

兵士が疲れきつて「もう休みましょうよ大王様」つてお願いしとるのに、「ついてこーい！逃亡したら処刑するぞー」つて、先頭切つて突撃しちやうんだから……こんなの嫌われるよね？

最近見た映画では、アレクサンダー大王、最後に毒を盛られて暗殺されちゃった。

かつちやん大王が留守の高須クリニックでは従業員たちが「會長の留守の間に命の洗濯」つてリラックスしてるとちやうやろか？ 従業員たちは「休日つて予定が組んであるんだから、院長先生羽を伸ばして余生をエンジョイしてるんだろうな？」と誤解してると思う。

前にも書いたけど、しつこく言います。僕、ほんとに休日が無いんです。

婦長がつくった現場のスケジュール表には「休日」つて書いてあるけど、秘書がつくった別のスケジュール表には「取材日」つて書いてある。広報担当の永峰君が組んだメディアのインタビューが朝から三件。

「一番目の取材は？」「全日空ホテルで内館牧子様との対談でございます」。そよう以前サイバラが、どつかのパーティで内館先生に声かけてもらつたつて喜んでいたよな。横綱審議委員じやなかつたつけ？ えらいひとなんだつてね。

ちなみに二番目が格闘技の「週刊ゴング」。三番目がアダルト専門の「アブカ」。

一番目が一番緊張するな。「どうもお待たせしました。高須でございます」。

これがサイバラが一目置く偉い先生？ わあ！ 僕好みのすてきな女性。僕はお金持ちの教養のあるおばさまに弱いんだよ。

「内館でございます。先生、ちょっとお顔さわらせていただいてよろしいでしょか」「は？

高須克也のカバンのしおりとねらい所  
移動したら高須克也は「バグ」と云う所  
すべてをつめていよいよ。

重要  
バッグの中身は着がえと  
じじくさい葉だらけ。  
中はねらうべからず。

重要書類は  
外ポケットにアサ芸  
しかも本人もしょっちゅう  
アサ芸と一緒にしょっちゅう  
かり捨てする  
カバンだ。

国税大臣。ココ!!



どうぞ」僕の頬をぴちゃぴちゃ叩いて、つまんで、ひっぱつて、鑑定。お付きの人たちが固唾

を飲んで見守る。こつ怖いよー。まるで「なんでも鑑定団」みたいじやん。

内館先生、お手やわらかにお願いしますよ。「残念ながら真っ赤な偽物です」って言わないでね。

「すつごーい！ ツルツル、ピンピン、桜色……うー……六十歳なんでしょう？」

「はい。すいません」

「おなかもさわっていいかしら？」

まるで人妻ヌードの天才アラーキーみたいですね。興奮して来ましたよ。全部脱ぎなさいって言われたら断る自信ないな。こんなふうにして最後まで脱がされちゃうんだろうか？

「すごい。……ホントにペっちゃんこ。あの、大変不躾ですが、スタッフもさわりたがって、あのように遠巻きに見ているのですが……」

あ、僕マワされちゃうのね。もうどうなつたつていいの。めちゃくちやにして。

「すてき」とか「三十代のよう」という贅辞が心地よい。ほめ殺しね。いいわよ。高須克弥、六十歳、脱がせていただきますわ！

内館先生ったら、ほんと人にたらしの名人。「『ブスの壁』読んでますよ。今日は高須先生の著書『バカにつける薬』持参しましたのよ。サインしてくださいます?」。いいんですか？先生がよいしょしている出版物の制作会社は、今日僕たちの対談を取材している出版社と仲悪いって聞きましたけど、大丈夫なんですか？

太っ腹ですねー。大好き、内館牧子先生。品性と知性と強さと可愛らしさが同居してますなー。ユーモアも一流。日本美人の横綱に推挙します。国宝級の芸術作品です。国宝のメンテナンスは高須クリニックにお任せくださいね。

……というわけで、ようやく三つの取材をこなし、漫画喫茶で休息。僕あてのメールをチェック。原稿依頼は来てないかな？

西原画伯いわく「かつちやんみたいなのを『鉛筆乞食』って言うんだよ。ちつちやな仕事をコツコツ拾つて生きてる貧乏人」。画伯、そりゃ昔のあなたのことじゃござんせんか？

鉛筆乞食で結構。いまに見返してやるからね。僕だってあなたみたいに『短く持つてコツコツあてる』を繰り返しているうちに、大ホームランをかつとばすかも知れんじやないか！ 近い将来『バスの壁』が『バカの壁』より売れるかも知れんじやないか！

キヤー！ あつあつ、原稿依頼が。映画配給会社だつて。なになに。

「映画『ヘアスタイル』パンフレットに載せる原稿、千五百字ほど、明後日までにFAXもしくは下記メールアドレスまでご返信願えますでしょーか？ 詳細は下記に記させていただきました」

見てない映画の推薦文かね。健康食品や瘦身器具なら詐欺だぜ。もつたいないけど無視しちゃおうかな。とりあえず詳細なるものは……と、フムフム。

「『ヘアスタイル』とは『下妻物語』の監督・中島哲也が企画・プロデュースした映画で、三話オムニバス形式の構成になつております。主演の浅見れいなが（おさげ、アフロ、マッシュと）髪型を変え一人三役を演じています。

テーマは「ストップ THE 自分探し」となつております、一人三役で三者三様の髪型、ファン、性格、人生を描くことにより別々の三人の女の子の憧れなのか、実はひとりの女の子の心の物語か人生なのか、というように展開してゆきます。最終的には生まれて今ここに存在して自分なりに生きていれば、それが既に自分自身だという事を観ていただく方に伝えたいと考えております」

うん、わかった。すぐに原稿書いてメールするね。で、これをそのまま新潮45の原稿に流用しちゃおうっと！

鉛筆乞食の必殺技だぜい。

「自分探し」がテーマの映画だつて？ 探したつてだめだよ。自分は刻々姿を変えるんだから捕まえられないよ。エイズのウイルスみたいなもんだよ。探すなんて無理無理。

だいたい人間は外見を変化させると内面が変わってしまうものなんだ。例をあげてみよう。やさしいお父さんが軍服を着せられて戦場に駆り出されると、凶暴な兵士に変身してしまうんだよ。

模範生の女子高生のお姉さんもタトゥーをすることで瞬時に不良少女に変身しちゃうのは知ってるね。

やさしいお父さんと凶暴な兵士はどちらが本当なんでしょうか？　お姉さんは模範生？　それとも不良が本質？　両方とも同じ人なんだよ。外見を変えることで内面が変化しただけなんだよ。どのタイプの人人が好まれるかは時代により異なるけどね。

管理社会は好まれるタイプを量産する社会。外見を画一化させることで内面の画一化を図つて、人間を型にはめて育てました。髪型と服装の画一化は人格を画一化させます。

豊かになり、自由の素晴らしさに目覚めると、同じ生活パターンに飽きた人々は変化を求めるようになるものです。チチ整形ブームは外面の変化をつくることで変身願望を満たそうとする人々によつてつくられました。日本は変化を求める社会になりつつあります。

美容整形の患者さんは『サーチ・オブ・ハピネス』とよばれます。若さや美しさを求め、幸せを手に入れようとするからです。美容整形は『幸福医学』ともよばれます。昔は美容整形する患者さんは『青い鳥症候群』ともよばれていきました。『青い鳥』の物語は知っていますね？　チルチル、ミチルが『幸福の青い鳥』をさがして大冒険をするのですが、本当の青い鳥は出発した自分の家にあつたことを悟る物語です。変化を恐れた時代の童話作家は「今ままが一番。冒険なんかするもんじやない」って教訓を垂れたかったんでしょうね。

映画『ヘアスタイル』は明らかに美容整形患者さんの予備軍のために描かれた作品のように思えます。『ストップ THE 自分探し』っていうテーマだとも聞きました。……ということは昔の

青い鳥症候群の患者さんたちの話かしら？ メーテルリンクはカビが生えますよ。変身したら幸せにならなくっちゃいけませんよ。おかげ、アフロ、マッシュと髪型を変えた浅見れいなさんが演じているキャラクターの幸せを祈る高須クリニックの院長。できることならスキンヘッドとモヒカン刈りのパターンも追加してもらいたかったな。

僕なんか学生時代はイガグリ頭の空手馬鹿。青年時代はパンチパーマの強面ぴんから兄弟。還暦過ぎてからはライブドアヘアにスペスペお肌の美容外科医「イエス・高須クリニック」。次に目指しているのは童顔の漫画家ですよ。西原理恵子さんは一日に五回も変身します。変身は精一杯エンジョイしたらいいんです。いま変身している最中で忙しいんです。冗談じやありませんよ！ 本当なんだから。

忙しくても「ヘアスタイル」は必ず観に行きます。楽しみだなあ……とここまで書いて千五百字。鉛筆乞食に原稿料いくらくれるのかな？



## 美容医学における文明の衝突

欧米人が美人の基準を独占している現状は勃興するアジアの美容整形産業の発展にとつて良い環境とは言えません。アジアの美容外科医たちのマーケットを拡大させるにはアジア人の美しさを認めさせ、アジア人のように美しくなりたい人たちを増加させる必要があります。アジア人に憧れる欧米人が増加し、ドルやユーロを消費する患者がいっぱいきてくれるのがアジアの美容外科医の夢なんです。

過去に欧米で学んだ美容外科医は白人のコピーをつくるような整形が好きですが、今ではコピー一大好き美容外科医は人気がなくなり、そういうクリニックには閑古鳥が鳴っています。人種的特性を消去していく整形はマイケル・ジャクソンみたいに不気味な印象を与えるので嫌われ始めたわけです。

「人種的特性を生かした整形でなければ自然な美をつくりだすことは不可能」の結論は三十三年間美容外科手術を研究して得た僕の信念でもあります。美味しい料理は素材を生かしているじゃないありませんか。無国籍料理って不味いと思いませんか？

黄色いすべすべ肌やサラサラの黒髪、扁平で優美な顔立ち……日本で「ブス」と差別されてい

る人々はアジアの伝統的美人なんです。以前も述べましたが、東洋の美は西洋の美と基準が違います。文明の衝突は美容外科の世界でも起こっているわけです。

欧米の美の基準を破壊し、新しい基準を確立すべく、二〇〇二年に設立した東方美容外科学会（十七頁参照）。第一回開催国は中国。上海で二〇〇三年に開かれた学会には中国、台湾、韓国、インド、ベトナム、タイ、インドネシア、ロシア、日本などの指導的美容外科医が参加しました。二〇〇四年にソウルで開かれた第二回東方美容外科学会は韓流美容整形ブームの影響もあって、前回にも増して大盛況。問題が起きたのは学会後行われた戦略会議。

企画委員長の僕がおごそかに宣言。「次回の第三回東方美容外科学会は台湾・台北で開こうと思います。異議はありませんか？」。シーン！　しばらく静寂があつて……「異議ありますアルよ！」だれだ？　闇の支配者かつちゃんにたてつくやつは!?　抹殺してやる。あれれ！　なんだ、上海の曹猛君先生じゃないか。僕と組んで世界を制覇しようって夢を語り合った我が盟友じやないの。一体どうしたんだい？

「わたしたち中国の医者たちは、中国を代表して参加しています」。そうだつたね。中華人民共和国の美容外科学会は国家の機関。バスポートも中国政府に従順なひとたちにのみ発行されるんだつたね。

「台湾は国ではありません。高須先生の発言を訂正してください。中華人民共和国・台湾省・台北が正式名称です。訂正してくれるなら、高須先生の提案を受諾するかどうか政府に問い合わせます」

今度はそれを聞いた若い台湾人メンバーが激怒。

「台湾はパチカンも認める独立国です。失礼なこと言うな！」

熱くなるな若者。きみは鄭先生だつたね。おぼえてる。愛国者だね。たしか本省人だつたね。数年前に亡くなつた、あなたの師匠の外省人、王教授だつたらきつとこう言うんじゃないかしら。「間違つてるのはお前のほうだ。中華民国は不滅だ。もうすぐ国民党が本土を回復するぞ。共産党ゲリラども！」

会議は紛糾。で、結局、日本で行うことで決着。誰とも争わない全方位外交の日本は便利な国なのだ。

僕は日本人だということだけで暖かい環境に囲まれる特権をもつていました。特に中国、韓国は治安もよく、ゲリラもない良い国でした。

……が、このときから半年たつて、日本を取り巻く環境は大激変。いまや日本が中国、韓国から一番嫌われているように見えます。領土、教科書、靖国神社……つぎつぎと因縁をつけられているようにも見えます。反日暴動で小泉首相人形は何度も火葬されました。日章旗も燃やされました。日本の美容外科医も燃やされちゃうんだろか？ 二〇〇五年十一月には東方美容外科学会を東京で開催するんだよ。心配になってきた。早速情報収集しなくつちや。

そうだ、高須クリニックが雇っている各国のスペイ・ゾルゲ達から情報もらおう。まずは上海の董帆ドンファン先生に電話。「大丈夫。暴動シンパイないアルね。政府、本気で取り締まりしてると阿尔よ」。中国政府の取り締まりつて半端じやないもんね。法輪功だつて壊滅させちゃつたしね。さらに董

今週またもや  
自分の顔を  
大実験台にして  
する手術だ。  
何とやうな穴を  
自分で自分の顔に  
つける。あつて  
うんぬんうんうん  
もしりはんめん

サイシタキニン  
カシタキニン



帆談「ほんどの中国人、日本の教科書読まない。靖国神社何だか知らないアルね」。

では韓国は？ 親高須派の大韓美容外科学会幹部談。「一部の人か反日を叫んでいますか、私たちは日本が大好きです。十一月の大韓美容外科学会は東方美容外科学会と合同で東京で行います。よろしくお願ひします」。

なんだあ、大丈夫そうじやないか！ よかったニダ。東方美容外科学会は盛況に違いない。

連日、反日デモが報道されているのが嘘みたいに、中国、韓国から参加申し込みが次々に届く。ロシアからの参加申し込みも増加してる。え!? ロシアってアジアだつたつけ？ 東方美容外科学会に参加資格があるのかな？ いやいや、たしか東方美容外科学会創設したときに定義を決めたな？ 中東、中近東、極東、みんな仲間にしちゃえ！ って作つたんだよね。東方正教会だつてロシアが最大勢力だつたよね。仲間だ、仲間だ。問題なし。

モスクワのヴィシュネフスキイ医科大学のアダミアン教授から親書。「東方美容外科学会の趣旨に賛同します。ロシアは美容外科技術大国です。あなたにロシア医科学アカデミー（Russian Academy of Medical Sciences）が誇る、世界の誰も見たことの無い手術を見せてあげようと思います。モスクワで待っています」。知つてますよ、アダミアン教授。脂肪吸引手術もケミカルピーリングもフェイスリフトも……いま僕たちが最先端技術だと思つて行つてている手術の大半はスターリン時代にすでに完成していたんだつてね。

日本は大東亜戦争に負けて以来、アメリカの属州みたいになつちやつたもんだからロシアのことを発展途上国みたいに誤解しているけど、僕は間違つてると思う。一九六九年にアポロ十一号

が月面に軟着陸するまでは、ソヴィエト社会主義共和国連邦の科学技術が世界一だつてアメリカを含めた世界中が信じていたんだぜ。そのアポロ十一号だって、ほんとは月に行つてないんじやないかと僕は疑っています。

当時のロシアは疑いも無く、世界最先端の科学技術を保持していました。アポロ計画についてソ連科学アカデミーを代表してボリス・ペドロフ教授は当時こんなコメントをしています。「ソヴィエト・ロシアなら人間を月に着陸させる前、自動的な無人宇宙船を月面に着陸させ、それを無事に地球へ連れ戻す実験をします。このような手順を踏まずに、いきなり人間を月に送ることは危険であると思います」。

そうだ！ ペドロフ教授。あなたは百パーセント正しい。

そもそもアメリカ人はスタンドブレイが大好き。結果オーライなら何でもあり。でも科学はギヤンブルじやないんだよ。医学だつて同じ。基礎から着実に積み上げてピラミッドをつくるのが正統派なんだ。確固たる基礎研究の下に出来上がった業績は普遍的なものだから、何度も繰り返し演算ができるはずだよね。

しかもアメリカ美容外科学会はホラ吹きがいっぱい。「繰り返せない世紀の大発明手術」のオンパレード。いつも業績を発表していないと研究に投資するスポンサーが逃げちゃうからなんだろうね。

そのアメリカ美容外科学会の現在の最大テーマは「アンチ・エイジング（抗老化療法）」です。奇しくもロシアはアンチ・エイジングの先進国なんです。社会主義国家の独裁者の願いは例外

フルーツ酸を使った新しいケミカルピーリングを実演。左はミス・フランス！  
2003年2月、パリ・アンチ・エイジング学会にて。



なく不老長寿です。歴代のソ連の指導者の庇護の下、すばらしい研究が行われていました。その成果が国民のためではなく、一部の特権階級のために使われたのは当然のことです。

社会主義経済の軛くびきから解き放たれたロシア人たちは金儲けが大好きです。軍事機密だつてビジネスの対象。金さえ払えばミサイルも原爆も売ってくれるそうです。門外不出のアンチ・エイジング技術だつて手に入るんだ！ ラッキー！

門外不出のアンチ・エイジング技術を購入するのは、僕にとって二度目の挑戦であります。僕が三十年前、故郷の愛知県で高須病院を開業したばかりのころ、ルーマニアで抗老化医療で有名だったアンナ・アスラン博士から若返りのノウハウを買ったことがあります。アスラン博士はルーマニアの厚生大臣をしていましたこともある、政治力のある科学者でした。顧客は当時の大政治家たち。さらしちゃおう。アスラン博士から直接聞いたんだよ。毛沢東主席に、スカルノ大統領、マル

コス大統領にエトセトラ……ほかにもまだ生きてる人もいる。そういうえば、最近日本では個人情報保護法つてのができたね。やばい。これ以上はしゃべらないからね！

かくいう僕も、日本政府が認可してない薬を使うため、合弁でフィリピンのマニラホテルの中に抗老化療法クリニックを開設したことがありました。日本の政治家や財界人たちもやってきて、ビジネスは大成功。でも当時のフィリピンは外貨持ち出しが制限されていました。そんなこんなで配当も受け取らないうちに、クリニックの後ろ盾だったマルコス大統領はアメリカに亡命。クリニックはあえなく解散。ビジネス大失敗……。

こんどこそ、うまくやらなくっちゃや。とりあえずロシアに行こうっと。

ロシアに出発する間際になつて、西原画伯からのお電話。

「赤の広場でエプロンおばさんのコスプレ写真撮りたいから連れて行け。ロシアのおまわりにつかまらないよう手配も頼むからな」

そういえば、「毎日かあさん」の単行本に石原都知事の横で舌出した写真が載つてましたね。いいかげんにしなさい。ブーチン大統領のうしろでベロだしして当局に連行されても助けてあげないからねー。



## 進化し続けるロシアンリフト

今日は東京高須クリニックでは院長執刀の若返り手術日。

患者はほとんど外国人。国籍は韓国、中国、フィリピン、アラブ首長国連邦のお金持ち。

若いとき我武者羅に働いていた人たちには、一定の年齢に達し、体力に限界を感じはじめると引き受ける仕事を選ぶようになります。

サイバラ画伯は瀬戸内寂聴の後釜をねらっていますが、僕はブラジルの名医、イボ・ピタンギ先生の後釜を狙つてゐるんです。いずれもおいしいポジションです。

瀬戸内寂聴も天才美容外科医イボ・ピタンギも一種のカリスマです。カリスマは生きている人間ブランド。ブランドって、本当は怪しげなものじゃないかな？と僕は考えます。つまらないものを高級品に化けさせてしまうのがブランド力というものではないかしら。

禅宗の偉い老師がポケてくると、何を口走つても、若い僧侶たちに感銘をあたえます。僕の友人の大富豪は膝の破れたブランドもののジーパンが大好き。高いのになると何百万円もするんだつていばつてる！ばつかじやないの。

美容整形の世界にもブランドがあります。

三十三年前、僕が青二才美容外科医だったころ、東京の十仁病院が有名でした。手術料はとても高く、当時のお金持ちやスター御用達の美容整形でした。当時中華民国や韓国、南ベトナム、インドネシアのお金持ちの患者さんの夢は日本で最高級の美容整形を受けることでした。

その中には、ほんとうのお金持ちではないけれど、小金をためてパリやローマのブランドショップに出かけてゆく日本の女性たちみたいな人達もいっぱいいました。

このタイプの患者さんの会話。

「マダム・ヤン。美人になつたね。どこで整形してきたアルか？」

「十仁病院アルよ」

「おー！ それ有名な立派な病院アルね。さすが一流の病院。すてきアルね。うらやましいアルよ」

この患者さん、実は半額の料金で、当時の高須クリニックで手術受けたんです。  
そうなんです。僕、十仁病院の手術のコピーができるんです。

現院長の梅澤文彦先生は当時から大親友。先生、すごくいい人。十仁病院の秘密の技術、何でも気前よく教えてくれる。もしかして、一度見せたくらいじゃ、技術習得はできないと思ってたんじゃないかな？

自分で言うのは照れるけど、僕ってモーツアルトの生まれ変わりじゃないかしら。天才モーツアルトは一度聞いた曲を正確に記憶し演奏できたんだそうですが、それと同じように僕もライバルが苦節數十年で編み出した複雑な手術法を、一度見たらすぐに理解できて実行できるんです。

「それって、ものまねじやん。モーツアルトじゃない。コロッケだろ」

ウォルト・ディズニー漫画そつくりだつた手塚治虫漫画やライカそつくりのニコンみたいに、一流ブランドつて真似して創られるものじやないかな。

三十三年も美容外科医やつてる僕の頭のなかには、古典的な手術から最先端手術まであらゆる楽譜がストックされています。モーツアルトがバッハを演奏するように、僕はピタンギ先生の手術だつてできるんだから。

僕の計画は着々と実現しつつあります。謙讓の美德を知らないかっちゃんは、発展途上国のお金持ちに天才美容外科医とあがめられてるようです。

翌日、サイバラ画伯とロシアに出発。

今回の僕の目的は、ヴィシュネフスキーメディカル大学のアダミアン教授から「世界の誰にも見せたことのない手術」を見せてもらうこと。アグミアン教授、僕がモーツアルトだつて全然気づいていなゐみたい。

サイバラ画伯の目的は赤の広場でエプロンおばさんのコスプレ写真撮ることだという。僕の仕事はおまわりに注意されたらすぐにチップ払つて勘弁してもらうことらしい。

モスクワ到着。出迎えたガイドのイワン青年は旧KGBの偉い人の息子だつた。日本語ペラペラ。教養もある。ソヴィエト社会主義共和国連邦が存続してたら、間違いなく超エリート。父子ともどもリストラされ、今や不遇のひと。「スター・リンは偉かつた。ゴルバチョフの馬鹿！」。わかるわかる。仲良くしようね。体制転覆したら知らせてね。

翌朝ヴィシュネフスキイ病院でおこなわれたアダミアン教授の手術は、金とプラチナの合金を特殊な方法で全身に埋め込む若返り法。想像を絶する高等技術。しつかりメモリーに入れる。もう僕のもの。

手術終了後、学長と面会。

「ロシアでは最近若返り希望の患者が増加し、わが病院の収入も飛躍的に増加しています。日本も同様な状況だと聞きました。日本から患者を送り込んでくれれば喜んで治療します。一緒に儲けましょう!」

学長、残念でしたね。かっちゃん、アダミアン教授の手術、もうできるもんね。

翌日はロシアンリフト（ポリプロピレンの毛羽立った糸を皮下に埋め込んで弛みを矯正する手術）の開発者、スマニーチエ先生の病院を訪問。

スマニーチエ先生びっくり。「タカスは新しい技術開発すると、必ずあらわれる。KGBみたいだ」。

新しいロシアンリフトはポリプロピレンの糸を螺旋状に巻いたスプリングを皮下に埋め込み、スプリングの戻る力で顔の弛みを解消する画期的な技術。

僕の技術習得力を熟知しているスマニーチエ先生、ワインクしながら「この糸は世界中で特許出願済みだよ。たくさん買ってね」。

そーかー！ 純朴なロシア人、ようやく知恵がつきはじめたんだ。手ごわいビジネスパートナーに成長したんだね。おめでとう。

「このたび体をイワして  
三ヶ月の大型休みを  
いたしました。  
克ちゃんより

「私のカットは  
がくよう！」

（とおでくわ。

主治医は何や、てたん  
だよってのこ

何言ってんだよ  
患者様に。

克ちゃんの劇的弱らせ方  
ナースエロ本を見せると  
とび迷う。



思いおこせば、三年前のスマニーチェ先生は純朴そのものだつたよな。

インドのムンバイで開かれた国際美容外科学会でスマニーチェ先生がロシアンリフト発表したら、会場騒然。「ロシアに見学に行きたい」と言う美容外科医が続出。

その医者たちを全部引き受けて見学させちゃつたんだよね。

まもなく中国でロシアンリフトの糸のコピーが出現。後を追うように韓国、台湾でも続々と……で、世界中にロシアンリフトの糸が氾濫したんだけど、皮肉なことにコピーのほうが改良されてて、洗練された高級品。しかも値段は本家より常に安い。

僕とともにスマニーチェ家に招待され歓待をうけたブラジルのフィリオ・ペラメンティ医師なんか帰国早々ロシアより立派な工場建てちゃつて、高精度の糸つくつて、南米中に売りまくり、いまや大富豪だもんね。

友達裏切つて大富豪になるやつは友達じゃない。僕はそんな下品なことしないよ……。

あ！すごいアイデアが閃いた！あの純朴なアダミアン教授の方法とスマニーチェ先生の方法を組み合わせれば、全く違う新しい手術法が確立できるじやんか。

帰国後「寿司でも食おうよ」とおねだりするサイバラ画伯を振り切つて、弁理士事務所へ。何しに？決まつてるでしょ。特許申請するんだから！

……申請書類書いているうちに心が痛んできた。アダミアン教授とスマニーチェ先生は商売敵。二つの発明を合体して新しい発明をする僕を、ロシアの友人達はどう評価するかってこと。相談もできないんだよね。

手術後、ほっかむりをしてご飯を食べる僕。



発明つて「誰も知らない」ものなんだつて。申請が完了するまで絶対秘密にしとかなくちゃいけないんだつて。あの善良なロシア人たちに僕のアイデアをしゃべつたら、「周知の事実」になつて、特許申請ができなくなる。

サイバラ画伯は、蟹とキヤビアがお気に入りの故にすっかり親ロシアになつてしましました。鈴木宗男さんの影の支援者。僕だつてロシア人と仲悪くなりたくない。

特許申請は僕とスマラニーチエ先生とアダミアン教授の連名で申請することにしました。ノーベル医学賞もらうときは一緒だよ。これなら友情にヒビが入らないだろうね。一安心。深夜まで弁理士と協議。「これで特許取得間違いなし」。

と、今度は自宅に帰るタクシーの中で突然新たなアイデアの閃きが！

湯水のように溢れてくる。モーツアルトの発作だ。とつ、止まらないよー。若返り手術のすばらしいアイデア。

なんで考えつかなかつたんだろ。仕立て直しと洗濯とアイロンかけを一緒くたにやつてしまえば、くたびれたスーツのリリフォームは一瞬でできる。

アイデアが出たらすぐに実験しなくちや。僕の理論が正しければ一週間で十歳以上若返るはず。やばい実験は自分の体でやってみるのが僕の方針。来月やつてみよう。

とはいへ、自分の顔の手術は自分でやるのは難しいな。誰にやらせようか……。

そうだ。三男の幹弥は形成外科医、嫁の英津子は皮膚科医。彼等にやらせよう！息子を種痘の人体実験に使ったジエンナーだつて、失敗してたらただのマッドサイエンティスト。華岡青洲の母だって麻酔事故で失敗してたら非難ごうごうだつたはず。

彼等、自分を天才だと信じてたんだろうね。自分が信じられない医者にはできない技だもんね。さて、そうと決まれば早速、三男夫婦を洗脳しなくちや。

「天才美容外科医である僕の設計図にあわせて手術するんだから、成功まちがいなし」ってね。万が一成功しなくなつて、美容医学進歩のための人柱になる父なんてかつこいいじやない。華岡青洲の父だぜ。成功すれば世界の偉人。さあ、すぐに世界に向けてプレスリリースしなくちや。というわけで、華岡青洲の父プロジェクトの詳細は次項!!



## 若返り手術・華岡青洲プロジェクト！

サッチャーから電話。「主人の古希のパーティーやるの。発起人のひとりになつて」。そりやめでたい。喜んで協力しますですよ。サッチャーの信者や野村監督のガールフレンドが大勢参加するんでしょ？ 僕が大好きなお金持ちのおばさまがいっぱい参加するパーティーなんですよ？

ホストクラブ・高須クリニック社長の営業力發揮する舞台。僕ってお金持ちのおばさまのお相手をして糊口をしのぐ窓際ホストなの。客に見向きされないと鬱になるんだ。

大漫画家、西原理恵子画伯のファンがアンチ・エイジングホストのかつちやんサポートーと重なることは稀です。サイバラ教のパーティーでは、僕いつも壁の花。教祖様だけちやほや。無名の流れ医者のもとには誰もよつてこない。誰か僕とダンスを踊ってくれないかしら。誰でもいいのよ！ 寂しさに耐えられないのよ。いまなら誰にだつて整形サービスしちゃうのに……僕の存在がわからないの？

ひねくれちゃうから。ぐれてやる。仕返しするからね。

そうだ！ 野村夫妻のパーティーならサイバラ教の信者は少数派に決まってる。画伯を壁の花にして、いつもの仕返ししてやろーっと。

「野村監督のパーティに招待されてるんだけど、一緒に出席してくれない?」「ふーん。面白いの? ネタになりそう?」「そりやもう!」「いいよ。一緒にいってあげる」。

「野村克也君の古希を祝う会」会場は赤坂プリンスホテル・五色の間。今度、国際美容外科学会の会場に使うスペース。二千人くらい参加している。僕の周りは顔見知りの芸能人やマスコミのレポーターばかり。ぜんぜん寂しくない。

あれれ、西原画伯は? どこ行っちゃったの?

あつ! ガードマンに制止されてる! 僕に近づけない。

「あたしや、かつちやんの友達なんだよー」

「そうです。ガードマン君。彼女は有名な漫画家の大先生です。テロリストではありません」来賓の挨拶がはじまつた。中曾根康弘、亀井静香……わあ! 偉い人ばっかり。偉い人たちに混じつて野球バットで鏡割り。

酒好きの画伯にも飲ませてあげよう、と一杯酒もつて席に帰れば、画伯は林家ペー・パー子夫妻と記念写真撮つてる。過激的情報誌ブブカの立石記者と上機嫌。僕のエッセイ、「流れ医者克弥」はブブカに連載中なのだ。

いま一緒に鏡割りした芸能界のドンは僕の朋友なんだけど、「ブブカ」は出版界のアルカイダなんだつてね。ドンと仲悪いんだつて。友人たちのところに紹介しに連れていかなくて良かつた。友達の友達はみな友達になれるとは限らないよね。そういえば、以前息子の結婚式で、サッチャーとデヴィ夫人を近くに座らせたら、両方とも機嫌悪かつたな。二人ともいい人なんだけど……人

間関係つて難しいね。よく似た二人つて仲良くなれないのかも。両雄並び立たずか。

野村監督が主役のパーティーなんだけど、一番目立つてたのはやつぱりサッチャー。ノムさんのドーベルマン。武闘派だもんね。

某テレビ局で細木数子とサッチャーのバトルの企画があつたけど、どうなつちやつたんだろう？ ぜひ実現してもらいたいな。K-1より客が入ると思うよ。

サッチャー・ノムさんに向けて盛んにフラッシュが光る。僕に向ても光る。快感！ 出たがりかっちゃんご満悦。カメラのむこうに顔なじみのカメラマンの顔が見える。

実は僕、この人たちに二週間前にも報道写真をたくさん撮られてるんです。

説明のかわりに報道の要約、うまくまとめてある東京スポーツから引用するね。

### 自分の体を実験台に最後の手術 高須クリニック院長

成功すれば四十歳の外見に

オジサンたちの期待に応えられるか!? 美容外科・高須クリニック院長の高須克弥医師（六十）がさらに十歳若返るための人生最後の整形に挑戦する。六月十日、院長が東京・六本木のグランドハイアット東京で「高須克弥若返りプロジェクト（完結編）」を発表した。六月十二日に三男の幹弥医師（三十）とその妻英津子医師（三十）が執刀する。

高須院長は九八年に「患者より老けてたら見えなくなる。それに新技術の実験は他人の体で

はなく、まず自分の体で試す」というボリシーのもと、自らモルモットとなつた。

今回は最新技術を取り入れた「一日にしてさらに十歳若返る」プランを考案した。成功すれば四十歳の外見になる。

レーザーにより肌を若返らせるフラクセル、皮下の脂肪だけを溶けさせるリポレーザー、フェースリフトで切り取った余分な皮膚からコラーゲンを抽出するオートコラーゲンバンクなど最新テクを使う。

この日は術後のシミュレーション画像を公開した。「前の顔と比べると不自然だけど、何食わぬ顔してればもとからこういう顔だと思わせられますから。だから、ボクのことを知らない若い子をナンパしまくりますよ」と笑っていたが、果たして!?

父親の顔をモルモットにして最新美容外科手術の実験するんだぜ。世界に類の無い壮大なプロジェクトだと思わない?

意思表示のできない我が子に種痘の実験したマッドサイエンティストのジェンナーや死んでもだめもとの乳癌の母親に麻酔薬の実験をした華岡青洲なんかより良心的でドラマチックじやない?

僕の役柄は抗加齢医学発展の礎になろうとしている健気な父親の役。華岡青洲の父。五十年後にNHKが生き残っていたらプロジェクトXのいいネタになること間違ひなし。五十年後じゃつまんないよ。いますぐ褒めてもらいたいんだよ。

あ、サイバラギけど  
今、車にひかれちゃって  
ばいしょう金  
払わないとばなない  
お金振り込もう

いや

あれあれ  
サザキ失敗



麻雀すると性格がわかるよね。じつくり高い役を育てるより安い早や上がりの好きな画伯と同じ。早や上がりで、いつも低い評価をうける、でたがりかっちゃんの悪い癖がでてしまった。

手術が数日後にせまってから急にプレスリリースを思い立ちました。広報は、チョンボのかっちゃんの好敵手、ダマテンのはしやんに頼もう。上場株式会社、共同PRの大橋社長は大きな手を育てることしかしない雀士だ。

「えー！ そんなに早く手術するの？ 急に連絡したってメディアが集まるかな？」

「はしやんの腕の見せ所じやん。下請け料は出来高払いで頼むよ」

取材陣が一人も集まらなかつたら、下請け料ばっくれちやうからね。

記者発表当日、舞台裏から記者席を覗く。たくさん来てるじゃないか。僕って人気者なのね。

あれ？ 新潮45の中瀬編集長が来てる。西原画伯も、「アブカ」の立石記者も、「毎日かあさん」担当の小島さんも来てる。身内ばつかじやん！ うーむ、かなり水増しされてるな。えーと、NHKは？ 来とらんじやないか。はしやんに払う料金値切らなくちやいかんな。

記者発表に先立ち前回の手術シーンのビデオを披露。シーン。記者席は水を打ったような静寂。素人に人間の顔の解剖見せると思考停止するんだよね。

「質問はありませんか？」質問してくれたのは、旧知の友人ばかり。僕の手術見慣れてるモンね。外人部隊で修行した兵士みたい。いくら血が流れてもパニックに陥らず、的確な行動ができるんだね。

今回のプロジェクトの目玉の一つはフラクセル。従来のレーザー治療はシミを薄くしたり、コ

「高須克弥若返りプロジェクト～完結編～」

終了直後、三男・幹弥医師と。

まだ顔がばんばん。2005年6月。



ラーゲンを増やしてシワを改善するものでした。それは数十年使い続いている洋服にアイロンやシミ取り等のお手入れをするようならまだつこしいものでした。フラクセルは、古い洋服を捨て新品に交換するかのように、肌そのものを新しいものに入れ替えてしまうコンセプトの治療です。コンピューター制御されたエルビウムレーザーで顔面皮膚にマイクロ単位の微小なスポット（直径八十九百μ、深さ三百九十九百μ）を一平方cmあたり二千本穿ちます。一時間以内に周囲の組織から再生が始まり、分解されたスポット部分の皮膚組織を排泄し、新しい皮膚に生まれ変わります。古木の多い森が山火事の後、緑豊かな森に生まれ変わるみたい。いわば皮膚の焼畑農業。

もう一つの目玉は、前回僕のおなかで実験済みのリポレーザー。顔面の皮下脂肪層にヤグレーザーでトンネルを穿ち、皮下組織の収縮による引き締めが起こることを期待して行います。

オーソドックスなフェイスリフティングも併せておこないます。顔面皮膚の仕立て直し。切り

取った余剰皮膚は冷凍保存し、将来必要なときが来たらコラーゲンを抽出し老化防止に使う計画です。このビジネスモデルをコラーゲンバンクと命名しました。将来有望産業に育つかもしれません。

フェイスリフトの際、切り取られた皮膚に生えていた毛髪は後退しつつある前髪の補強に使います。前髪垂らした、水も滴る美少年に変身できるかな？

手術後一週間経過。現場復帰。僕の故郷三河の高須病院に仕上がりを見せに行く。三十三年前にシワとりしてあげた九十二歳のおばあちゃんと再会。「高須先生、昔と同じ。懐かしいのお……」。もしかしたら僕三十年若返っちゃったんかな？ 手術大成功バンザイ！

話は戻つて、再び「野村克也君の古希を祝う会」会場。サッチーが囁く。「高須先生、さらに若くなつたじやない！ わたしもしたい」「オッケー。いつやろうか？」

そこへノムさん登場。「いや～つ、沙知代が若返つたらまた惚れ直しちゃうなあ……」。祝福するつて。いい夫婦だなあ。

## 「幸福医学」に賛成！

岡田真澄（俳優）

と。鍼治療みたいに、チクッとやつただけで、全然出なくなりました。たいしたものですね。

高須先生とは、もう四十年来のおつきあいです。名古屋で芝居をやっていた時、津川雅彦さんのご紹介で。当時、先生はまだ美容外科はやっておられなくて、「コーヒーウルフ」とかいうのに取り組んでたな。なんでも、駆け出しの頃、師匠に「役者は顔で汗をかくな、体でかけ」といわれましてね。いつのまにか、精神力でもって、顔でなく腋の下だけで汗をかくようになつたんです。そこまでは良かつたんですが、あんまりすごい汗が出るもんですから、何年か前、高須先生に相談してみたんですよ。そうしたら「任せなさい」

と。鍼治療みたいに、チクッとやつただけで、全然出なくなりました。たいしたものですね。

高須先生とは、もう四十年来のおつきあいです。名古屋で芝居をやっていた時、津川雅彦さ

んのご紹介で。当時、先生はま

だ美容外科はやっておられなく

て、「コーヒーウルフ」とかいう

のに取り組んでたな。なんでも、

挽いたコーヒードの中に入ると

体に良いんだとかいって（笑）。

それにしても、高須先生は出

会つた頃からちつとも変わらない。容姿はずつとあのままだし

（笑）、性格はというと、いたず

らっ子がそのまま大人になつた

みたい。驕つたり、自慢したり

することなく、どんな時でも真

摯に話をされる。僕はよく先生

のイベントで司会を務めさせていただきますが、こういう良いおつきあいが続いているのも、先生のお人柄あってこそですね。

最後に、先生が常々おっしゃ

っているように、美容外科は

「幸福医学」。女性が幸せでない

と、男は不幸ですからね、世の中

に平和は訪れない。だから、

の人たちには、なんとしても

幸せになつていただきないと。

そのためにも高須先生には今後

もどんどん活躍していただきた

いと思っています。



## 妖怪に たとえれば。

岩井志麻子（作家）

「バスの壁」が毎月華々しく掲載されていた「新潮45」の中瀬オバはん編集長は猫娘。いつも主役級の活躍をしながらも、あくまでも雑誌においては鬼太郎である作家や漫画家達を立て、どのような場合でも味方をし、理解者となる。行動は過激でも実は色濃く乙女。さて。真打の高須院長だが。鬼太郎からねずみ男から一反木綿まで、ありとあらゆる妖怪が詰め込まれ森めき合い蠢き合つたとたたかう妖怪」に当てはめてしまふのだった。

外見のみの印象ではなく、あ

くまでも素性や性質やキメ技重視で。ちなみにサイバラは砂かけ婆。見た目全然似てないけど、昔ながらの義理人情、友情、家族愛、仲間意識が強く、鬼太郎とその仲間達のおかんともいえる偉大にしてキツツイ存在感。ついでにいえば、「バスの壁」が毎月華々しく掲載されていた

「新潮45」の中瀬オバはん編集長は猫娘。いつも主役級の活躍をしながらも、あくまでも雑誌においては鬼太郎である作家や漫画家達を立て、どのような場合でも味方をし、理解者となる。行動は過激でも実は色濃く乙女。

合でも味方をし、理解者となる。行動は過激でも実は色濃く乙女。さて。真打の高須院長だが。鬼太郎からねずみ男から一反木綿まで、ありとあらゆる妖怪が詰め込まれ森めき合い蠢き合つたとたかう妖怪」に当てはめてしまふのだった。

ている、生きた水木妖怪図鑑！すべての妖怪に似ているが、どの妖怪にも似ていない妖怪王者。それでもここは無理矢理、塗り壁にする。

いつたんここに立つと決めたら、どんな妖怪相手でもどんな武器を持ってこられても微動だにしない。打ち壊すべき壁はどんどん打ち壊していくが、守るべきもの信ずるものは絶対に曲げず動かさず。わしらも、この妖怪高須塗り壁があればいつでも寄りかかる。





## 高須クリニツク、株式上場計画!?

二〇〇五年八月三日、僕の若返り手術完成発表会。ついでにサッチー若返りプロジェクトの発表もやっちゃおう。

こんなプレスリリースを一週間前にマスコミ各社にFAX。

「記者発表のご案内 先日古希を迎えたがますます御元気で活躍中のシダックス監督野村克也氏とサッチーこと野村沙知代さんが長年の沈黙を破つて記者会見に臨みます。遂にある決心を口から発する真意は? 監督の本心は? 何故この時期に? 同時にお二人の友人でもあり今回の発表に関するキーパーソン、高須クリニツク院長高須克弥氏が先日実施した若返りプロジェクト完結編の仕上がりを披露させていただきながら、会見の仲立ちを務めます」

夕方五時から記者発表。会場のニューオータニは僕の仕事場からすぐそこ。忙しい僕はギリギリまで仕事してから行くんだもんね。野村監督も当日は試合片付けてから来る予定。会場に到着。

わあ！超満員。記者会見を仕切ってるのはテレビ番組「美しくなりま専科」プロデューサーの小幡君。「民放のキー局は全社来ますよ。すごい人気ですね」。各社とりまして百社以上の問い合わせがあつたんだって。

記者会見はブツツケ本番。サッチャー、進行係のおねえさんの意向無視。僕の意向も無視。「ほつべたとあごがペリカンみたいにたるんでるのを治してちょうだい。二の腕と手のひらのしわも取つてくれない？」

主治医と意見が対立しそうですね。僕はその意地悪そうな目と額のしわを治したいんだけどね。「そこはいいのよ。そんなことしたら、わたしらしさがなくなっちゃうじゃない！」。そりやそーだ。頭に髪がフサフサしている横山ノックとか、ツルツバケの小泉純一郎つて商品価値が無くなっちゃうもんね。僕は患者の意見に同調する、ものわかりのいい医者。

現代社会では患者と医者はパートナーなんだつたね。僕の祖父母の時代は医者は聖職。医者の意向優先。つべこべ言わず全部お任せする患者がいい患者。無愛想で無口な医者ほど尊敬されていました。

黒澤明監督の映画に出てくる医者は全部旧式モデルの医者。手術するとき酒を飲むとピタリと手の震えが止まるアル中の名外科医とか弟子の若い医者にすら治療方針を明らかにしない赤ひげとか……。こんなヤブ医者たちを昔の患者たちは信頼していたんです。僕は医療は単なるサービス業だと思ってるんですけど、昔の人たちにとつては宗教だつたんです。偉い人の治療をするのは弘法大師とか弓削道鏡とか安倍晴明とか神通力を持つた人たち。

最後の若返り  
30歳青年に変身  
したえちゃん。  
トドリあの芸人さんに  
すづさ「若」ですよ  
や院長「若」  
やうたら絶対下もがま  
若くもるんちかますかし  
そりもうちうえ  
ばんはくじよーし  
と大笑い。  
あとで楽屋のすゞ



西洋の医者の先祖はギリシャの医神の神託を受けたヒポクラテスです。いまだに西洋の医学校では卒業者に「ヒポクラテスの誓い」を強制します。東洋医学の先祖は漢方の神様、神農、黄帝。ユンケル黄帝液っていうドリンクがあつたな。いいネーミングだと思う。

昔は「お医者様は神様」だつたんですけど、不況の現代では「患者様こそ神様」。サツチーは僕にとって神様。だから治療費はちゃんと払ってね。

ひとつお願ひ。手のひらのシワ取るのは勘弁してくれませんか？ 指紋と掌紋取つたらテロリストみたいじゃないですか。

「自己満足を満たすだけのこと。怖いものは何もないわよ。顔を切る不安？ 帝王切開を何度もやつてるので大丈夫」

ノムさんばやき。「外見ばかりでなく、内面もキレイにしてもらいたいものです」とぼそり。「外見がきれいになると心もきれいになりますよ」と僕。「じゃあ、オレもやろうかな」。

「今年のプロ野球が盛り上がりに欠ける理由は？」との質問に、「答えは簡単。巨人が弱いから」と即答。「アンチ巨人の連中が負ける負けるってテレビを見てたのが、弱いから見なくなつたんだよ」。なるほど……。とうなずく僕を見て、「先生、巨人も整形してくれ」だつて。うまい！

記者会見中にサッチャー若返りプロジェクトの方針決定。僕にやつた手術とほぼ同じ。一つは肌を若返らせる焼き畑農業、フラクセル。老化した皮膚をレーザーで吹き飛ばし、若い肌を再生させる最新技術。僕の顔で実験済み。

次なるは頬、額、頸のたるみを仕立て直すフェイスリフト。フェイスリフトは、たるみを引き

上げて余った皮膚と脂肪を切り取ります。切り取った組織は廃棄物となります。もつたいないことです。廃棄物には良質のコラーゲンが含まれています。注射用コラーゲンってプラチナより高価なんですよ。再利用しないのはエコロジーの精神に反します。

前項で述べたように、切り取った組織の再利用を希望する患者さんのために、組織冷凍保存を「コラーゲンバンク」っていう僕の経営する小さな会社に委託しているんです。マイナス六十度で保存し再利用する時期がきたら解凍しコラーゲンを分離抽出します。サッチャーはこれから十年くらいは自分のコラーゲンの再利用で若々しい肌が保てるはずです。先端技術を使ったベンチャービジネスです。

コラーゲンバンクの営業パンフレットには次のように書かれています。

「オートコラーゲンバンクとは　あなたの現在の新鮮なコラーゲンを保存し、それを数年後あなたの老化した肌に注入して若々しい素肌を取り戻す、全く新しいシステムです。コラーゲンは皮膚の弾力や張りを保つ働きをするタンパク質の一種で、従来「コラーゲン注射」としてシワ伸ばしに使われてきました。ところが注入するコラーゲンは牛から抽出したもので、拒絶反応を起こす場合もありました。そこで、あなた自身の若い新鮮なコラーゲンを永久的に保存して、未来のシワ伸ばしに利用する。これが高須博士とフルニ工教授との共同開発によつて生まれたオートコラーゲンバンクです」

野村克也さん、沙知代さんと。  
国際美容外科学会にて。2005年11月。



オートコラーゲン抽出装置はアメリカと日本のパテント取得済み。商標登録済み。ビジネスモデル完成。数年前BSE問題で牛肉輸入の止まっていたアメリカ企業からジョインベンチャーの申し込みがありました。見知らぬアメリカ人と冒険するのは、田舎ものの僕にはストレス。短く持つてコツコツ当てるのが商売のコツだと信じてる三河の田舎医者が僕の正体。

バブル崩壊の恐怖は僕のトラウマ。日本で現金商売するのが安全との教訓。家訓にしちゃった。でも敗戦は悔しい。雪辱戦したいな。

日本では、医者はこんなこと考えちゃいけないんだよ。アメリカじや事業を成功させた医者は尊敬されるけど、日本では清貧の医者が高い評価を受ける。

事業つて営利を追求することが使命だよね。利益を出す経営者は常に優秀で、たくさん配当を出せば株価も上がり、立派な会社に成長して行く。でも日本の医療は営利を目的にしちゃいけないんだ。出资者を募集したり、配当を分けることは厳禁。株式会社にするなんてもつてのほか。

高須クリニックを株式会社にできれば出資する投資家はいっぱいいるはず。上場すれば高い株価になるはず。「給料上げろ」っていう医者や看護師もいなくなる。だってストックオプションで大富豪になる道がひらけるんだもん。

マイクロソフトではトイレ掃除のおばちゃんまで大富豪になつたんだよ。株主優待券でシワ取りできるんだつたら年金で株買お年寄りも増えるんじやなかろうか。

株式分割したりなんかして、どつかのテレビ局買っちゃおうかな。CMがタダになつたら利益率が上がつてますます株価が上昇。ムフフ。というのは僕の妄想。日本じゃ無理無理。

そんな僕のところにニュースが。さわりの部分紹介。

### 構造改革特別区域計画の概要

#### 特区の名称 かながわバイオ医療産業特区

営利を目的とした病院の開設については、医療法第七条第五項の規定に基づき実質的に認められていないところであるが、構造改革特別区域法第十八条に基づき、本特区においては先端的研究の事業化、更なる研究開発の促進、そして地域産業の活性化、将来の再生医療への貢献といった観点から株式会社に高度美容医療を行う病院等の開設を可能とする。

きやー！ 金鉱脈見つけちゃつたぜ！ 株式会社でバンバン儲けていいんだ。小泉さんありがとう。

早速、神奈川県商工労働部産業活性課に連絡。すぐ申請して許可もらおう。神奈川県にたくさんの税収を約束するぜ。担当職員あまり嬉しくなさそう。仕事が増えて給料は増えないもん

ね。ここも民営化すべきだな。

でもいろいろ教えてくれた。わかつたことは、神奈川県には、すぐ申請する権利が無いってこと。株式会社による美容医療クリニック開設条件では①自由診療②高度な技術を用いて行う美容外科医療が条件なんだって。高須クリニックは日本一の高度美容外科医療だぜ。「イエス高須クリニック」知らないの？

でも、「この点については事前に厚労省医政局総務課と打ち合わせをしてください」とさ。「厚生労働省とネゴして高度医療の判定を受けられるものにつき神奈川県にて申請を受け付けます」。談合が好きだね。お役人。申請する前に許可する業者を決めておくんだ。とにかく早く交渉に行かなくちゃ。

「認可後の運営は高度医療のみに限定されます」。はい。わかりました。包茎の手術なんかしません。

僕の動きを察知したか、サイバラ画伯登場。「かつちゃん。なんか会社つくるんだって？ 未公開株ゆづりなさい」「いやだね。べーだ！」「よーし！ 上場したら一株株主になつて、株主総会荒らしに行くからね。漫画家兼総会屋だよ。覚悟しとけ」。



## 台湾でブーム「開運整形」

台湾で「開運整形」が大流行だつて。開運整形は、福相をつくり悪運を退ける呪術的美容整形手術です。古代の知恵と現代医学のコラボレーション。中国三千年のソフトで集大成された観相学は凶相と福相の分類法によつて人間の資質から将来を予想する学問。観相学による診断が間違つていなければ、腕の確かな美容外科医の手で開運は思いのままだそうです。

古代中国では顔相は天から授かつたものであり、人間の力で変えることは不可能がありました。「天命」と諦められていたのです。

昔の中国の立身出世物語は主人公が街中で占い師に呼び止められることから始まります。「これこれ若者。おまえさまは稀に見る富貴の相じや」。そのあと「途方も無く出世する」とか「歴史に残る偉人になる」とか言われて、それが実現するプロセスが大衆うけするんです。たぶん占い師は誰にでもそんな妄言の御託宣を告げてるんじゃないかな。下手な鉄砲も数撃ちやあたります。

皇帝になる天命をもつて生まれてきた劉邦は生まれながらの竜顔であつたと信じられています。竜顔ならば、ハンサムでなくても知恵も武勇もなくとも正義感に欠けていても幸運が転げ込んで

くるんだそうです。百戦して九十九敗しても皇帝になれるんだそうです。天和テンホがあがれる事を約束された席に座つたようなものですね。

霸王別姫でモテモテの項羽は全ての点で劉邦を凌いでいるのですが、顔で負けたんでしょうね。死ぬまでツキに恵まれませんでした。気の毒な項羽。項羽が僕の患者さんなら、竜顔に整形して天下を獲らせてあげるのに。

悪運を運び込む要素を除去し幸運を引き寄せる美容整形（開運整形）は、若さや美貌をもたらす古典的美容整形と違うカテゴリーです。不況産業化しつつある美容業界の神風となるかもしれません。

ブチ整形のブームが去りつつある今、美容外科開業医の親睦団体である美容外科医師会では倒産し退会するメンバーが相次いでいます。次のブームまでに何軒ライバルが消えるでしょうか。美容整形バトルロワイアル。

斜陽産業のカンフル剤は特需。特需たるべき次のブームはバイオ技術による整形でしようか？僕はこのあやしげな開運整形じゃないかと予想しています。

共産主義に汚染されていない中国文明を継承している台湾は、迷信が同居している文明国。現代でも、一般台湾人にとって風水や四柱推命は占いではなく、生活の一部であります。

というわけで、西原画伯と出演しているテレビ番組「美しくなりま専科」の取材で急遽、画伯と台湾に取材に行くことになりました。取材先は開運整形で有名な美容外科医である陳叔賢先生と鄭孝威先生。

番組。プロデューサーから報告。「取材先の先生たちがみんな、自分は高須先生の弟子だつて言つてますよ」。

台湾には僕の弟子の美容外科医がいっぱい開業しています。弟子と言つたつて、「高須クリニックを一度訪問したことがある」とか、「高須克弥のセミナーに参加したことがある」程度の弟子です。でも僕のこと、クラーク博士か吉田松陰みたいに褒め上げ、すばらしい薰陶を受けたかのように扱ってくれるんです。

中華系のドクターは自分の偉さを示す尺度に師匠を利用します。盛業中の美容外科医の待合室には僕と握手している院長の写真が飾られています。成功を夢見る駆け出しの美容外科医にとつて僕は手頃なお飾りなんです。十年二十年も眞面目に仕事してれば、青二才の美容外科医も教授になつたり医師会長になつたり……立派になっちゃいます。

「あの立派な先生の師匠なんだから高須クリニックの院長は偉大な外科医なんだろう」つて騙されちゃうんでしょうね。こうしてカリスマって捏造されるんでしよう。教祖を利用し続ける、欲の深い弟子に恵まれれば大教団は維持され、神格化は限りなく進みます。教祖本人の思惑なんてどうでもいいんでしょうね。お釈迦様やイエスキリスト様だつて無政府主義者でしょ? 国家に庇護されたり大伽藍を造つて貰つて喜ぶとは思えませんよね。

台湾の自称弟子からメール。「台湾では高須院長の訪台が話題になつています。台湾電視台と台湾日報の取材が申し込まれています。取材に応じていただけますか?」

宿舎の円山大飯店到着。ロビーに報道陣たちがいっぱい。日本人もいる。僕って人気者なのね。

現在仕事休んでて  
月収ガ8万円だ。  
（毎月）

めであそしてたら  
「はいじゃあ「れ。」

30じと・ポッケからで30じと  
30万円くれた。金もう一回

元心す何人から30年  
のガガナ年ぶりだ金もう一回  
ええ、うれしかった。  
心に安らいた。が3日後  
にもどる。そのじは一日もかから

あせらます  
うけと、こへた。  
ちなみに前にあづかって  
あせた事がする。せじあこの  
ケーベ、らしく不田ジ井とこう  
うけと、こへた。



それともアジアを代表する漫画家、西原理恵子の威光かしら。……大間違いでした。報道陣はヨン様の到着を待っていたのです。新作映画のキャンペーンで台湾に来てるんだって。「ぼやぼやしてるとヨン様の追っかけおばさんと間違えられちゃう。早く出かけよう」と画伯。

「台湾で有名な占い師を紹介してもらい、取材。まず画伯から占つてもらう。

「あなたは美にこだわる仕事に向いています」。なかばあたつとるじゃないか。

「夫婦仲は良くないですね。いずれ別れます」。もう別れとるんだけどな。

「なかなか芽がでないんですけど、いつごろ花が開くでしょうか?」「四十歳になると突然開花します。楽しみに待っていなさい」。もう四十過ぎとるんだけどな。

しかし、すごい的中率。四十過ぎてから、いっぱい賞を貰うし、ギャラも漫登り。大ブレイク 街道薦進中。……でも僕は知ってる。画伯、現在休筆中。作品の表現のことでの武藏野市長と息子の通学している小学校を相手に神経戦中。作家のスランプって何がきっかけになるかわからないじゃないか。心配……。

「占い師様。彼女が更に開花するには如何なる開運整形を施したら良いでございましょうか?」

「顎とこめかみが貧しいから、もうひとつ福に迫力が出ないのじや。ここボリュームを増やしてみなされ

ふーん。じゃあ、東京に帰つたら顎とこめかみにチ整形してみようね。

占い取材終了。報道陣が待ち構えているという渾然天成陳叔賢美容整形外科へ移動。「歓迎高須克弥医学博士來訪!」。真っ赤な大きな幟幕が垂れ下がつてゐる。ヨン様みたいに沢山の報道陣

が中にいるのかな？

あれ？ 誰もいない！

院長の陳医師登場。「ようこそ高須先生。お会いできて光榮です」「ところでマスコミの方々は何処におられるのですか？」「あー。そのことなら御心配なく。もうすみました。わたしがかわりに全部質問に答えておきました」。だつて！

「高須先生はレーザー脱毛の権威でいらっしゃるから、台湾のエステティシャンの憧れなんですよ」と差し出した単行本が高須克弥著『無痛神技脱毛』。

えー！ そんな本知らないよ。でも、僕の写真がいっぱい載ってる。知らない出版社だし、印税もらったおぼえもない。でもデザインはよく出来てる。出版社の社長さん、編集長さん、僕は怒つてないよ。もつと出版していいから前もつて連絡してね。

陳先生、事業拡大意欲ばかりの脂ぎったおばさま。「わたしの紹介」と差し出した小冊子。見慣れた顔の米国人医師と陳先生とのツーショットが大きく印刷されてる。なになに。

「TUBA大師・Dr. Gerald Johnson」だつて。ジエラルド・ジョンソン先生は二十年来の朋友。懐かしいな。

テキサス州ヒューストンメディカルセンターで働いている美容外科医で豊胸手術の名人です。前述したように、十五年ほど前、アメリカでシリコンゼリー入りの豊胸手術用バッグプロテーゼからシリコンが漏れ膠原病や乳癌を発生させるというデマが広がり、社会パニックになりました。FDA（アメリカ連邦食品医薬品局）はシリコンゼリー入りバッグプロテーゼの生産を禁止。



「シリコンゼリーでなく生理食塩水入りのバッグプロテーゼなら危険はない」といって、すぐに豊胸手術を再開した美容外科医の一人がジョンソン先生です。再開にあたって彼は新しい手術法を開発しました。T U B A (Trans Umbilical Breast Augmentation)です。臍に小さな穴をあけ、そこから皮膚の下にトンネルをつくり、細く折りたたんだ空っぽのシリコンの袋を挿入します。内視鏡で観察しながら乳腺の真下に袋が入つたら、臍から袋の中に細いチューブを通じて生理食塩水を注入して乳房を風船のように膨らませて豊胸手術を行うのです。

ニュースを聞いて僕はヒューストンメディカルセンターに飛んで行きテクニックをマスターしました。使う生理食塩水バッグはC U Iというロサンゼルスに工場を持つメイカーメドコムで輸出担当重役はジョンソン先生の娘婿。僕との独占契約締結。ジョンソン先生との共著『FDA公認・新しいバスト形成術』は当時の美容外科医たちのバイブルになりました。

でも、この豊胸手術が受けられる施設は日本中で高須クリニックだけでした。昇る旭日。破竹の進撃。向かうところ敵なし。

ロサンゼルスで大地震があつたときには製造工場に被害がでて、操業がストップ。でも大丈夫。

独占企業なんですからお客様は減りません。供給が減れば値上がりするのは石油と同じです。手術料を値上げしても患者数は増加しました。まるでアラブの石油王。

栄華は長く続きませんでした。FDAの監督下にないヨーロッパでは「破れないバッグ」「万が一漏れても拡散しないシリコンゼリー」が次々開発されました。「シリコンゼリー入りバッグのほうが手触りがいい」というヨーロッパのメーカーのキヤツチフレーズも追い風になり生理食塩水バッグのシェアーは縮小しました。

ジョンソン先生は過去の人となり、ジョンソン先生のバッグを造っていたメーカーはライバルのメーカーに吸収されてしまいました。二年ほど前「全ての権利と施設を君に譲りたい」という手紙がきましたが、丁重に御断わりしました。全てがデジタル化しようとしている時代にアナログ技術を追い求めるのはナンセンスです。

そのジョンソン先生が台湾で崇拜を受けているのを知り、嬉しくて涙が零れました。大師つて達磨大師とか弘法大師と同格でしょ？ うらやましいな。僕もいつの日にか包茎大師つて呼ばれるかな？



## 高度成長を続ける中国美容整形

重慶は日華事変の際、日本軍に追い詰められた蒋介石率いる国民党の最後の拠点でした。息も絶え絶えの国民党政府の息の根を止めるべく、日本軍による連日の爆撃が行われたことで有名です。

重慶爆撃が中国歴史教科書に載っていないわけがありません。加えて、都市に対する爆撃は一般市民を巻き込みます。家族を死傷された重慶の人々の反日感情は爆撃を経験していない北京などとの比ではないはずです。

その重慶から招待状が舞い込みました。要約します。

「高須大先生様

あなた様とあなた様のガールフレンド達を中国・重慶に御招待します。中国政府がバツクアツブする二〇〇五年度中国医師会美容整形分会に出席してください」

誰からだろ？　えらく長い名前だな。

重慶中国美容整形外科医師大会会長兼務の中国重慶市第三軍医大学付属西南整形美容外科医院院長李世榮教授だつて。

思い出した。昨年（二〇〇四年）、北京で人造美女コンテストやつたとき、サイバラ画伯と中瀬編集長と岩井志麻子先生のオバハン三人組を睨んでた人民解放軍軍医のボスだ！

訓示を垂れているボスに対して恐縮のあまり口もきけない子分たちが醸しだす静寂を破るオバハンたちの高笑い。あの時、オヤジもドン引く、ドスケベ高段者だけに許されるエロ話に花が咲いてたんだったよね。

言葉がわからなくつたつて雰囲気が伝わるじやん！ 相手は反日思想の本家、人民解放軍の軍人だぜ。

僕を招待するついでにお礼参りしとこうつて魂胆かもしれない。行くの止めよかな。

ま、いいか。あの逞しいおねえさま達を懲らしめるつて不可能だと思う。

新生日本国の誇るベテランオヤジギャル軍団が八路軍を返り討ちにするかもしれないじやないか。

岩井志麻子先生曰く「重慶だつて！ 面白そう。旧日本軍のコスプレで行こうかな」。冗談でしょ。冗談じやないかもしないな。お願ひだから止めてくださいね。

先日、「an・an」のグラビアでセーラー服着て、熱海秘宝館で艶然と微笑んでるあなた様を拝見しましたですう。……怖かつた。

成田空港で一行と待ち合わせ。みなさん普通の服装だ。よかつたよかつた。

空港の売店で週刊「SPA!」を買う。今週はアンチ・エイジング特集。僕の若返り手術の術前術後のカラーグラビアが載ってる。中国人に自慢してやろう。

機内でサイバラ画伯に見せてあげる。「若くなりすぎて、パスポートの写真と別人じやん。入国できないんじやない?」。

心配ないよ。その時は「SPA!」見せれば誤解はとけるじやん。その上、重慶に着けば軍も公安も皆かつちゃんの味方だもんね。入国審査もスイスイよ。

……ところがそうはいかなかつたんだよ。中部国際空港から重慶の直行便にすればよかつた。東京の熟美女軍団たちの都合が良いようにと気を利かせて、成田から北京経由で国内便に乗り換えるため、入国審査は北京。

入国審査官は違法駐車取締りに精を出す婦人警官みたいな若いお嬢ちゃん。けつこう可愛い。偽造バスポートを発見したと思つたんだろうね。顔色変えて取り調べ。

僕は余裕しやくしやく。取調べを楽しんじやうつもり。だって「SPA!」持つてるんだもの。水戸黄門の印籠持つてるようなものだからねー。最後にサイバラ画伯に「しずまれしずまれ。このグラビアが目にはいらぬか。このお方は若返り手術に成功なさつて、このたび中国医師会から招かれた賓客であらせられるぞ。さがりおろう」ってやらせてあげよつと。

入国審査官が何人も集まってきた。これ以上遊んでいると収監されちゃうな。そろそろ印籠出してけりをつけよう。……あれ? 「SPA!」が無くなつてゐる!

「サイバラ先生、スペ、知らない?」「あー、あれ? 機内に置いてきちゃつた」。喜劇が一転し

て悲劇に。発展途上国の牢獄に無実の日本人が投獄されてるテレビ番組を見たことがある。まさか、あのような目に？

僕は幸い孤立無援じやなかつた。オバハン三人組の猛烈な抗議が功を奏し、しぶしぶ釈放。でも責任者のオッサン、最後まで疑つてた。「バスポートの人物より髪の毛が多いじゃないか」。おぬしどきるな。植毛してあるんだよ。よくぞ見破つた。ほめてつかわす。

サイバラがそつとささやく。「かつちゃん。気がついた？　あの役人、ヅラだぜ」。おぬしもできるな。

重慶空港に到着。自称「高須の一番弟子」董帆<sup>ドンファン</sup>が人民解放軍の車で迎えに来てた。ドライバーは現役の軍人。「この車、急ぐときサイレン鳴らして走れる。信号無視オッケー。いまやつてみるアルか？」。公共物を私物化するのは中国の文化。

重慶は蒋介石の時代から重工業地帯なんだって。市民は小柄で働き者。外見上は反日感情は見られないけどなあ。

歓迎パーティーは四川料理。酒もアルコール度数高そう。食うほどに酔うほどに、重慶紳士の正体露呈。あ！　しぶい中年の重慶美容外科医が中瀬編集長をしつこくナンパしてるの発見！！

四川料理は人気ダイエット食品のカプサイシンの塊。そのせいか重慶市民は痩せ型が多い。人類は種の保存のため、自分が持つていらない形質の持ち主の遺伝子を取り込もうとします。重慶のスリムな美容外科医にとつて。ボツチャリした中瀬編集長は天使に見えたんでしょう。

こつちではサイバラ画伯も岩井先生も口説かれてる。画伯の顔を見て、「美しい！　この鼻は

高須クリニック 新作CM院長編  
ハーレーダビッドソンを前にラフなスエード  
皮ジャンパー

成田で拘束  
された金正男にしか  
見えない！



芸術品だ」。姉さんがた、重慶に住みなされ。男に不自由しませんぞ。

翌日の学会では僕の発表大うけ。通訳にカタカナでルビをつけてもらつた中国語が通じたみたい。安心して、そのあとは三人組と重慶美容外科事情の視察に出発。

中国美容整形界のボスであり今回の会長でもある李世榮先生が教授を務める第三軍医大学付属西南医院を訪問。

わあ！ ものすごく大きな病院だ。診療科ごとに分かれたビルの複合体。この病院の規模と比べたら六本木ヒルズなんてかわいいもんだ。年間外来患者数が三百万人。入院ベッドが二千五百。世界最大の病院じゃないだろうか？

ビル群の中のひとつが第三軍医大学付属西南整形美容外科医院。躍進を続ける国家がパックアップしている美容整形って興味があるな。あれ？ 患者がいない。さびれてるじゃないか。

董帆曰く「美容整形勉強したい地方の医者と医学生の練習施設を兼ねてるアル。医者と学生から授業料もらう。患者が払う治療費は安いけど患者が減つて授業できない。赤字アル。困った」。中国人はお上を信頼していないからね。日本みたいにうまくいかないよ。東大病院美容外科はブランド力のおかげで宣伝しなくとも黒字なんだけどね。

次に訪問したのは重慶一の規模を誇る、華美整形医院。董帆が顧問をやつてる繁華街のど真ん中にあるファッショントビル。一階からエスカレーターで二階に上がると二十人ほどのコンパニオンのお出迎え。昔のキャバレーそっくり。

え、コンパニオンじゃない？ カウンセラーだつて。訪問した患者様のご希望を丁寧にお聞き

2005年9月、中国・重慶にて、岩井志麻子先生、サイバラ画伯、「新潮45」中瀬編集長＝オバハン3人組に圧倒される僕。



し、予算にあつた美容整形プランを提案する仕事をするスタッフ。結婚式のプランナーのようにてきぱき患者様をさばく。

エコノミープランはかけだしの若い美容外科医担当。人気のある美容外科医ほど指名料込みの手術費は高額になる仕組み。日本のカリスマ美容師みたい。ちなみに僕の弟子、董帆教授（いつのまにか教授に出てしている！）はトリプルAランク。

でも、もつと高給取りの美容外科医がいるんだって。今、中国では韓流美容整形が躍進中。韓国で勉強した朝鮮族の中国人美容外科医が一番人気だつて。「日式は仕上がりが自然なので人気がないアルよ」と董帆。「整形しました！」つて感じのケバイ手術でないと中國人は納得しないんだね。

華美整形医院の院長の説。「韓国は国策で美容外科医療の覇権を狙っています。大統領自ら整形して宣伝しています。わが国も日本も指導者が美容整形するようになつてほしいものです。二〇〇五年十一月、高須先生が主催する第四回国際美容外科学会でアピールしてはいかがですか？」。

たしかにそうだ。その前に韓国大統領に仁義を切つておかなくっちゃ。帰りの機内でノムヒヨン大統領に手紙を書く。すぐハングルに翻訳して送っちゃおう。

### 「大韓民國大統領ノムヒヨン閣下

國際美容外科学会は若さと美しさを求める人々を支援し幸せを追求する美容外科医の集まりです。大韓美容外科学会も仲間です。五年に一度学会総会を開きます。

学会開催日に、世界の美容医療発展に最も功績のあつた方を顕彰します。前回（二〇〇〇年）はブラジルの名美容外科医・イボ・ピタンギ教授が選ばれましたが、今回（二〇〇五年）はあなたが選ばれました。

今年閣下は上眼瞼の美容外科手術に成功され、公表なさいました。それを世界中のメディアが配信しました。閣下の行為は美容外科手術を躊躇するアジアの男性患者を勇気付けました。それ以後アジアの男性患者が飛躍的に増加し、今も増加しつつあります。

いま大韓民国は世界一の美容外科大国であります。前記の功績に加え、世界一の大國の大統領であられる閣下以外の受賞者は考えられません。

なにとぞ受賞して頂きたく伏してお願ひ申し上げます。

### 國際美容外科学会

顕彰委員会委員長 高須克弥



## 医療ビジネス最前線！

日本の国家財政が破綻寸前だつてのは財政の専門家たちの常識なんだつてね。収入が増えないのに借金が増加すれば倒産するもんだつて。

人間の体と一緒にだね。癌を抱えた患者が食うものも食わなかつたら死期を早めるじやないか。とりあえず癌を切除し、再発を防ぎながら栄養与えて体力つけなくつちやダメだね。

収入を増やすことは簡単だ。古典的な方法が一番効果があるよ。増税し、過酷な取立てをすればいいじyan。でも痛みを伴うよね。増税を企む大きな政府は働き者の僕やサイバラ画伯にとつて癌みたいなものです。

ごめん。言い過ぎた。怒らないで国税庁さん。大きな政府は癌じやありません。

寄生虫です。寄生虫は寄生した宿主を殺したりしません。宿主が死んでしまえば寄生虫だつて死んじやうんだから、そんな馬鹿なことするわけないわな。

「百姓は生かさぬよう、殺さぬよう」が日本の伝統。宿主だつて無茶苦茶に税金とられたら逃散するか一揆起こしますよ。

徳川幕府より賢い寄生虫は宿主にわずかな恩恵を与えつつ生き血を吸い続けます。回虫に寄生

されたらアトピーがなおるそうです。マリア・カラスがウエイトコントロールとプロポーション維持のためにサナダ虫を寄生させていたという伝説は有名ですね。

国家財政における構造的借金体质は寄生虫よりずっとたちが悪い病気。自己増殖を続ける悪性新生物。これこそ癌です。

一番勢い良く増殖しているのが医療費。元気な若い労働者が沢山いて子供をばんばん出産していた時代に作られた、国家が医療費を負担する国民皆保険制度。出発当時はとても良いシステムでした。営業努力しなくとも患者は増加。病気になつても患者は貧乏にならず医者は丸儲け。政党支持者の人気も上がる……医師会のみなさん昔はよかつたですなー。

人口は減少しているのに毎年八千人の新卒医師が医療市場に新規参入しています。医者は患者がいなければ食べていいません。患者がいなければ作るしかないではありませんか。ところが今は少子高齢化社会。産婦人科と小児科は衰退業種。団塊の世代が定年を迎えるとする今、めざましく台頭しているのが老人医療。

老人は中古車みたいなものですから、修理し放題。中古車オーナーと修理工場の連合軍対医療費を負担する支払い基金軍との争いが起こるのは自然な流れでしょう。支払い基金をバックアップしているのは国家財政。寄生虫が栄養失調の宿主の血を吸いすぎて貧血が進行しているようなケースでは、よほどのヤブ医者でない限り、とりあえず寄生虫を駆除しようとするでしょうね。統制経済に飼いならされ、システム変革を行わなかつた医療界では大変動が起りつつあります。宿主が弱ってきて、虫下しを飲もうとしているのが解ってきたのです。みんなで仲良く分け

毎日の激務。宿にたどり着くとまず湯をわかし



わが十じよみがえる。  
絶対薬草湯法にうれかし、あやし、アヤル。  
を、お湯でうますて一氣飲み、その後風邪薬  
ルレック・最後に小便用ジキンヒトケチ。  
どうみても素人の薬の飲み方  
だ。青汁も追加してけ。

ていたパイは絶対大きくならない。パイの取り分が小さくなるのがはつきりしてきたのです。厚生労働省は年間三十兆円超の医療費を削減することに躍起です。

国家から支給される医療費に縛られているかぎり、いずれ息の根を止められるでしょう。医者が患者さんから直接医療費をいただく自由診療に移行しない限り生き残ることが出来ない時代は目前です。事態はゼネコンより深刻です。

國家の生血を吸うのを止めて生き残れる医者が良い医者だと経済政策立案者たちが考え始めたんです。

こうなることを三十年以上前に予見していた偉人があります。当時、飛ぶ鳥を落とす勢いだった日本医師会の大ボス武見太郎先生です。統制経済に縛られない医療を展開していた僕たち日本美容整形学会の名誉顧問でもありました。日本美容整形学会の特別講演で「民間から発生した美容整形は将来大発展します。官僚に統制されると発展しなくなります。このままでは国が滅びます。医療を民間に取り戻しましょう。若い医師諸君の健闘を望みます」とエールを送ってくださいました。

武見会長は僕たちの守護神でした。歴代厚生大臣は就任すると武見会長のもとに挨拶に伺い指導をうけたものです。厚生省を恫喝するために、日本医師会では保険医総辞退もやりました。全部の医療を自費診療にしてしまうラディカルな闘争です。官僚に徹底的に楯突く気力のなかつた日本医師会の執行部はまもなく闘争中止を指示しましたが、それ以来（もともと保険医でなかつた会員が大部分ですが）僕たちは辞退しつぱなしです。おかげで医療費抑制政策の嵐の埒外にい

ます。

弱肉強食の日本の美容外科の世界は、資本主義の本家アメリカをも凌ぐ自由経済の世界。軍事力では我が国は目立ちませんが、美容医療のノウハウは先進国。中国もロシアもわが国よりはるかに遅れています。日清・日露に勝利し、躍進を続ける日本の美容外科クリニックの経営スタイルはアジアの新興クリニックの手本です。僕は経営コンテンツの生き字引。バブル崩壊もマルサも経験しているチーベンクリニックの開祖かつちゃんは美容整形三国志の語り部。発展途上国美容外科学会から講演依頼がいっぱい。でも発展途上国は居心地が悪い上、講師料が安いからめつたに行かないよ。

日本経済の競争力が低下したのは官僚のつくった規制が多すぎて、発展するはずだつた企業の芽が摘まれてしまつたからだと思います。その上、資本を蓄積すると税金で根こそぎ持っていくんだから……日本の医療は利益を追求しちゃいけないんだよね。困つたもんだ。

でも最近になつて流れが変わつてきました。日本では規制緩和ムードのおかげで民間企業の医療ビジネス参入が相次いでいます。

二ヶ月ほど前、新幹線で知り合つた青年実業家と意気投合し講演を引き受けてしまいました。気が合えば講師料の多寡は問題じやない。杉多保昭氏は「リンクスタッフ」っていう開業支援の会社の社長だそうです。登録病院四千百病院、登録医師数八千七百名だつて！ 子会社として医療機関の合併・買収支援をする「日本医療M&A株式会社」も経営してゐるんだつて。なんか儲かりそうな事業じやないか！

大阪で行われた講演会。五百人ほど収容可能な会場は満席。熱氣むんむん。「自分の体を張つて行う美容ビジネス戦略」を聞きに来たんだな。一時間の講義の後、草臥くたばれた感じの聴衆からの質問。「四十歳の開業医ですが……はやらないので転業しようと思いセミナーに参加しました。今からでも美容外科医になれますか?」

「熱意と器用さと美的センスと良心があればなれます。がんばってください」

「高須クリニックの近くで開業してんんですけど、見学に行つていいくですか?」

商売敵が増えちやう。やばい。

「前言を取り消します。美容外科医になるのは至難の業です。いばらの道です。稼げるのは脂の乗った旬の短期間だけです。医療事故でもあれば一夜にして路頭に迷うことになります。四十すぎてプロボクシングのチャンピオンを目指すようなものです。家族がいるなら思いとどまつたほうが賢明だと思います」

お金持ちのお年寄りの望みは昔から同じ。若さと美貌。それを提供する美容外科医療マーケットは衰退する医療従事者が殺到するフロンティア。ゴールドラッシュに沸くカリフォルニアと同じ。食い詰め者や無法者が跋扈する弱肉強食世界。

金を掘りにきた人たちを相手にビジネスした人たちが今のアメリカの勝ち組。せつせと砂金を採つてた人たちは皆負け組。

してみると……セミナーに参加するよりセミナーやつたほうが勝ち組になる可能性大じやないか。スタンフォード大学で勉強するより、スタンフォードみたく砂金拾いの人たちから搾取する

ほうが効率的じやん。いいこと考えた。

「セミナー参加のみなさん。僕の講義ためになりましたか？」

「はーい」

「みなさんにしてきなお知らせをします。二〇〇五年十一月十三日に赤坂プリンスホテルで国際美容外科学会学術集会を開きます。世界最先端の美容医療ビジネス情報が手にはります。日本でもエリートの美容外科医しか参加できないハイクラスの学会ですが……僕が会長ですのでみなさんを特別に参加させてあげます。参加費はたったの三万五千円です」

がやがや……。あ。みんなが申込書書いてる。砂金採りにスコップを売るつて簡単！

三万五千円×五百人。えーと、幾らになるかな？ 美容外科医で稼ぐより楽だね。

でも、ちょっと心が痛むな。経費削減のため今回の国際美容外科学会では同時通訳を止めることにしたんです。公用語は英語。英語の勉強さぼった怠け者の医者は落ちこぼれになる学会。かつちやん主催のセミナーは手取り足取り面倒見たりしないよ。学会においても勝ち組と負け組ができるような仕掛けをしました。

日本の大きな学会では複数の会場で同時進行で発表が行われるのが常です。偉い先生がつまらない講義をするとき、わざと他の会場を閉鎖し、聴衆を偉い先生の会場に誘導します。

無能な医者が権威ぶつて偉そうにしてる学会は出涸らしのお茶。僕は違うよ。お金払つて来てくれるお客様には濃いお茶を飲ませてあげる。かつちやん主催の学会はかつちやんの好きなように運営する。企画委員長も兼任する僕は学会の独裁者。二つの会場で同時進行。長老も新人もご

ちやませ。つまらない発表をする長老も異端視される新人も同様の扱い。相撲にたとえると、<sup>ふんどし</sup> 担ぎも横綱も同じ土俵で大乱闘する男祭り。横綱審議会は権威者じやなく一般聴衆。大先生のほんとの力が明らかになつちやう。

僕の今回の国際美容外科学会運営趣旨を海外の権威といわれる美容外科医たちに伝達しました。誰も反対しませんでした。美容外科医は「俺が世界一」と思い込んでるナルシストが多いんです。でもちょっと心配。僕の発表誰も聞きに来なかつたらどうしよう。裸の王様あぶり出し計画で、裸の王様はかつちやんだつて判つちやつたりして。

手塚治虫をしのぐ漫画家になるのが夢だった僕。西原理恵子画伯に還暦デビュー計画を打ち明けたら「かっちゃんは才能のかけらもない！」と酷評され断念。僕の文芸作品を見せても「駄作！ 鉛筆乞食！」とミソクソ。

結局、僕は余生を西原画伯の輝くばかりの才能に磨きをかける「タニマチ」として過ごす破目に……。ついでに、若さと美貌のメンテナンスをする主治医も兼任。

鬱傾向のある西原画伯の口癖は「どうせ私はバスのおばちゃんだから……」。いくら「あなたさまは若くて美しい」って力説しても納得してくれません。

「バスの壁」ができているんです。

ネガティブ思考の元凶「バス」って何でしょうね？

本文にも書きましたが、バスはトリカブトの別名です。保険金殺人にも使われた、紫色の可憐な花の咲く観賞用の植物です。猛毒です。鎌に塗ればヒグマもいちころですが、使いようによつては強心作用もあり、救命にも役立つ薬もあります。

バスは味方にすれば可愛い、役に立つものですが、いつたん敵にまわせば猛毒となる恐ろしい存在だと、古人はアドバイスしていたのでしょう。そうだね。西原画伯のことじやん。ほんとにそうだ。

では、「バス」の対極「美人」って何者でしょうか？ 美人はどこでも行ける万能バスポートの持ち主。バスは壁だらけの隔離状態。被差別民。じゃ、バスと美人は異人種つてこと？

実は、面白い実験があります。ものすごいバスを十人選んで、顔の平均値を出し、コンピューター・シミュレーションをすると、絶世の美人が現れるんです。

つまり、平均的なのが美人で、そこから突出したのがバスと呼ばれてるだけなんです。

何でも平均化を目指す社会が、バスを異形のものとして差別してるので。規格に外れたものを不良品扱いしている社会が「バスの壁」の元凶なのです。バスは一芸に秀でた天才みたいな存在なんです。バスには多くの特典があります。バスは老けません。バスは長生きします。バスは頭がいいんです。バスは金持ちになります。バスと美人が格闘すればバスが必ず勝ちます。西原画伯、あなたは立派なバスです。バスのリーダーです。

バスを矯正するビジネスで生活している僕が言うんだから、全部本当です。言いたい放題書き散らしましたが、僕の本音の本です。

新潮社から出版しましたが、「バカの壁」のパロディではありません。だまされたと思って買ってください。買ってもらえなければ、自分で買い占めなくつちゃならなくなつちゃう。頼むから買ってね。サイバラ・マンガだけ楽しんで、僕の文章を読むの忘れちやいやだよ！

二〇〇六年一月

高須克弥

## かつちやんの 思い出アルバム II

### 人脈篇

藤本義一さん司会の大坂「11PM」では  
セミレギュラーだった。  
美容整形を熱く語る。  
読売テレビスタジオにて。



チョンボのかつちゃんと、  
ぼやきのノックちゃんは麻雀のライバル。  
毎日放送スタジオにて。





僕の作品のニューハーフ。いいできだろ？ 読売テレビスタジオにて。  
マカオグランプリで優勝した  
高須クリニッククレーシングチームの  
レースクイーンたちと。  
鈴鹿サークットにて。



タニマチやるのは僕の趣味。  
総理になっちゃった海部さんと。  
今はサイバラ画伯一筋！



「六〇%じゃんがらラーメンの妖精」とのたまう  
サイバラ画伯と万里の長城ウォーキング。  
減量できるかな？

